

NEC

ISDNターミナルアダプタ

Aterm[®] IT42

PC-IT42D1A

取扱説明書

1.はじめにお読みください

2.電話機やファクスを使うための設定をしよう

3.電話機能を使いこなそう

4.お困りのときには

5.付録

● 索引

・「ソフトウェアのご使用条件」は、巻末に記載されています。
添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

『らくらくセットアップガイド』を見よう

添付 CD-ROM の『Aterm IT42 ユーティリティ集』には、Aterm に電話機やパソコンを接続し、インターネットに接続するまでを音声と動画で説明したムービー『らくらくセットアップガイド』が入っています。

パソコンをお使いの方は、Aterm のセットアップを始める前に、ぜひご覧ください。



画面は Windows の例です

CD-ROM を活用しよう

Aterm には、『らくらくセットアップガイド』以外にも、いろいろな電子マニュアルが用意されています。『取扱説明書』には含まれていない内容を知りたいときは、添付 CD-ROM のこれらの電子マニュアルを参照してください。

●データ通信ガイド・データ通信ガイド(Windows Vista、WindowsXP)(html形式)

らくらくアシスタントを使わずにインターネット接続の設定をする方法や、データ通信、Aterm で使えるメール機能、USB ネットワーク、AT コマンドなどについて詳しく説明したマニュアルです。

●お困りのときには(html形式)

主に Aterm にパソコンを接続して使用しているときのトラブルについて、解決方法などを説明したマニュアルです。『取扱説明書』の「お困りのときには」に該当するトラブルが見つからない場合は、このマニュアルをチェックしてみてください。

●用語解説(html形式)

主に Aterm とパソコンを接続して使用する場合の用語について解説した用語集です。

『らくらくセットアップガイド』およびその他の電子マニュアルの見かたについては、『接続早わかりガイド』を参照してください。また、本書や添付 CD-ROM のマニュアルの活用方法は、本書の「マニュアルの使いかた」(P.6 ページ)をご覧ください。

Windows®、Windows NT®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vista™ is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium の各日本語版かつ32 ビット(x86)版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capableロゴのついたパソコン、またはメーカーがWindows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。

Mac、Macintosh、Mac OS、iMac、Power Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK3©AMD

©NEC Corporation 2000-2007. ©NEC AccessTechnica, Ltd. 2005-2007

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。





はじめに

このたびは、^{エーターム}Aterm IT42をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
Aterm IT42は、NTT東日本・NTT西日本のISDN(デジタル回線)サービスであるINS
ネット64で電話機やファクスなどのアナログ通信機器を利用したり、インターネット
を快適に利用するためのターミナルアダプタです。




本書は、Aterm IT42(以降「Aterm」と表記します)の各部の名称とはたらき、電話機
能、困ったときの対処法などについて説明しています。主に電話機だけをAtermに接続
して使用される方を対象にしていますので、パソコンをAtermに接続して使用される方
は、『接続早わかりガイド』や添付CD-ROMの各種電子マニュアルを合わせてお読みく
ださい。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全
に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と
図記号の意味は次のようになっています。本商品をお使いいただく前には必ず「安全に
正しくお使いいただくために(☞P 10ページ)」をお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

- | | |
|--|--|
|  危 険 | 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが
想定される内容を示しています。 |
|  警 告 | 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示し
ています。 |
|  注 意 | 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの
発生が想定される内容を示しています。 |
|  お 願 い | 本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく
内容を示しています。 |

絵表示の例

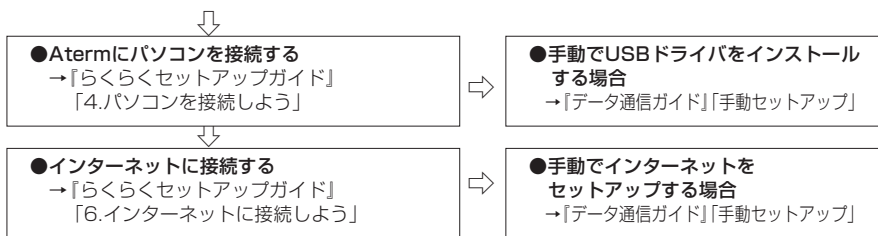
- | | |
|---|--|
|  | △ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるも
のです。記号の中には、具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描
かれています。 |
| 
分解禁止 | ⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。記号の中には、
具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | ● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の
中には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから
抜け)が描かれています。 |

発信方法を変更する(#発信)	76
相手の声の音量を変える(受話音量調節)	77
短縮ダイヤルで電話をかける	79
着信履歴の電話番号に電話をかける(着信履歴先発信)	82
電話番号を使い分ける	85
2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)	85
4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)	89
接続している電話機でダイヤルインを使う	95
モデム・ダイヤルイン	95
アナログ・ダイヤルイン	98
特定の電話機に着信させる	101
1台の電話機で複数の電話番号を使う(着信ダイヤルイン複数選択)	101
メインの電話機に優先的に着信させる(優先着信ポート指定)	103
サブアドレスで特定の電話機に着信させる	105
家の中で話す／転送する	110
内線で話す(内線通話)	110
外線をはかの電話機に転送する(内線転送)	111
お話し中に	113
電話中に別の電話を受ける(INSキャッチホン／疑似キャッチホン)	113
三人で同時に話す(三者通話／疑似三者通話)	116
電話番号を表示する	119
自分の電話番号を相手に知らせる(発信者番号通知)	119
かけてきた相手の電話番号を表示する (INSNナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)	123
キャッチホンで受ける電話の番号も表示する(キャッチホン・ディスプレイ)	126
電話に出られないとき	130
外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)	130
電話を転送する	135
かかってきた電話を転送する(着信転送／疑似着信転送／電話番号着信通知)	135
電話中に別の電話番号へ転送する(通信中転送)	146
ボイスワープで転送する (INSVボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)	148
特定の相手を対象にする	153
電話を受ける相手を限定する(INSなりわけ識別着信／疑似識別着信)	153

文字コード一覧表	229
用語解説	230
Aterm設定記入シート	232
索引	239
ソフトウェアのご使用条件	巻末



パソコンの設定については、添付CD-ROMに収録されている『らくらくセットアップ』や『データ通信ガイド』に記載されています。8ページの目次(電子マニュアル)をご覧ください。(WindowsNT4.0をご利用の方は『データ通信ガイド』の「手動セットアップ」をご覧ください)



↓
必要に応じて読もう

- 電話機能を便利に使いこなすには
電話機能について詳しく知りたいとき
→『取扱説明書』「電話機能を使いこなそう」(☎69ページ)
電話機から設定をしたいとき
→『取扱説明書』「電話機能を使いこなそう」(☎69ページ)
パソコンから設定をしたいとき
→『らくらくセットアップガイド』「5.電話やインターネットを使えるようにしよう」
→『取扱説明書』「らくらくアシスタントを使う」(☎178ページ)
- 通信料金や着信履歴などを見たいときは
→『取扱説明書』「通信に関する情報を表示する」(☎175ページ)
→『データ通信ガイド』「Atermのその他の機能」
- Atermをバージョンアップしたいときは
→『データ通信ガイド』「Atermのその他の機能」
- インターネットやリモートアクセスで、データ通信機能を使いこなしたいときは
→『データ通信ガイド』「データ通信」
- Atermのメール機能を使いこなしたいときは
→『データ通信ガイド』「Atermで使えるメール機能」
- Windowsパソコンを2台接続して簡易LANを構築したいときは
→『データ通信ガイド』「USBネットワーク」
- ATコマンドを使いたいときは
→『データ通信ガイド』「ATコマンド」
- らくらくアシスタントを使わずにパソコンの設定をしたいときは
→『データ通信ガイド』「手動セットアップ」
- トラブルが起きて困ったときは
→『お困りのときには』
- わからない言葉があるときは
→『用語解説』

USBネットワーク(Windowsのみ)

USBネットワークとは／準備／サーバーパソコンがWindowsMe/98/95の場合／サーバーパソコンがWindows2000の場合／外部から着信可能なダイヤルアップサーバー

Atermのその他の機能

Atermの現在の状態を確認する／Atermの設定内容を確認・記録する／Atermをバージョンアップする／天気情報を表示する／通信中のデータを切断する

ATコマンド

らくらくアシスタントの使いかた

起動・終了のしかた／各種設定欄の使いかた

インターネットに接続するには

お困りのときには(html形式)

主に、Atermにパソコンを接続してお使いの方のためのトラブルについて解説しています。

用語解説(html形式)

主に、Atermにパソコンを接続してお使いの方のための用語を解説しています。

安全に正しくお使いいただくために

本書では、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示してあります。本商品をご使用前に必ずお読みください。

⚠ 危険

■ アルカリ乾電池ご使用時の注意 ■



- アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

■ 設置場所について ■

● 風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



● 水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



警告

■ 電源について ■

● 商用電源以外の禁止

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントにほかの電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



● 電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。



● めれた手で操作の禁止

めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し火災の原因となります。



● アース線の取り付け

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



安全に正しくお使いいただくために

警告

■ もしもこんなときは ■

● 発煙した場合への対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異物が装置内部に入った場合の対処

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。



警告

● 破損時の対処

万一、落したり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



■ 禁止事項について ■

● 本商品は、家庭用のOA機器として設計されております

人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。



● 分解・改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



● ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



● ぬれた手でのご操作の禁止












ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。





安全に正しくお使いいただくために

警告

■ アルカリ乾電池ご使用上の注意 ■

- 電池の+と-を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ・破裂のおそれがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液・発熱・破裂するおそれがあります。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱・破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。眼に入ったときはきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

■ その他の注意 ■

- 異物を入れないための注意
本商品の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

■ 設置場所について ■

● 火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・ あお向けや逆さまにする
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注 意

■ 設置場所について ■

● 重ね置き禁止

本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。

■ 電源について ■

● プラグの取り扱い注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



● 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、停電用電池も取りはずしてください。



● 電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



⚠ 注 意

■ 禁止事項について ■

● 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



■ 雷のときの注意 ■

- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



■ アルカリ乾電池ご使用上の注意 ■

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。



- ・ 使用推奨期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません)。
- ・ 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。使い切った電池を機器に接続したまま長時間放置すると、電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。過放電・高温放置による電池の液もれでの本商品の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・ 電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・ 電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注 意

■ アルカリ乾電池ご使用上の注意 ■

- ・ 電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
- ・ 停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間電池を装着したままでご使用になると、電池が漏液するおそれがあります。
- ・ 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。ほかの電池や金属製のものと混ぜると、漏液・発熱・破裂のおそれがあります。
- ・ 電池を入れた電池ホルダー側の面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。また、通風孔をふさがないでください。漏液・発熱・破裂のおそれがあります。

STOP お願い

■ 設置場所について ■

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ テレビやラジオなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン・電気溶接機などが近くにある場所
- テレビやラジオにノイズが入ることがあります。またコードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。その場合は本商品から距離を置いてご使用ください。



お願い

■ 禁止事項について ■

- 動作中に接続コードがはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

■ その他のご注意 ■

- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

■ 日頃のお手入れ ■

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン・シンナーなどの有機溶剤やアルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

1. はじめにお読みください

Atermの知っておきたい便利な使いかたや、各部の名称とはたらき、添付品の確認方法について説明しています。Atermを使い始めるときは、まず、ここをお読みください。

Aterm でこんなことができる	22
添付品を確認する	26
各部の名称とはたらき	28

1

Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premiumの各日本語版かつ32ビット(x86)版の略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。

WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

Atermでこんなことができる

Atermは、INSネット64を利用するのに欠かせないTA(ターミナルアダプタ)と呼ばれる装置です。TAのしくみやその役割、Atermの知っておきたい便利な使いかたをご紹介します。

● TA(ターミナルアダプタ)って何？

今まで使っていた電話機やファクスは、アナログ通信機器とって、従来の電話網(アナログ回線)で使えるように作られたものです。一方、INSネット64は、ISDN網(デジタル回線)とって音声やデータをすべてデジタル信号でやりとりするため、従来のアナログ回線で使っていた電話機やファクスを直接つなぐことはできません。TAは、これらのアナログ通信機器をINSネット64でも使えるようにしたり^{※1}、パソコンのデータをデジタル信号として送り受けするための装置です。

※1 INSネット64にTAをつなぐにはDSU(回線接続装置)と呼ぶ装置が必要ですが、Atermには、DSUが内蔵されているので、モジュラコンセントに直接つなぐことができます。また、いままでお使いの電話機やファクスをそのまま使うことができます。

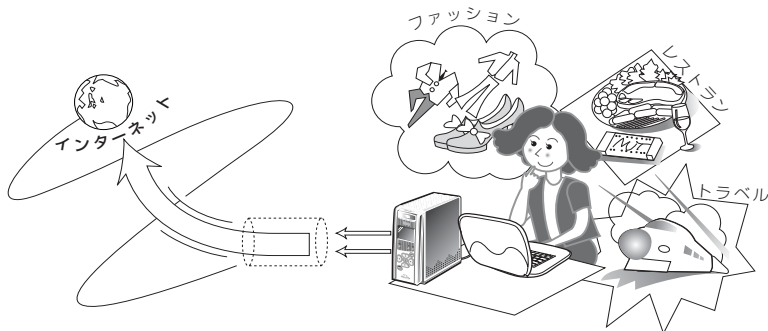
● 電話回線(アナログ回線)2本分として使う

INSネット64のケーブルは今までお使いのアナログ回線と同じですが、1本の回線契約でアナログ回線2本分として利用できます。1本のケーブルの中に音声やデータの通り道が2本あると考えてください。この通り道のことをBチャンネルといいます(2本をそれぞれB1チャンネル、B2チャンネルと呼びます)。電話と電話、電話とファクス、電話とインターネット、ファクスとインターネットなど、Atermにつないだ「2台の機器が同時に使える」のがポイントです。



● インターネットにつなぐ

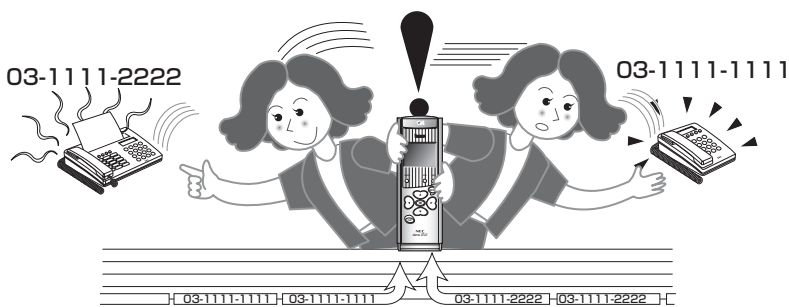
電子メールを送ったり、ホームページを見たり、今やインターネットは趣味やビジネスに欠かせません。Atermなら、モデムを使ってアナログ回線でインターネットに接続するのに比べて、接続もスピーディ。さらに、高速※2で安定した品質でインターネットを楽しむことができます。



※2 通常の同期通信では、Bチャンネル1本を使い、64kbpsで接続できます。

● 複数の電話番号を使う

INSネット64には、1本の回線契約で3つまでの電話番号を使えるi・ナンバーと、もっとたくさんの電話番号を使えるダイヤルインサービスがあります。Atermはこれらのサービスに対応しているので、つないだ電話やファクスにそれぞれ別の電話番号を割り振って使うことができます。



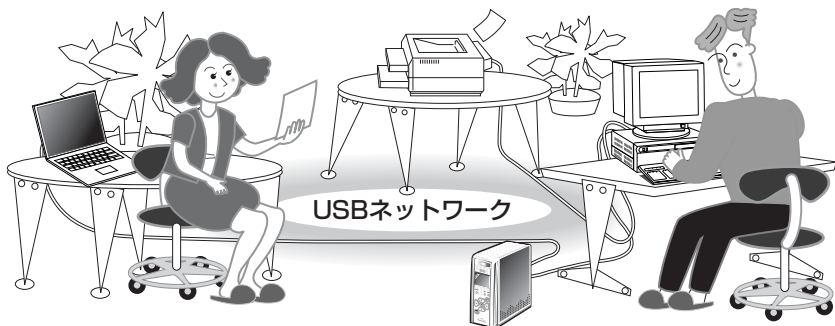
● 便利で多彩な電話機能を使う

Atermは便利な電話機能をたくさん備えています。でかけるボタンを押すだけでセットできる不在時の電話着信転送、INSネット64の付加サービスの契約なしで使える疑似キャッチホン、INSナンバー・ディスプレイ、相手によって着信音を切り替える疑似なりわけや迷惑電話防止機能など、Atermをつなぐことで今までの電話機がぐっと便利になります。



● 2台のパソコン間でのデータ共有やプリンタ共有

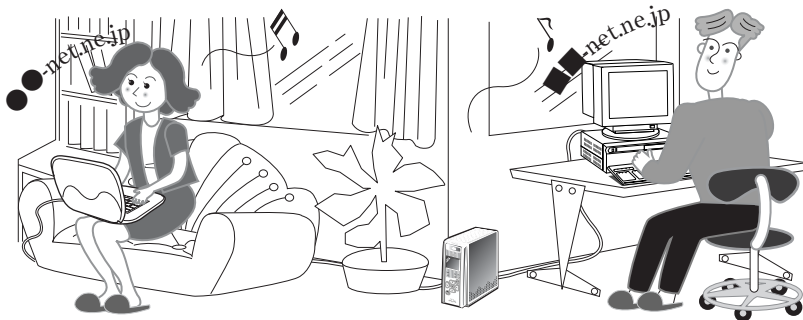
2台のパソコンをAtermにつなぐと、簡単なUSBネットワークが実現できます。パソコン間でデータをやり取りしたり、1台のプリンタを2台のパソコンで共有したりと、インターネットに接続しないときでも、便利に使えます。



● 2台のパソコンからインターネットにつなぐ(マルチアクセス)

シリアルポートとUSBポートにつないだ2台のパソコンから、別々のプロバイダへ同時に接続することができます*3。Atermなら2台のパソコンで同時にインターネットを楽しめます。

*3 2台のパソコンから同時にインターネットに接続する場合は2本の通り道を使うので、その間、電話やファクスは使用できません。



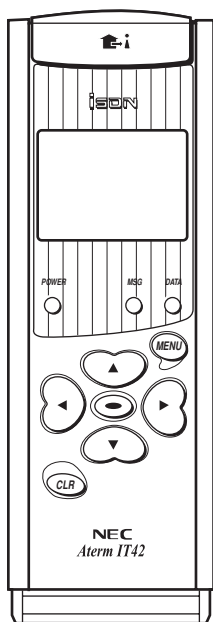
添付品を確認する

取り付けをはじめの前に、まず、添付品がすべてそろっていることを確認してください。

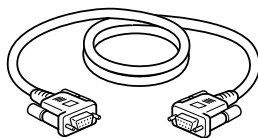
不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ Aterm の添付品 ■

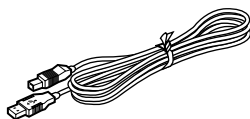
本体



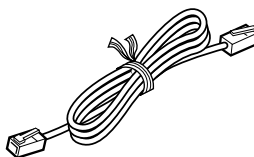
RS-232Cケーブル(9ピン)



USBケーブル



INS回線ケーブル



- 取扱説明書(本書)
- 接続早わかりガイド
- お問い合わせ・アフターサービス
- 保証書(取扱説明書に含む)
- CD-ROM

1

添付品を確認する

■ CD-ROM『Aterm IT42 ユーティリティ集』の内容 ■

▶Aterm用各種ユーティリティ(Windows版/Macintosh版)

- ITX72/ITX62/IT42らくらくアシスタント
- ITX72/ITX62/IT42らくらくバージョンアップ
- UUIメールEX
- USB関連ソフトウェアなど

▶電子マニュアル

- データ通信ガイド(Windows Vista、WindowsXP) (html 形式)
- データ通信ガイド(html 形式・pdf 形式)
- 用語解説(html 形式)
- 取扱説明(pdf 形式)
- お困りのときには(html 形式)

電子マニュアルは、pdfまたはhtmlというファイル形式になっています。pdfファイルはAdobe Readerで、htmlファイルはWebブラウザを使って読みます。電子マニュアルの見かたは『接続早わかりガイド』を参照してください。

▶らくらくセットアップガイド

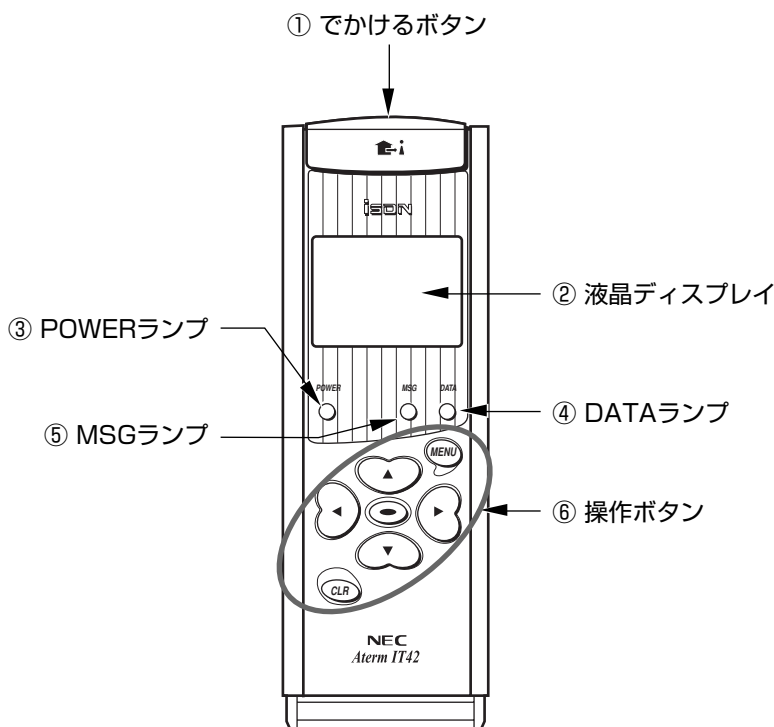
Atermの接続から、アナログポートの設定、インターネット設定までを動画と音声で説明しています。添付CD-ROMをセットすると自動的に表示されます。ターミナルアダプタをはじめて使うという方は、接続を始める前にぜひご覧ください。

1

添付品を確認する

各部の名称とはたらき

■ 前面図 ■



1

各部の名称とはたらき

※ 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

① でかけるボタン

お出かけ設定(☎130ページ)をするときに1秒以上押します。

オレンジ色で点灯： ・お出かけ設定がセットされているとき

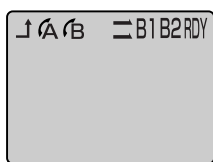
・バージョンアップに失敗したときに行う強制ローダモードが開始されているとき

オレンジ色で点滅： ・おやすみモードまたはフラッシュモードで着信があったとき

・強制ローダモードが終了したとき

② 液晶ディスプレイ

回線や通信機器の使用状況、設定時の内容、日時などが表示されます。表示される内容については「液晶ディスプレイの表示一覧」(☎203ページ)を参照してください。本書の設定手順中の画面はすべてこの液晶ディスプレイ画面です。



- ↑ 着信転送が設定してあるときに表示されます。
- ↶ ↷ 電話Aポートまたは電話Bポートに接続されている通信機器の受話器を上げているときに表示されます。
- データ通信をしているときに表示されます。
- Bチャンネル1つ(64kbps)で通信中のときに表示されます。
- ≡ Bチャンネル2つ(128kbps)で通信中のときに表示されます。
- B1 B2 B1またはB2チャンネルを使用しているときに表示されます。
- RDY シリアルポートまたはUSBポートに接続されたパソコンのER(Equipment Ready)信号がONのときに表示されます。

③ POWERランプ(電源ランプ)

緑色で点灯： 電源が入っているとき

緑色で早く点滅(1秒間に2回)： 電池で動作しているとき

緑色で遅く点滅(1秒間に1回)： 電池で動作中、電池残量が少なくなったとき

赤く点灯： バージョンアップ中

赤く点滅： ファームウェアのバージョンアップに失敗したとき(☎196ページ)。

④ DATAランプ

緑色で点灯： USBポートに接続されたパソコンでデータを送受信しているとき

赤く点灯： シリアルポートに接続されたパソコンでデータを送受信しているとき

⑤ MSG(Message)ランプ

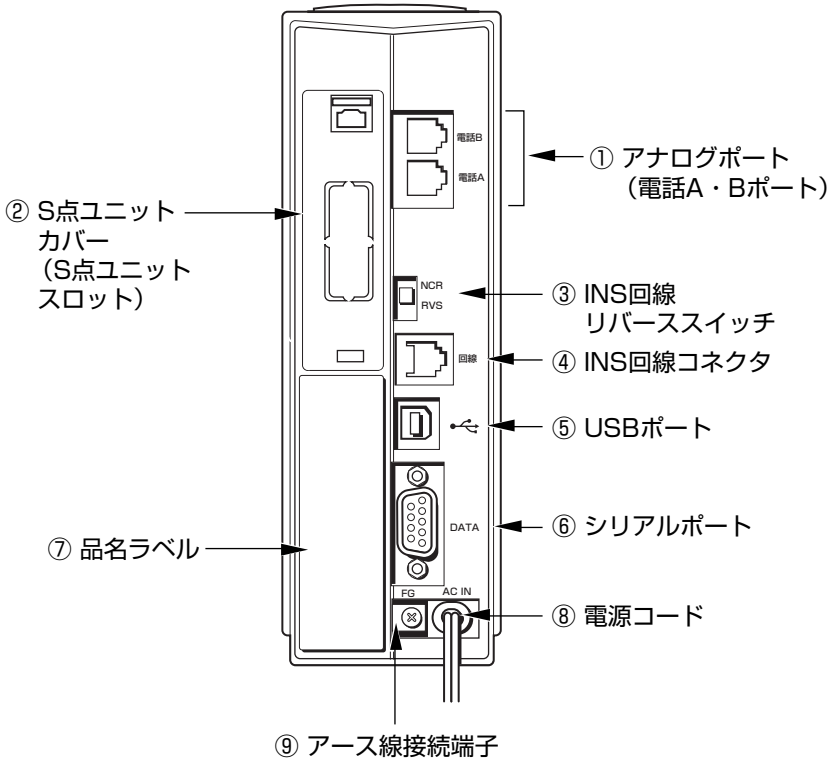
オレンジ色で点灯： バージョンアップ中

オレンジ色で点滅： 電子メール着信が通知されたときまたはUUIメールを受信したとき

⑥ 操作ボタン

着信履歴表示やアニメの選択など、液晶ディスプレイ表示で設定できる機能を利用するときに使用します(☎202ページ)。

■ 背面図 ■

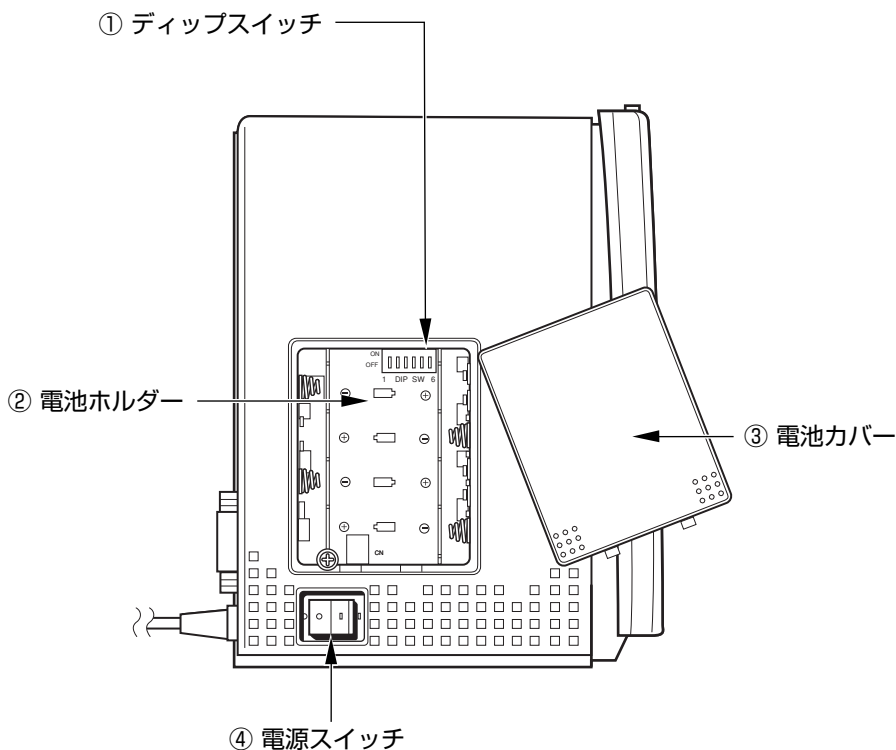


1

各部の名称をはたしませ

- ① **アナログポート(電話Aポート・電話Bポート)**
モジュラケーブルを使って、電話機やファクス、モデムなどのアナログ通信機器を接続します。
- ② **S点ユニットカバー**
別売のS点ユニット(PC-IT/U03)またはDSU切り離しユニット(PC-IT/US1)を使用時にこのカバーをはずしてS点ユニットなどをS点ユニットスロットに差し込みます。
- ③ **INS回線リバーススイッチ**
INSネット64の配線が逆転しているとき(同期がとれないとき)に切り替えます。切り替えるときは、細く硬いもの(つまようじの先など)を使ってください。
- ④ **INS回線コネクタ**
添付のINS回線ケーブルを使って、INSネット64と接続します。
- ⑤ **USBポート**
添付のUSBケーブルを使って、パソコンのUSBポートと接続します。
- ⑥ **シリアルポート**
添付のRS-232Cケーブルを使って、パソコンのCOMポート(Windowsの場合)またはモデムポート/プリンタポート(Macintoshの場合)と接続します。
- ⑦ **品名ラベル**
Atermの認証番号や製造番号などが記載されています。
- ⑧ **電源コード**
AC100Vの家庭用電源コンセントに接続します。
- ⑨ **アース線接続端子(FG)**
アース線を取り付ける端子です。(アース線は添付していません)
断面積0.75mm²(AWG#18)以上の太さのアース線をご用意ください。

■ 左側面図 ■



① ディップスイッチ

USBの通信モードの設定や自己診断(☞200ページ)をするときなどに使用します。

② 電池ホルダー

停電時にも使用できるように、市販の単3アルカリ乾電池(4本)を入れます(☞212ページ)。

③ 電池カバー

カバー下部の両端部分を押しとはずれます。

④ 電源スイッチ

電源の入/切を切り替えるスイッチです。電源を入れるときは「**■**」側を押します。

2. 電話機やファクスを使うための設定をしよう

この章ではアナログポートに接続する機器の種類、i・ナンバー／ダイヤルインサービスの利用の有無、電話番号など、電話やファクスを利用するための基本設定を電話機から行う方法を、利用例ごとに説明しています。

パソコンをAtermに接続してお使いの方は添付CD-ROMも合わせてご利用ください。『らくらくセットアップガイド』を使って設定のしかたを見たり、らくらくアシスタントを使ってパソコンから各種設定をすることができます。

設定を始める前に	34
利用例一覧	36
利用例に合わせた設定をする	37
接続機器と電話番号の基本設定をする	58
電話機・ファクスは使えますか?	68

Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premiumの各日本語版かつ32ビット(x86)版の略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。

WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

設定を始める前に

実際に電話やファクスをお使いになる前に、INSネット64のサービスの契約内容をご確認いただく必要があります。

👁️ お願い

- ・以下の「ポイント」を参考にして、設定内容を決めてください。
- ・設定内容は、今後の予定ではなく、現在の状況に合わせてください。実際の契約内容（工事完了済みのもの）や接続機器と、設定内容が一致していないと、電話やファクスを正しくお使いいただけません。新しいサービスに加入したり、新しい機器を接続するなど、状況が変わったときは設定し直してください。

📌 ポイント

✔️ i・ナンバーとダイヤルインサービスについて

電話機やファクス付き電話機などを異なった電話番号で複数台使う場合や、ファクス付き電話機が1台でも電話番号とファクス番号を使い分けたい場合などは、INSネット64のi・ナンバーまたはダイヤルインサービスを契約します。3つまでの電話番号を使用したいときはi・ナンバー、4つ以上の電話番号を使用したいときはダイヤルインサービスと覚えておきましょう。

✔️ i・ナンバーについて

2つまたは3つの電話番号が必要なときは、通常i・ナンバーを契約します*1。通常の電話番号としての契約者回線番号(i・ナンバー情報1)のほかに、もう1つまたは2つの追加電話番号(i・ナンバー情報2または3)をもらうことができます。

※1 ダイヤルインサービスとグローバル着信を組み合わせたこともできますが、i・ナンバーの方が毎月の料金が安くなります。

✔️ ダイヤルインサービスについて

4つ以上の電話番号が必要なときは、ダイヤルインサービスを契約します。基本契約でもらえる電話番号(契約者回線番号)のほかに、必要な分だけの電話番号を追加できます。

また、INSネット64の基本サービスのグローバル着信を利用すると料金が安くなるので、忘れずに申し込みましょう。

ダイヤルインサービスとグローバル着信について詳しくは次ページの「お知らせ」をお読みください。

お知らせ

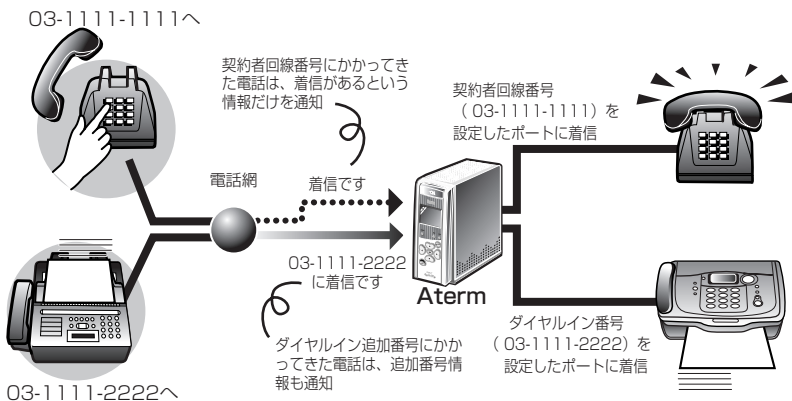
ダイヤルインサービスとグローバル着信について

ダイヤルインサービスを利用すると、各電話番号への着信があったときに、その電話番号が交換機からAtermに通知されます。Atermは通知された電話番号を識別して、呼び出す電話機やファクスを選びます。交換機から通知される番号には、追加番号だけではなく契約者回線番号も含まれるので、通常、ダイヤルインサービスの料金は、『(契約者回線番号+追加番号の個数)×ダイヤルインサービス料金単価』となります。

また、INSネット64の基本サービスの中に、グローバル着信という項目があります。これを利用すると、契約者回線番号へ着信があったとき、電話番号はAtermに通知されず、電話番号なしの着信となります。ダイヤルインサービスと組み合わせると、追加した番号への着信時のみ番号が通知されることになるので、ダイヤルインサービスの料金は『追加番号の個数×ダイヤルインサービス料金単価』となり、安くすみます。Atermは、「電話番号が通知されない」=「契約者回線番号への着信」と判断できるので、グローバル着信を利用しない場合との利用上の違いはありません。

INSナンバー・ディスプレイについて

INSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクス(アナログ通信機器)を使用すると、電話がかかってきたときに相手の電話番号がAtermや電話機・ファクスのディスプレイに表示されます。相手が電話番号を通知(発信者番号通知)してこない場合は、電話番号が表示されず、通知しない理由(非通知・公衆電話・表示圏外)が表示されます。



設定

アナログポートに接続した機器の種類を設定する

以下の手順を繰り返して、電話Aポートには電話機を、電話Bポートには何も接続しない設定をしてください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][1][*][機器の種類][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

機器の種類
[0] : 電話機
[2] : 何も接続しない

●利用例の設定

続けて設定するとき、()内は省略できます。

電話Aポートに「電話機」を設定する

📞 → [*][*][1][*][1][*][0][1][*][0][#] ([#] → 📞)

電話Bポートに「何も接続しない」設定をする

(📞 → [*][*][1][*]) [2][*][0][1][*][2][#][#] → 📞

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「電話機」を設定する

☞ → [*] [*] [1] [*] [1] [*] [0] [1] [*] [0] [#] ([#] → ☞)

電話Bポートに「電話機」を設定する

(☞ → [*] [*] [1] [*]) [2] [*] [0] [1] [*] [0] [#] [#] → ☞

step 2 ナンバー・ディスプレイを設定する

INSナンバー・ディスプレイを契約しているので、以下の手順を繰り返して、電話A・Bポートに、ナンバー・ディスプレイを使用するための設定をします。

受話器をあげる → [*] [*] [1] [*] [アナログポート番号] [*] [1] [0] [*]
[1] [#] [#] を押す → 受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「ナンバー・ディスプレイを使用する」を設定する

☞ → [*] [*] [1] [*] [1] [*] [1] [0] [*] [1] [#] ([#] → ☞)

電話Bポートに「ナンバー・ディスプレイを使用する」を設定する

(☞ → [*] [*] [1] [*]) [2] [*] [1] [0] [*] [1] [#] [#] → ☞

2

利用例に合わせた設定をする

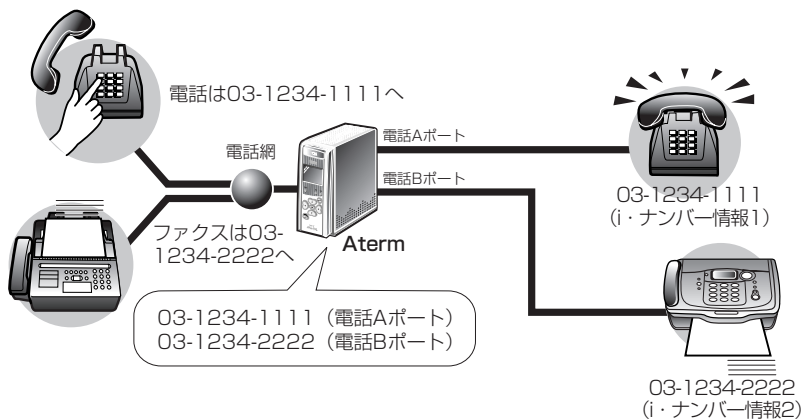
利用例3(電話機1台・ファクス1台・電話番号2つ) ●●●●●●●●●●

電話Aポートに電話機を、電話Bポートにファクスを接続し、それぞれに別の電話番号を割り当てるケースです。ファクスを自動受信にしておく、ファクス受信のために電話に出る必要がありません。ファクス受信件数が多い場合に適しています。電話番号を2つもらうために、i・ナンバーを契約している例です。

INSネット64の契約内容…i・ナンバー：利用する 追加番号(03-1234-2222)

接続形態…電話Aポート：電話機 例 03-1234-1111(i・ナンバー情報1)

電話Bポート：ファクス 例 03-1234-2222(i・ナンバー情報2)



👁️ お願い

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを契約せずに1つの電話番号で電話機とファクスを接続すると、電話がかかってきたとき先にファクスが応答し、電話機では電話を受けることができなくなります。電話機とファクスを接続する場合は、i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの契約をおすすめします。

2

利用例に合わせた設定をする

設定

step 1 アナログポートに接続した機器の種類を設定する

以下の手順を繰り返して、電話Aポートには電話機を、電話Bポートにはファクスを接続する設定をしてください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][1][*][機器の種類][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
1 : 電話Aポート
2 : 電話Bポート

機器の種類
0 : 電話機
1 : ファクス、ファクス付き電話機、モデム

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「電話機」を設定する

☞ → [*][*][1][*][1][*][0][1][*][0][#] ([# → ☞)

電話Bポートに「ファクス」を設定する

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][0][1][*][1][#][#] → ☞

step 2 i・ナンバーを使用する設定をする

i・ナンバーを契約しているので、i・ナンバーを使用する設定をします。

受話器をあげる→[*][*][1][*][4][*][7][6][*][1][#][#]を押す→受話器を戻す

step 3 i・ナンバー情報に電話番号を登録する

以下の手順を繰り返して、i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2に追加番号を登録してください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][5][*][9][0][i・ナンバー情報][*][電話番号][#][#][#]を押す→受話器を戻す

i・ナンバー情報
①:i・ナンバー情報1
②:i・ナンバー情報2

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

i・ナンバー情報1に契約者回線番号(0312341111)を登録する

☞ → [*][*][1][*][5][*][9][0][1][*][0][3][1][2][3][4]
[1][1][1][1][#][#] (# → ☞)

i・ナンバー情報2に追加番号(0312342222)を登録する

(☞ → [*][*][1][*]) [5][*][9][0][2][*][0][3][1][2][3]
[4][2][2][2][2][#][#][#] → ☞

step 4 着信させるアナログポートにi・ナンバー情報を割り当てる

以下の手順を繰り返して、Step3で登録したi・ナンバー情報を、i・ナンバー情報1で電話Aポートに、i・ナンバー情報2で電話Bポートに着信させるように設定してください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][9][4][*][i・ナンバー情報][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号	i・ナンバー情報
①:電話Aポート	①:i・ナンバー情報1
②:電話Bポート	②:i・ナンバー情報2

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートにi・ナンバー情報1で着信させる設定をする

☞ → [*][*][1][*][1][*][9][4][*][1][#] (# → ☞)

電話Bポートにi・ナンバー情報2で着信させる設定をする

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][9][4][*][2][#][#] → ☞

設定

step 1 アナログポートに接続する機器の種類を設定する

以下の手順を繰り返して、電話Aポートにファクスを、電話Bポートには何も接続しない設定をしてください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][1][*][機器の種類][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

機器の種類
[1] : ファクス、ファクス付き電話機、モデム
[2] : 何も接続しない

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「ファクス付き電話機」を設定する

☞ → [*][*][1][*][1][*][0][1][*][1][#] ([# → ☞)

電話Bポートに「何も接続しない」設定をする

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][0][1][*][2][#][#] → ☞

step 2 i・ナンバーを使用する設定をする

i・ナンバーを契約しているので、i・ナンバーを使用する設定をします。

受話器をあげる→[*][*][1][*][4][*][7][6][*][1][#][#]を押す→受話器を戻す

2

利用例に合わせた設定をする

step 3 i・ナンバー情報に電話番号を登録する

以下の手順を繰り返して、i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2に追加番号を登録してください。アナログ・ダイヤルインを使用する場合は、内線指定番号も指定する必要があります。

受話器をあげる→[*][*][1][*][5][*][9][0][i・ナンバー情報][*][電話番号][#](内線指定番号を指定する場合は[*][内線指定番号(4桁以内)][#][#]を押す
→受話器を戻す

i・ナンバー情報	
[1]	i・ナンバー情報1
[2]	i・ナンバー情報2

●利用例の設定

続けて設定するとき、()内は省略できます。

i・ナンバー情報1に契約者回線番号(0312341111)を登録する

☞ → [*][*][1][*][5][*][9][0][1][*][0][3][1][2][3][4]
[1][1][1][1][#][*][1][1][1][1][#](# → ☞)

i・ナンバー情報2に追加番号(0312342222)を登録する

(☞ → [*][*][1][*]) [5][*][9][0][2][*][0][3][1][2][3]
[4][2][2][2][2][#][*][2][2][2][2][#][#] → ☞

step 4 着信させるアナログポートにi・ナンバー情報を割り当てる

i・ナンバー情報1と2の両方を電話Aポートに着信させるように設定してください。1つのアナログポートに複数のi・ナンバー情報を割り当てる場合は、i・ナンバー情報の番号を[1][2]のように続けて押すことができます。

受話器をあげる→[*][*][1][*][1][アナログポート番号][*][9][4][*][i・ナンバー情報][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号	
[1]	電話Aポート

i・ナンバー情報	
[1]	i・ナンバー情報1
[2]	i・ナンバー情報2

●利用例の設定

受話器をあげる→[*][*][1][*][1][*][9][4][*][1][2][#][#]を押す
→受話器を戻す

step 5 モデム・ダイヤルインまたはアナログ・ダイヤルインを設定する

電話Aポートに、モデム・ダイヤルインまたはアナログ・ダイヤルインを設定します。

モデム・ダイヤルインの場合

受話器をあげる→[*][*][1][*][1][*][1][0][*][2][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログ・ダイヤルインの場合

受話器をあげる→[*][*][1][*][1][*][1][0][*][3][#][#]を押す→受話器を戻す

step 6 ファクス付き電話機で内線指定番号を登録する

お使いのファクス付き電話機の取扱説明書を参照して登録してください。
登録する番号は、Atermに設定した(送出する)番号と一致させてください。

2

利用例に合わせた設定をする

利用例5(電話機1台・ファクス付き電話機1台 電話番号3つ) ▶●●●●●

電話Aポートに電話機を、電話Bポートにファクス付き電話機を接続し、i・ナンバーを契約して、電話Aポートの電話機に1つ、電話Bポートのファクス付き電話機に2つ、合計3つの電話番号を割り当てた例です。

INSネット64の契約内容… i・ナンバー：利用する 追加番号2つ

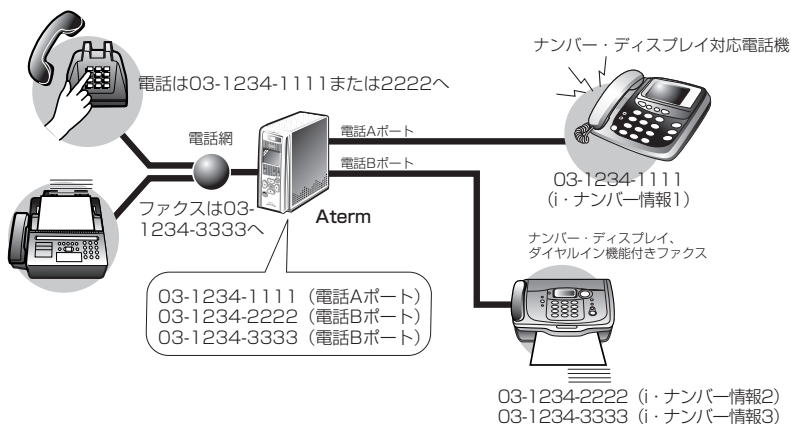
(03-1234-2222、03-1234-3333)

INSナンバー・ディスプレイ：利用する

接続形態…電話Aポート：電話機 例 03-1234-1111(i・ナンバー情報1)

電話Bポート：ファクス 例 03-1234-2222(電話)(i・ナンバー情報2)

03-1234-3333(ファクス)(i・ナンバー情報3)



2
利用例に合わせた設定をする

ポイント

この例では、Atermにモデム・ダイヤルイン(☎95ページ)の設定が必要です。利用例4とは異なり、ここでは、ナンバー・ディスプレイを使用するため、アナログ・ダイヤルインは使用できません。

電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるには、ファクスのダイヤルイン機能を使用します。ファクスのダイヤルイン機能を動作させるためには、Atermからファクスに対し、電話機とファクスの着信を区別するための信号を送出するための設定が必要になります。この設定が、アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインです。

アナログ・ダイヤルインとモデム・ダイヤルインの違いは、ファクスに送出する信号の形式の違いです。お使いのファクス付き電話機がナンバー・ディスプレイに対応している場合は、通常、モデム・ダイヤルインとなりますが、詳しくはファクス付き電話機の取扱説明書で調べてください。

さらに、Atermの設定だけでなくファクス側にもダイヤルインの番号の設定が必要です。

設定

step 1 アナログポートに接続する機器の種類を設定する

以下の手順を繰り返して、電話Aポートに電話機を、電話Bポートにファクスを接続する設定をしてください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][1][*][機器の種類][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

機器の種類
[0] : 電話機
[1] : ファクス、ファクス付き電話機、モデム

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「電話機」を設定する

☞ → [*][*][1][*][1][*][0][1][*][0][#] ([# → ☞)

電話Bポートに「ファクス付き電話機」を設定する

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][0][1][*][1][#][#] → ☞

step 2 ナンバー・ディスプレイを設定する

INSナンバー・ディスプレイを契約しているので、電話Aポートにナンバー・ディスプレイを使用するための設定をします。電話Bポートは、モデム・ダイヤルインとナンバー・ディスプレイをあとでいっしょに設定するため、ここでは設定する必要はありません。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][1][0][*][1][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート

2

利用例に合わせた設定をする

●利用例の設定

電話Aポートに「ナンバー・ディスプレイを使用する」を設定する

📞 → * * 1 * 1 * 1 0 * 1 # # → 📞

step 3 i・ナンバーを使用する設定をする

i・ナンバーを契約しているので、i・ナンバーを使用する設定をします。

受話器をあげる → * * 1 * 4 * 7 6 * 1 # # を押す → 受話器を戻す

step 4 i・ナンバー情報に電話番号を登録する

以下の手順を繰り返して、i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2と3に追加番号を登録してください。

受話器をあげる → * * 1 * 5 * 9 0 [i・ナンバー情報] * [電話番号] # # # を押す → 受話器を戻す

i・ナンバー情報	
①	: i・ナンバー情報1
②	: i・ナンバー情報2
③	: i・ナンバー情報3

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

i・ナンバー情報1に契約者回線番号(0312341111)を登録する

📞 → * * 1 * 5 * 9 0 1 * 0 3 1 2 3 4
1 1 1 1 # # (# → 📞)

i・ナンバー情報2に追加番号(0312342222)を登録する

(📞 → * * 1 *) 5 * 9 0 2 * 0 3 1 2 3
4 2 2 2 2 # # (# → 📞)

i・ナンバー情報3に追加番号(0312343333)を登録する

(📞 → * * 1 *) 5 * 9 0 3 * 0 3 1 2 3
4 3 3 3 3 # # # → 📞

2

利用例に合わせた設定をする

step 5 着信させるアナログポートにi・ナンバー情報を割り当てる

以下の手順を繰り返して、Step3で登録したi・ナンバー情報1を電話Aポートに、i・ナンバー情報2と3を電話Bポートに着信させるように設定してください。1つのアナログ・ポートに複数のi・ナンバー情報を割り当てる場合は、i・ナンバー情報の番号を[2][3]のように続けて押すことができます。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][9][4][*][i・ナンバー情報][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1]: 電話Aポート
[2]: 電話Bポート

i・ナンバー情報
[1]: i・ナンバー情報1
[2]: i・ナンバー情報2
[3]: i・ナンバー情報3

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートにi・ナンバー情報1で着信させる設定をする

☞ → [*][*][1][*][1][*][9][4][*][1][#] ([# → ☞)

電話Bポートにi・ナンバー情報2と3で着信させる設定をする

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][9][4][*][2][3][#][#] → ☞

step 6 モデム・ダイヤルインを設定する

電話Bポートに、モデム・ダイヤルインを設定します。この例では、ナンバー・ディスプレイもここで同時に設定します。

モデム・ダイヤルイン(ナンバー・ディスプレイも使用する)を設定する

受話器をあげる→[*][*][1][*][2][*][1][0][*][4][#][#]を押す→受話器を戻す

step 7 ファクス付き電話機でダイヤルインの番号を登録する

お使いのファクス付き電話機の取扱説明書を参照して登録してください。登録する番号は、Atermに設定した(送出する)番号と一致させてください。

利用例6(ファクス付き電話機2台、電話番号4つ)

ファクス付き電話機を電話Aポートと電話Bポートに接続し、電話とファクスをそれぞれ別の電話番号で受ける例です。電話番号が4つ必要になるため、ダイヤルインサービスを契約します。

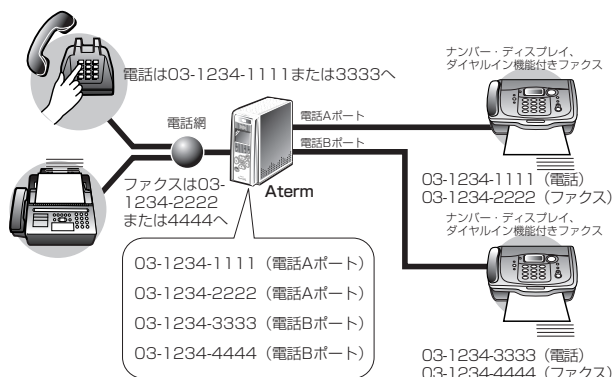
INSネット64の契約内容…ダイヤルインサービス：利用する 追加番号3つ
(03-1234-2222、03-1234-3333、03-1234-4444)

グローバル着信：利用する

INSナンバー・ディスプレイ：利用する

接続形態…電話Aポート：ファクス 例 03-1234-1111(電話)
03-1234-2222(ファクス)

接続形態…電話Bポート：ファクス 例 03-1234-3333(電話)
03-1234-4444(ファクス)



ポイント

電話番号を4つ以上使うためにはダイヤルインサービスとグローバル着信(☎89ページ)の契約が必要です。また、利用例5と同様に、Atermにモデム・ダイヤルインの設定が必要です。さらに、ファクス側にもダイヤルインの番号の設定が必要です。

電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるには、ファクスのダイヤルイン機能を使用します。ファクスのダイヤルイン機能を動作させるためには、Atermからファクスに対し、電話機とファクスの着信を区別するための信号(内線番号)を送出するための設定が必要になります。この設定が、アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインです。

アナログ・ダイヤルインとモデム・ダイヤルインの違いは、ファクスに送出する信号の形式の違いです。お使いのファクス付き電話機がナンバー・ディスプレイに対応している場合は、通常、モデム・ダイヤルインとなりますが、詳しくはファクス付き電話機の取扱説明書で調べてください。

ただし、ナンバー・ディスプレイを使用する場合は、アナログ・ダイヤルインは使用できません。

設定

step 1 アナログポートに接続する機器の種類を設定する

以下の手順を繰り返して、電話A・Bポートにファクスを接続する設定をしてください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][1][*][機器の種類][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

機器の種類
[1] : ファクス、ファクス付き電話機、モデム

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「ファクス付き電話機」を設定する

☞ → [*][*][1][*][1][*][0][1][*][1][#] ([# → ☞)

電話Bポートに「ファクス付き電話機」を設定する

(☞ → [*][*][1][*]) [2][*][0][1][*][1][#][#] → ☞

step 2 i・ナンバーを使用しない設定をする

ダイヤルインサービスを契約しているので、i・ナンバーを使用しない設定をします。

受話器をあげる→[*][*][1][*][4][*][7][6][*][0][#][#]を押す→受話器を戻す

2

利用例に合わせた設定をする

step 3 グローバル着信を設定する

グローバル着信の利用を契約しているので、以下の手順を繰り返して、電話A・Bポートでグローバル着信をするように設定します。

受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][0][5][*][0][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号
[1] : 電話Aポート
[2] : 電話Bポート

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに「グローバル着信を使用する」設定をする

📞 → [*][*][1][*][1][*][0][5][*][0][#] ([#] → 📞)

電話Bポートに「グローバル着信を使用する」設定をする

(📞 → [*][*][1][*]) [2][*][0][5][*][0][#][#] → 📞

step 4 契約者回線番号を登録する

以下のようにして、契約者回線番号を登録してください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][4][*][8][0][*][電話番号][#][#][#]
を押す→受話器を戻す

●利用例の設定

契約者回線番号(0312341111)を登録する

📞 → [*][*][1][*][4][*][8][0][*][0][3][1][2][3][4][1][1][1][1][#][#][#] → 📞

step 5 ダイヤルイン番号を登録する

以下の手順を繰り返して、ダイヤルイン番号1～3にダイヤルインサービスの追加番号を登録してください。

受話器をあげる→[*][*][1][*][4][*][8][ダイヤルイン番号][*][電話番号]
[#][#][#]を押す→受話器を戻す

ダイヤルイン番号
[1] : ダイヤルイン番号1
[2] : ダイヤルイン番号2
[3] : ダイヤルイン番号3

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

ダイヤルイン番号1に追加番号(0312342222)を登録する

☞ → [*][*][1][*][4][*][8][1][*][0][3][1][2][3][4][2]
[2][2][2][#][#] (# → ☞)

ダイヤルイン番号2に追加番号(0312343333)を登録する

(☞ → [*][*][1][*]) [4][*][8][2][*][0][3][1][2][3][4]
[3][3][3][3][#][#] (# → ☞)

ダイヤルイン番号3に追加番号(0312344444)を登録する

(☞ → [*][*][1][*]) [4][*][8][3][*][0][3][1][2][3][4]
[4][4][4][4][#][#][#] → ☞

2

利用例に合わせた設定をする

step 6 着信させるアナログポートに電話番号を割り当てる

以下の手順を繰り返して、Step4で登録した契約者回線番号とStep5で登録したダイヤルイン番号1を電話Aポートに、ダイヤルイン番号2と3を電話Bポートに着信させるように設定してください。



受話器をあげる→[*][*][1][*][アナログポート番号][*][9][1][*]を押す→
[3]または[4]を押して目的の電話番号を表示→[0][#][#]を押す→受話器を戻す

アナログポート番号	
[1]	: 電話Aポート
[2]	: 電話Bポート



●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートに契約者回線番号とダイヤルイン番号1で着信させる設定をする

 → [*][*][1][*][1][*][9][1][*] → 液晶ディスプレイに契約者回線番号が表示されていることを確認 → [0][3] → 液晶ディスプレイにダイヤルイン番号1が表示されていることを確認 → [0][#]([#] → 

電話Bポートにダイヤルイン番号2と3で着信させる設定をする

( → [*][*][1][*]) [2][*][9][1][*][3][3] → 液晶ディスプレイにダイヤルイン番号2が表示されていることを確認 → [0][3] → 液晶ディスプレイにダイヤルイン番号3が表示されていることを確認 → [0][#][#] → 

お知らせ

液晶ディスプレイに目的の電話番号が表示されていることを確認して[0]を押すと、「着信用アドレス (番号):」の右側に、●が表示されます。ダイヤルイン番号の割り当て方法について詳しくは、「4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)」(☎89ページ)を参照してください。

step 7 モデム・ダイヤルインとナンバー・ディスプレイを設定する

以下の手順を繰り返して、電話A・Bポートに、モデム・ダイヤルインとナンバー・ディスプレイを設定します。ナンバー・ディスプレイとモデム・ダイヤルインを両方使用する場合は、このようにして同時に指定することができます。

モデム・ダイヤルイン(ナンバーディスプレイも使用する)の場合

受話器をあげる → * * 1 * [アナログポート番号] * 1 0 * 4
を押す → 受話器を戻す

アナログポート番号
1 : 電話Aポート
2 : 電話Bポート

●利用例の設定

続けて設定するときは、()内は省略できます。

電話Aポートにモデム・ダイヤルイン(ナンバー・ディスプレイも使用する)を設定する

📞 → * * 1 * 1 * 1 0 * 4 # (# → 📞)

電話Bポートにモデム・ダイヤルイン(ナンバー・ディスプレイも使用する)を設定する

(📞 → * * 1 *) 2 * 1 0 * 4 # # → 📞

step 8 ファクス付き電話機でダイヤルインの番号を登録をする

お使いのファクス付き電話機の取扱説明書を参照して登録してください。
登録する番号は、AtermIに設定した(送出する)番号と一致させてください。

2

利用例に合わせた設定をする

接続機器と電話番号の基本設定をする

ここでは、電話機やファクスを使用するための基本的な設定として、以下の6つの設定を電話機から行う方法を説明します。すでに「利用例に合わせた設定をする」(☎37ページ)で設定を済ませた方は、「電話機・ファクスは使えますか」(☎68ページ)に進んでください。

- ・ アナログポートに接続する機器の種類
- ・ ナンバー・ディスプレイの利用の有無
- ・ i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの利用の有無
- ・ グローバル着信の利用の有無
- ・ 電話番号の登録
- ・ 各電話番号で着信するアナログポートの割り当て

電話機やファクスを使用するための設定内容は、ご自分の契約内容に合わせてください。INSネット64の基本サービスのみを使用される場合は、アナログポートに接続する機器の指定だけを行います。そのほかの設定は、INSネット64のサービス契約に従って、必要に応じて行います。なお、ITX62には電話Cポートはありませんのでご注意ください。

お願い

以下の電話機能の設定方法について詳しくは、「3.電話機能を使いこなそう」(☎69ページ)の各機能の説明を参照してください。

- ・ ナンバー・ディスプレイ
- ・ i・ナンバー
- ・ ダイヤルインサービス

設定 アナログポートに接続する機器の種類を設定する

各アナログポートに接続した機器の種類を指定するか、または何も接続しない設定をします。電話Aポートまたは電話Bポートに対して、以下の手順を繰り返して接続機器を設定してください。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

①：電話Aポート

②：電話Bポート

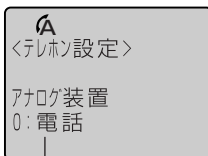
4 * 0 1 * を押す

5 接続している機器の種類または接続しない設定の番号を押す

①：電話機(初期値)

②：ファクス、ファクス付き電話機、モデム

③：何も接続しない



現在の設定値

6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

ポイント

何も接続しないアナログポートには、「接続しない」設定を必ず行なってください。この指定を行なわないと、電話がかかってきたとき、かけてきた相手にはずっと呼び出し中のままで電話がつながらない場合があります。

こんなときは

- ・手順2で「ポート使用中設定不可」と表示された場合は、ほかのポートが通話や通信で使用になっています。通話や通信を終わらせてから設定し直してください。
- ・設定を中止したいときは受話器を戻します。「設定中断」と表示され、それまでの設定内容は取り消されます。

設定 ナンバー・ディスプレイの利用の有無を設定する

INSナンバー・ディスプレイを契約した場合は、ナンバー・ディスプレイを使用するための設定をします。機器を接続したアナログポートに対して、以下の手順を繰り返して設定してください。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

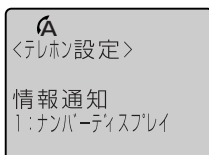
2 : 電話Bポート

4 * 1 0 * を押す

5 ナンバーディスプレイの利用の有無の番号を押す

0 : ナンバーディスプレイを使用しない(初期値)

1 : ナンバーディスプレイを使用する



6 # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お知らせ

ナンバー・ディスプレイを使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。

お願い

ナンバー・ディスプレイを利用するには、INSナンバー・ディスプレイの契約と、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスが必要です。INSナンバー・ディスプレイの工事が完了し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスを接続している場合にだけ、ナンバー・ディスプレイの利用を設定してください。ナンバー・ディスプレイに対応していない電話機が接続されている場合にナンバー・ディスプレイの利用を設定すると、電話の呼び出しが短くなったり、受話器をあげても電話が切れてしまうことがあります。

設定 i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの利用の有無を設定する

i・ナンバーを契約した場合は、i・ナンバーを使用する設定をします。
ダイヤルインサービスを契約した場合は、i・ナンバーを使用しない設定にしてください。
i・ナンバー、ダイヤルインサービスのどちらも契約していない場合は、i・ナンバーを使用しない設定にしてください。

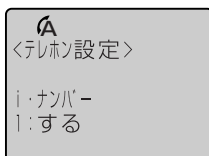
1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 6 * を押す

3 i・ナンバーの利用の有無の番号を押す

0 : i・ナンバーを利用しない(初期値)

1 : i・ナンバーを利用する



4 # # を押す

5 受話器を戻す

設定 グローバル着信の利用の有無を設定する

ダイヤルインサービスのグローバル着信の利用を契約した場合は、機器を接続したアナログポートでグローバル着信をするように設定します。使用するアナログポートで以下の手順を繰り返して、グローバル着信の設定をしてください。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

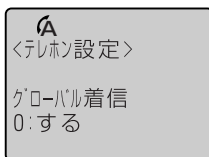
2 : 電話Bポート

4 * 0 5 * を押す

5 グローバル着信の利用の有無の番号を押す

0 : グローバル着信を利用する(初期値)

1 : グローバル着信を利用しない



6 # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

2

接続機器と電話番号の基本設定をする

設定 電話番号を登録する

契約者回線番号や、追加番号を登録します。i・ナンバーもダイヤルインサービスも使用しない場合は、契約者回線番号を登録します。i・ナンバーを使用する場合は、i・ナンバー情報として各電話番号を登録します。ダイヤルインサービスを使用する場合は、契約者回線番号とダイヤルイン番号を登録します。

ポイント

どのi・ナンバー情報に、どの電話番号を登録したか、わからなくなってしまうように注意してください。登録するときには、Aterm設定記入シート(☎232ページ)でチェックしながら設定するなどすると良いでしょう。

あとで実際に各電話番号で電話を受けたい機器を指定するとき、機器と電話番号の対応はi・ナンバー情報で指定します。i・ナンバー情報に登録した電話番号がどの番号だったかわからなくなってしまうと、電話番号の登録からやり直さなくてはなりません。

i・ナンバーもダイヤルインサービスも使用しない場合

契約者回線番号を登録します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 8 0
* を押す

3 登録する電話番号を入力する

例：電話番号「03-1234-1111」を登録する場合は、0 3 1 2 3 4 1 1 1 1 を押します。必ず市外局番から入力してください。

☎
<テレホン設定>

着信用アドレス 0:
0312341111_

4 # # # を押す

5 受話器を戻す

2

接続機器と電話番号の基本設定をする

i・ナンバーを使用する場合

i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2と3に追加番号をそれぞれ登録します。電話番号を2つだけ使用する場合は、i・ナンバー情報3を登録する必要はありません。アナログ・ダイヤルイン(☎98ページ)またはモデム・ダイヤルイン(☎95ページ)で内線指定番号を設定する場合は、「2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)」のstep2(☎85ページ)を参照してください。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

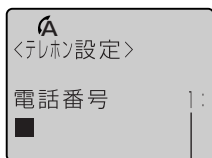
3 5 * 9 0 を押す

4 登録するi・ナンバー情報の番号を押し、[*]を押す

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

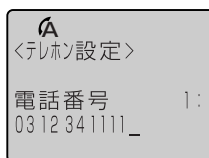
3 : i・ナンバー情報3



i・ナンバー情報の番号

5 登録する電話番号を入力する

例：電話番号「03-1234-1111」を登録する場合は、**0** **3** **1** **2** **3** **4** **1** **1** **1** **1** を押します。必ず市外局番から入力してください。



6 # # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のi・ナンバー情報を設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

ダイヤルインサービスを使用する場合

契約者回線番号と、ダイヤルインサービスの追加番号を登録します。ダイヤルインサービスでは、ダイヤルイン番号1~7の7つの追加番号を利用できます。アナログ・ダイヤルイン(☎98ページ)またはモデム・ダイヤルイン(☎95ページ)で内線指定番号を設定する場合は、「4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)」のstep3(☎92ページ)を参照してください。

1 受話器をあげる

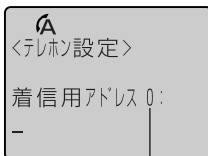
2 * * 1 * を押す

3 4 * 8 を押す

4 [契約者回線番号]または[ダイヤルイン番号]を押し、* を押す

0 : 契約者回線番号

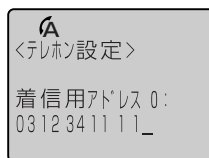
1 ~ 7 : ダイヤルイン番号



契約者回線番号は0、
ダイヤルイン番号は1~7

5 登録する電話番号を入力する

例：電話番号「03-1234-1111」を登録する場合は、0 3 1 2 3 4 1 1 1 1 を押します。必ず市外局番から入力してください。



6 # # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別の電話番号を設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

🔍 こんなときは

- ・手順2で「ポート使用中設定不可」と表示された場合は、ほかのポートが通話や通信で使用になっています。通話や通信を終わらせてから設定し直してください。
- ・電話番号を入力中に間違えたときは、* * を押してください。最後の1ケタが削除されます。
- ・設定を中止したいときは受話器を戻します。「設定中断」と表示され、それまでの設定内容は取り消されます。

設定

各電話番号で着信するアナログポートを割り当てる

電話番号を登録した i・ナンバー情報やダイヤルイン番号を、実際にその電話番号で着信したい機器が接続されているアナログポートに割り当てます。たとえば、i・ナンバー情報1に03-1234-1111を登録していて、この番号にかかってきた電話は電話Aポートの電話機で受けたい、という場合は、電話Aポートに i・ナンバー情報1を割り当てます。

i・ナンバーを使用する場合

登録した i・ナンバー情報を、それぞれの電話番号で着信させたいアナログポートに割り当てます。機器を接続したアナログポートそれぞれに対して、以下の手順を繰り返して、その機器で受けたい電話番号(i・ナンバー情報)を指定してください。電話がかかってくると、それぞれの i・ナンバー情報が割り当てられたアナログポートに接続されている電話機やファクスが呼び出されます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 9 4 * を押す

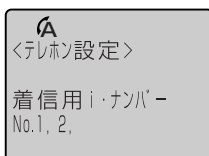
5 着信させたい i・ナンバー情報の番号を押す

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

3 : i・ナンバー情報3

着信させたい i・ナンバー情報が複数あるときは、1 2 のように続けて押してください。



6 # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

ダイヤルインサービスを使用する場合

登録した契約者回線番号またはダイヤルイン番号を、それぞれの電話番号で着信させたいアナログポートに割り当てます。機器を接続したアナログポートそれぞれに対して、以下の手順を繰り返して、その機器で受けたいダイヤルイン番号を指定してください。電話がかかってくると、それぞれの番号が割り当てられたアナログポートに接続されている電話機やファクスが呼び出されます。

1 受話器をあげる

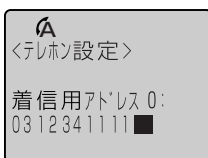
2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 9 1 * を押す

契約者回線番号が表示されます。

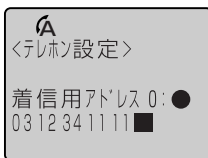


5 3 または 4 を押して、着信させたい電話番号を表示する

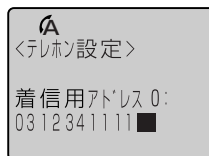
3 を押すと次の番号が、4 を押すと前の番号が表示されます。

6 目的の電話番号が表示されたら 0 を押す

「着信用アドレス (番号) :」の右側に、●が表示されます。これで、設定中のアナログポートにその番号が割り当てられたこととなります。

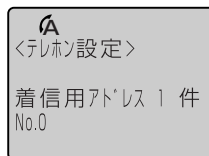


割り当てを解除するには、もう一度 0 を押します。●が消えます。



7 電話番号の割り当て状況を確認するには、2 を押す

設定中のアナログポートの割り当て状況が表示されます(電話Aポートに契約者回線番号を割り当てた例です)。



8 # を押す

ポートを選択する画面に戻ります。

9 続けて別の電話番号を設定するとき、手順3から繰り返す

設定を終了するとき、手順10に進んでください。

10 # を押す

「設定しました」と表示されます。

11 受話器を戻す

2

3. 電話機能を使いこなそう

この章ではAtermをさらに便利に利用するためのいろいろな電話機能を、主に電話機からの設定を使って行う方法を説明しています。電話やファクスの接続状況やINSネット64の契約状況に合わせて、電話機能を適切に設定し、Atermを十分に使いこなしましょう。Atermにパソコンを接続してお使いの方はらくらくアシスタントを使って設定することもできます。ここでは、らくらくアシスタントを使った設定方法についても、合わせて説明しています。

電話機能一覧	70
基本機能	73
電話番号を使い分ける	85
接続している電話機でダイヤルインを使う	95
特定の電話機に着信させる	101
家の中で話す／転送する	110
お話し中に	113
電話番号を表示する	119
電話に出られないとき	130
電話を転送する	135
特定の相手を対象にする	153
通信に関する情報を表示する	175
らくらくアシスタントを使う	178

電話機能一覧

Atermで使える電話機能・サービスの一覧です。INSネット64やBIGLOBEでの契約が必要なサービスも含まれていますのでご注意ください。

機能・サービスの名称		必要な契約	内容		
基本機能	フッキング		電話の保留や切り替えなどのためにフックスイッチなどを押す操作です(☎ 73ページ)。		
	ダイヤル桁間タイマ		ダイヤル後、発信するまでの時間を設定します(☎ 75ページ)。		
	#発信		[#]で発信するか、[#]を2回押すと発信するかを設定します(☎ 76ページ)。		
	受話音量調節		相手の声の音量を調節します(☎ 77ページ)。		
	短縮ダイヤル		短縮ダイヤルで電話をかけます(☎ 79ページ)。		
	着信履歴先発信		一度かけてきた相手に、着信履歴を使って電話をかけます(☎ 82ページ)。		
電話番号を使い分ける	i・ナンバー	INS i・ナンバー	2つまたは3つの電話番号を使い分けます(☎ 85ページ)。		
	ダイヤルインサービス	INS ダイヤルイン	4つ以上の電話番号を使い分けます(☎ 89ページ)。		
接続している電話機でダイヤルインを使う	モデム・ダイヤルイン	INS i・ナンバーまたはダイヤルイン	着信した電話番号をモデム信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します(☎ 95ページ)。		
	アナログ・ダイヤルイン	INS i・ナンバーまたはダイヤルイン	着信した電話番号をプッシュボタン信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します(☎ 98ページ)。		
特定の電話機に着信させる	着信ダイヤルイン複数選択	INS ダイヤルイン	1つのアナログポートに複数の電話番号を着信させます(☎ 101ページ)。		
	優先着信ポート指定		着信する電話機に優先順位を付けます(☎ 103ページ)。		
	サブアドレス		電話番号にサブアドレスを付けて発信・着信させます(☎ 105ページ)。		
家の中で話す／転送する	内線通話		Atermにつないだ電話機同士で通話します(☎ 110ページ)。		
	内線転送		外線からの電話をAtermにつないだほかの電話機に転送します(☎ 111ページ)。		
お話し中に	キャッチホン	INS キャッチホン	INS キャッチホン	通話中に別の相手からの電話を受けることができます(☎ 113ページ)。	
		疑似キャッチホン			
	三者通話	三者通話	INS 三者通話	INS 三者通話	三人で通話します(☎ 116ページ)。
		疑似三者通話	INS ナンバー・ディスプレイ		

機能・サービスの名称		必要な契約	内容	
電話番号を表示する	発信者番号通知	INS ナンバー・ディスプレイ	電話をかけたときに自分の電話番号を相手に知らせます(☎ 119ページ)。	
	INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト	INS ナンバー・ディスプレイ INS ナンバー・リクエスト	電話がかかってきたとき、相手の電話番号をアナログ通信機器に表示します(☎ 123ページ)。	
	キャッチホン・ディスプレイ	INS ナンバー・ディスプレイ INS キャッチホン INS キャッチホン・ディスプレイ	通話中に別の電話がかかってきたとき、相手の電話番号をアナログ通信機器に表示します(☎ 126ページ)。	
電話に出られないとき	お出かけ設定	おやすみモード	外出時や就寝時など、電話に出られないときのための機能です。電話の着信音を鳴らさないおやすみモードとフラッシュモード、電話を転送する電話着信転送モードとボイスワープ転送モードがあります(☎ 130ページ)。	
		電話着信転送モード		INS 着信転送 BIGLOBE
		ボイスワープ転送モード		INS ボイスワープ INS ボイスワープ・セレクト
		フラッシュモード		
	着信転送	着信転送	INS 着信転送	かかってきた電話をほかの電話番号に転送します。電話番号着信通知は、かかってきた相手の電話番号を電子メールで知らせる機能です(☎ 135ページ)。
		疑似着信転送		
		電話番号着信通知	INS ユーザ間情報通知 BIGLOBE	
通信中転送		INS 通信中転送	通話中に、別の相手に転送します(☎ 146ページ)。	
INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト		INS ボイスワープ INS ボイスワープ・セレクト	電話がかかってきたとき、NTTの交換機側で転送するサービスです(☎ 148ページ)。	
特定の相手を対象にする	識別着信	INSなりわけ識別着信	INS なりわけサービス INS ナンバー・ディスプレイ	あらかじめ登録した相手のみを着信させ、その他の着信を受け付けないようにします(☎ 153ページ)。
		疑似識別着信		
	なりわけ	INSなりわけ識別リングング	INS なりわけサービス	あらかじめ登録した相手からの着信があったとき、特別な呼出音を鳴らしてお知らせします(☎ 158ページ)。
		疑似なりわけ	INS ナンバー・ディスプレイ	
	選択キャッチホン	選択キャッチホン	INS なりわけサービス INS キャッチホン	通話中に別の電話がかかってきたとき、あらかじめ登録した相手に限って、電話を受けることができます(☎ 163ページ)。
		疑似選択キャッチホン	INS ナンバー・ディスプレイ	
	迷惑電話おことわり	迷惑電話おことわり	INS 迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします(☎ 166ページ)。
		迷惑電話防止	INS ナンバー・ディスプレイ	
(続く)	マイプライベート着信	INS ナンバー・ディスプレイ	相手によって、着信させる電話機を変えます(☎ 169ページ)。	

機能・サービスの名称		必要な契約	内容
特定の相手を対象にする	識別着信転送	INS なりわけサービス	あらかじめ登録した相手からの着信のみを転送します(☞ 173ページ)。
	疑似識別着信転送	INS ナンバー・ディスプレイ	
通信に関する情報を表示する	通信料金表示		今までの通信料金の合計を表示します(☞ 175ページ)。
	着信履歴表示		かかってきた相手の電話番号や時刻などを表示します(☞ 177ページ)。

- ※ 1. 必要な契約欄の **INS** は、INSネット64の付加サービスの契約が必要であることを示しています。また、**BIGLOBE** は、インターネットプロバイダBIGLOBEで追加の申し込みが必要であることを示しています。
- ※ 2. INSキャッチホン・三者通話・着信転送・通信中転送は、INSネット64のフレックスホンサービスです。
- ※ 3. INSキャッチホンは、以前コールウェイティングと呼ばれていたサービスです。
- ※ 4. 電話番号着信通知は遊遊メールのサービス終了により、ご利用できません。

フッキング

通話中に別の電話がかかってきたとき(キャッチホン使用時)などは、電話を「フッキング」して切り替えます。

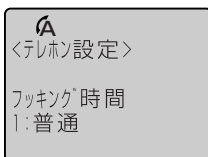
ポイント

- ・フッキングは、内線通話と外線通話の切り替えや、内線転送、三者通話のときにも使います。
- ・フッキングがうまく働かないとき(受話器を置くと呼び返しがあるときなど)は、フッキング検出タイマを調整してください。

設定

フッキング検出タイマを調整する

- 1 受話器をあげる
- 2 * * 1 * を押す
- 3 設定するアナログポートの番号を押す
1 : 電話Aポート
2 : 電話Bポート
- 4 * 0 8 * を押す
- 5 設定するタイマ時間の番号を押す
0 : 短い
1 : 普通
2 : 長い
- 6 # を押す
アナログポートを選択する画面に戻ります。
- 7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す
設定を終了するときには、手順8に進んでください。
- 8 # を押す
「設定しました」と表示されます。
- 9 受話器を戻す

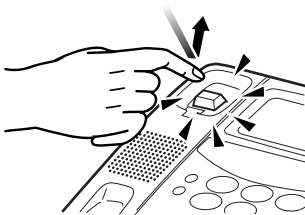


お知らせ

らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[フッキング検出タイマ]で設定します。

操作 電話をフッキングする

電話機にフッキングの機能ボタンがある場合はそのボタン(例：「フック」「キャッチ」など)を押します。フッキングの機能ボタンがない場合は、フックスイッチを軽く(1秒以内)押して離します(長い時間押しと電話が切れます)。



ダイヤル後に発信するまでの時間を調整する (ダイヤル桁間タイム)

ダイヤル後、実際に発信するまでの時間を調整します。

ポイント

ダイヤル桁間タイムは、電話番号の最後のボタンを押した後、実際に電話機から発信するまでの時間を設定しています。初期状態では、ダイヤル後、発信するまでの時間は5秒です。ダイヤル後、すぐに発信するには、最後に $\boxed{\#}$ を押してください。

設定

ダイヤル桁間タイムを調整する

- 1 受話器をあげる
- 2 $\boxed{*}$ $\boxed{*}$ $\boxed{1}$ $\boxed{*}$ を押す
- 3 設定するアナログポートの番号を押す
 - $\boxed{1}$: 電話Aポート
 - $\boxed{2}$: 電話Bポート
- 4 $\boxed{*}$ $\boxed{0}$ $\boxed{7}$ $\boxed{*}$ を押す
- 5 設定するタイム時間の番号を押す
 - $\boxed{0}$: 5秒(初期値)
 - $\boxed{1}$: 9秒
 - $\boxed{2}$: 11秒
 - $\boxed{3}$: 13秒
- 6 $\boxed{\#}$ を押す
アナログポートを選択する画面に戻ります。
- 7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す
設定を終了するときには、手順8に進んでください。
- 8 $\boxed{\#}$ を押す
「設定しました」と表示されます。
- 9 受話器を戻す

 <テレホン設定>

桁間タイム
0:5秒

お知らせ

らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[ダイヤル桁間タイム]で設定します。

発信方法を変更する（#発信）

最後に **[#]** を押すと発信するか、**[#]** を2回押すと発信するか、または **[#]** を押しでも発信しないようにするかを設定します。

ポイント

初期設定では、ダイヤル後、**[#]** を押すと発信するように設定されています。途中で#が含まれている電話番号に電話をかけたい場合などは、**[#]** で発信しないように設定するか、または **[#]** を2回押すと発信するように、設定を変更することができます。

設定

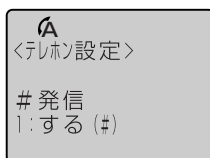
#発信の方法を変更する

1 受話器をあげる

2 **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** **[4]** **[*]** **[7]** **[5]** **[*]**
を押す

3 #発信の番号を押す

- [0]** : **[#]** で発信しない
- [1]** : **[#]** で発信する(初期値)
- [2]** : **[#]** **[#]** で発信する



4 **[#]** **[#]** を押す

5 受話器を戻す

お知らせ

らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[共通設定]タブ→[設定項目選択]の[その他の設定]→[[#]で発信]で設定します。

相手の声の音量を変える(受話音量調節)

通話中、相手の話し声が小さいときに音量を調節します。

ポイント

受話音量調節には、あらかじめ音量を調整しておく方法と、通話中に音量を変更できるようにしておく方法があります。

通話中に変更できるようにしておく方法の場合、初期状態では、音量を調整できないようになっています。まず音量が変更できるように設定を変えてから、通話中に電話機のボタンを押して音量を調整します。

設定

あらかじめ受話音量を調整しておく

1 受話器をあげる

2 を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

: 電話Aポート

: 電話Bポート

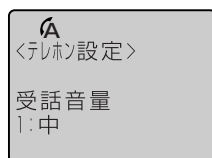
4 を押す

5 受話音量の番号を押す

: 音量・小

: 音量・中(初期値)

: 音量・大



6 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お知らせ

らくらくアシスタントでの設定は78ページの「お知らせ」をご覧ください。



通話中に受話音量を調整できるようにする

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するポートの番号を押す

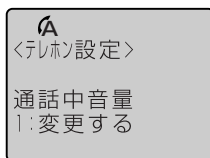
1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 1 4 * を押す

5 1 を押す

(初期値は 0 : 変更しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。



お知らせ

- ・受話音量を変更できない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[受話音量]で設定します。なお、らくらくアシスタントでは通話中の受話音量調整の設定はできません。



通話中に音量を調整する

1 通話中に * # を押す

押すたびに、中→大→小の3段階で音量が切り替わります。

お願い

次のような場合は、電話機を使って受話音量を変更しない設定に戻してください(☞A本ページ)。

- ・相手が * # を押すと、こちら側の電話機の音量が切り替わる場合(相手の電話機の機種によります)
- ・ファクスなどを接続していて、発信するたびに音量が切り替わってファクスの送受信ができない場合
- ・ACR機能付き電話機を接続していて、データの受信の際に発信するたびに音量が切り替わってデータの送受信ができない場合

短縮ダイヤルで電話をかける

長い電話番号も、**[*]**と**[0]**～**[9]**(短縮ダイヤル番号)を押すだけで電話をかけることができます。

ポイント

- ・相手の電話番号を電話帳に登録しておく、短縮ダイヤルで電話をかけることができます。短縮ダイヤルは10件まで登録できます。
- ・サブアドレスを使用する場合は、短縮ダイヤルに電話番号を登録した後で、サブアドレスを登録します。

設定

step 1 短縮ダイヤルを登録する

相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録します。

1 受話器をあげる

2 **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** を押す

3 **[4]** **[*]** **[5]** を押す

4 登録する短縮ダイヤルの番号を押す

[0] : 短縮ダイヤル0
 }
 }

[9] : 短縮ダイヤル9

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

A
 <テレホン設定>
 短縮アドレス 0:
 0312342222

5 **[*]** を押す

6 登録する電話番号を入力する

A
 <テレホン設定>
 短縮アドレス 0:
 0312341111

7 **[#]** を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別の電話番号を登録するとき
 は、手順3から繰り返す

設定を終了するとき、手順9に進んでください。

9 **[#]** を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

step 2 サブアドレスを登録する

各短縮ダイヤルに付けるサブアドレスを、必要に応じて登録します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 4 * 6 を押す

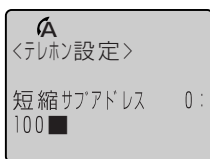
4 登録する短縮ダイヤルの番号を押す

0 : 短縮ダイヤル0

?

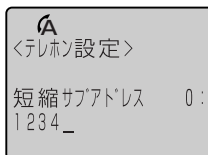
9 : 短縮ダイヤル9

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 登録するサブアドレスの番号を入力する



7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けてサブアドレスを登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

お知らせ

- 登録済みの番号を変更したい場合は、手順4で修正する短縮ダイヤルの番号を選択し、* を押して新しい番号を入力してください。
- 登録済みの番号を削除したい場合は、手順4で削除する短縮ダイヤルの番号を選択したあと、* # # を押して、受話器を戻します。
- らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[電話帳機能の設定]→[短縮ダイヤル]タブ→空いている番号を選択→名前と電話番号(およびサブアドレス)を入力→[更新]で設定します。



短縮ダイヤルで電話をかける

登録した短縮ダイヤルを使って電話をかけます。

- 1 受話器をあげる
「ツー」という音が聞こえます。
- 2 [短縮ダイヤル番号(0~9)]を押す
電話番号を登録した短縮ダイヤルの番号(0~9)を押します。たとえば短縮ダイヤル1に登録したときは、 と押します。
- 3 通話する
- 4 通話が終わったら、受話器を戻す

着信履歴の電話番号に電話をかける

(着信履歴先発信)

Atermに記録されている着信履歴(かかってきた相手の電話番号など)を利用して、以前に電話をかけてきた相手に電話をかけることができます。

ポイント




Atermには、かかってきた相手やかかってきた時間などの着信履歴が最新の50件分まで記録されています。Atermの液晶ディスプレイに着信履歴を表示して確認したり、表示された番号に電話をかけることができます。

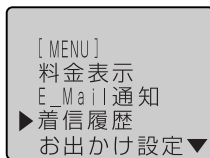
操作 着信履歴の電話番号に電話をかける

Aterm前面の操作ボタンまたは電話機のボタンを使って、着信履歴に残っている相手の電話番号に電話をかけることができます。




●操作ボタンを使う

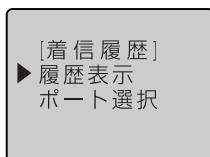
1  ボタンを押す

2  ボタンまたは  ボタンを押して[着信履歴]に矢印を合わせ、 ボタンを押す






着信履歴のメニューが表示されます。

3  ボタンまたは  ボタンを押して[履歴表示]に矢印を合わせ、 ボタンを押す




最新の着信履歴が表示されます。

4 1つ前の着信履歴を表示するには、 ボタンを押します。

 ボタンまたは  ボタンを押すたびに、表示される履歴を前後に切り替えることができます。



5 目的の電話番号が表示されたら、 ボタンを押す

6 呼出音が鳴っている電話機の手話器をあげる

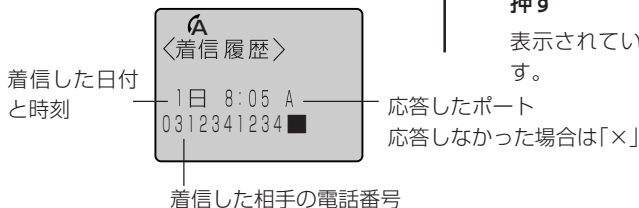
表示されていた相手に電話がかかります。

●電話機のボタンを使う

1 受話器をあげる

2 * * 5 1 を押す

最新の着信履歴が表示されます。



3 1つ前の履歴を表示するには [8] を、 1つ後の履歴を表示するには [2] を押す

4 目的の電話番号が表示されたら [#] を押す

表示されていた相手に電話がかかります。

📎 お知らせ




- ・かかってきた相手の電話番号が非通知・公衆電話・表示圏外のときは電話をかけることはできません。
- ・着信件数が50件を超えると、古いものから順に消去されます。
- ・着信履歴を消去したいときは、電話機のボタンを使って着信履歴を表示し、着信履歴が表示されている状態で [*] を2回押します。
- ・Atermの電源を切ると、すべての着信履歴が消去されます。
- ・呼出音を鳴らす電話機のアナログポートを変更することもできます(☎P84ページ)。

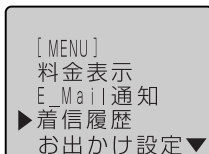
設定

着信履歴先発信で使う電話機を変更する




着信履歴先発信をするときに、通話に使用する電話機のアナログポートを変更することができます。

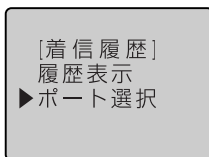
1  ボタンを押す



2  ボタンまたは  ボタンを押して【着信履歴】に矢印を合わせ、 ボタンを押す

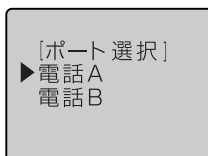


着信履歴のメニューが表示されます。

3  ボタンまたは  ボタンを押して【ポート選択】に矢印を合わせ、 ボタンを押す



4  ボタンまたは  ボタンを押して、使用するアナログポートに矢印を合わせる



5  ボタンを押す

2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)

電話とファクスを別々の電話番号で受けるなど、1回線で2つまたは3つの電話番号を使いたいときは、INSネット64のi・ナンバーを利用します。

ポイント

1回線で複数の電話番号を使いたいときは、i・ナンバーかダイヤルインサービスを契約します。使いたい電話番号が2つまたは3つのときは、i・ナンバーがお得です。

i・ナンバーを契約すると、契約時の電話番号(契約者回線番号)のほかに追加番号を1つまたは2つもることができます。

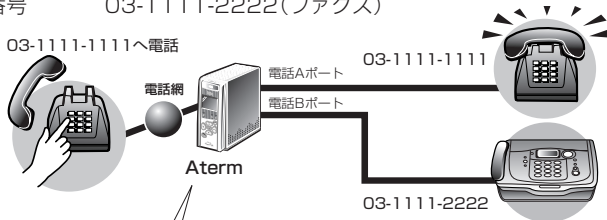
☑ 利用条件

	i・ナンバー
追加契約	i・ナンバー
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	—
その他	i・ナンバーで使えるのは2つまたは3つの電話番号です。4つ以上の電話番号を使用したいときは、ダイヤルインサービスをご利用ください。

☑ 呼び分けの設定

i・ナンバーの設定では、i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2または3に追加番号を正しく設定してください。また、各電話番号で呼び出されたとき、どのアナログポートの電話機を鳴らすか(着信させるか)を決めなければなりません。i・ナンバー情報ごとに、着信させるアナログポートを選択してください。

例：契約者回線番号 03-1111-1111(電話機)
追加番号 03-1111-2222(ファクス)



i・ナンバー情報1 03-1111-1111→電話Aポートの電話機へ着信

i・ナンバー情報2 03-1111-2222→電話Bポートのファクスへ着信

☑ 設定方法

i・ナンバーを使用するには、次のような順番で設定を行います。

i・ナンバーを使用する設定をする



i・ナンバー情報に電話番号を登録する



着信させるアナログポートを設定する

設定

step 1 i・ナンバーを使用する設定をする

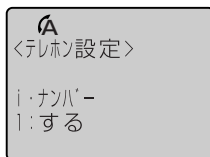
i・ナンバーを使用できるように、Atermを設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 6
* を押す

3 1 を押す

(初期値は 0 : i・ナンバーを使用しない)



4 # # を押す

5 受話器を戻す

電話番号を使い分ける

3

2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)

step 2 i・ナンバー情報に電話番号を登録する

契約者回線番号をi・ナンバー情報1に、追加番号をi・ナンバー情報2および3に登録します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

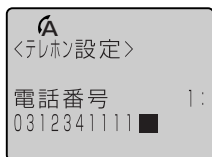
3 5 * 9 0 を押す

4 i・ナンバー情報の番号を押す

- 1 : i・ナンバー情報1
- 2 : i・ナンバー情報2
- 3 : i・ナンバー情報3※1

※1 追加番号が1つだけの場合は、i・ナンバー情報3を登録する必要はありません。

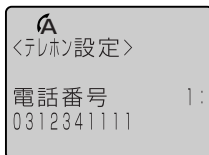
すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 電話番号を入力する

市外局番から入力してください。



(i・ナンバー情報1を登録する例)

7 # を押す

8 アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインで内線指定番号を指定する場合は、* を押す

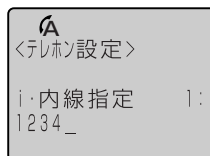
アナログ・ダイヤルインの場合は必ず指定してください。

「アナログ・ダイヤルイン」(☞ 98ページ)

「モデム・ダイヤルイン」(☞ 95ページ)

アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインを使用しない場合は手順10に進んでください。

9 内線指定番号(4ケタ以内)を入力する



10 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

11 続けて別のi・ナンバー情報を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順12に進んでください。

12 # を押す

「設定しました」と表示されます。

13 受話器を戻す

step 3 電話番号で着信させるアナログポートを設定する

登録したi・ナンバー情報を、それぞれの電話番号で着信させたいアナログポートに割り当てます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 着信させるアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 9 4 * を押す

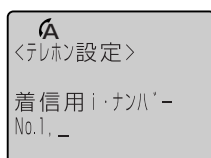
5 着信させるi・ナンバー情報の番号を押す

着信させるi・ナンバー情報を複数指定するときは、**1** **2**のように続けて入力してください。

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

3 : i・ナンバー情報3



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

電話番号を使い分ける

3

2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)

お知らせ

- ・i・ナンバーを利用しないようにするには、Step1の手順3で**0**を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[INS回線の電話番号の設定]で設定します。

電話番号を使い分ける

4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)

1回線で4つ以上の電話番号を使いたいときは、INSネット64のダイヤルインサービスを利用します。

ポイント

1回線で4つ以上の電話番号を使いたいときは、ダイヤルインサービスを契約します。

	ダイヤルインサービス
追加契約	ダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス使用料(追加した番号分だけ料金が加算される)
利用条件	グローバル着信「使用する」を同時に契約してください。
その他	電話番号は7つまで追加できます。契約者回線番号とあわせて、8つの電話番号が使えます。

グローバル着信

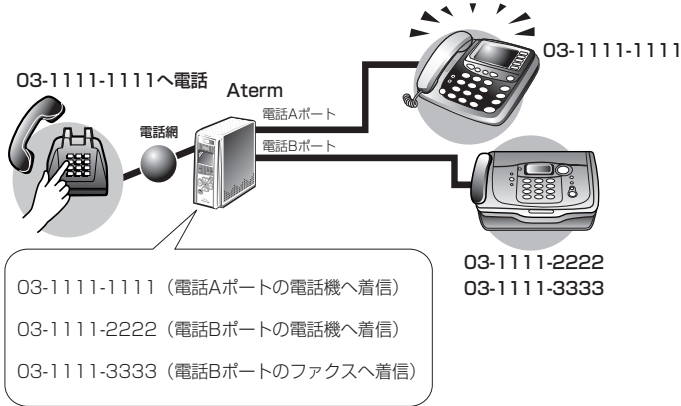
ダイヤルインサービスだけで電話番号を追加契約すると、契約者番号への電話番号の通知も電話番号1個分としてカウントされ、仮にダイヤルインで番号を3つ追加すれば、計4つ分のダイヤルインサービスの料金がかかります。

しかし、グローバル着信の利用とあわせて契約する(追加料金不要)と、契約者回線番号への着信時は電話番号が通知されないの、料金が追加の3つ分だけで済みます。このとき、Atermにグローバル着信を設定すると、「電話番号が通知されない=契約者回線番号への着信」と解釈し、契約者回線番号への着信とダイヤルイン番号への着信を呼び分けることができます。

☑ 呼び分けの設定

ダイヤルインサービスの設定では、グローバル着信の利用の有無、契約者回線番号と追加したダイヤルイン番号を正しく設定してください。また、各電話番号で呼び出されたとき、どのアナログポートの電話機を鳴らすか(着信させるか)を決めなければなりません。電話番号ごとに、着信させるアナログポートを選択してください。

例：契約者回線番号 03-1111-1111(電話機)
 ダイヤルイン番号1 03-1111-2222(電話機)
 ダイヤルイン番号2 03-1111-3333(ファクス)



☑ 設定方法

ダイヤルインサービスを使用するには、次のような順番で設定を行います。

- i・ナンバーを使用しない設定をする
- ↓
- グローバル着信を使用する設定をする
- ↓
- 電話番号を登録する
- ↓
- 着信させるアナログポートを設定する

👁️ お願い

INSネット64の契約が、「グローバル着信を使用する」となっているにも、Atermの設定が「グローバル着信しない」になっていると、契約者回線番号で着信できなくなります。ご注意ください。

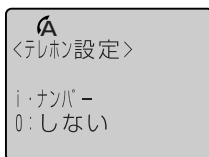
step 1 i・ナンバーを使用しない設定をする

ダイヤルインサービスを利用するので、i・ナンバーを使用しない設定にします。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 6
* を押す

3 0 (初期値) を押す



4 # # を押す

5 受話器を戻す

step 2 グローバル着信を使用する設定をする

使用するすべてのアナログポートでグローバル着信をするように設定します。

1 受話器をあげる

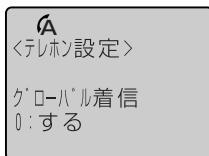
2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 0 5 * を押す

5 0 (初期値) を押す



グローバル着信を使用しない場合は 1 を押します。

6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

step 3 電話番号を登録する

契約者回線番号と、ダイヤルインサービスの追加番号を登録します。ダイヤルインサービスでは、ダイヤルイン番号1～7の7つの追加番号を利用できます。

1 受話器をあげる

2 を押す

3 を押す

4 [契約者回線番号]または[ダイヤルイン番号]を押す

: 契約者回線番号

~ : ダイヤルイン番号1~7
すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

Ⓐ
<テレビ設定>

着信用アドレス 0:
0312341111 ■

5 を押す

6 登録する電話番号を入力する

市外局番から入力してください。


Ⓐ
<テレビ設定>


着信用アドレス 0:
0312341111

7 を押す

8 アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインで内線指定番号を指定する場合は、 を押す

アナログ・ダイヤルインの場合は、必ず指定してください。

「アナログ・ダイヤルイン」( 98ページ)

「モデム・ダイヤルイン」( 95ページ)

アナログ・ダイヤルインまたはモデム・ダイヤルインを使用しない場合は手順10に進んでください。

9 内線指定番号を入力する

Ⓐ
<テレビ設定>

内線指定番号 0:
1234_

10 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

11 続けて別の電話番号を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順12に進んでください。

12 を押す

「設定しました」と表示されます。

13 受話器を戻す

step 4 電話番号で着信させるアナログポートを設定する

登録した契約者回線番号またはダイヤルイン番号を、それぞれの電話番号で着信させたいアナログポートに割り当てます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

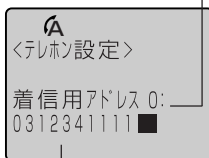
3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

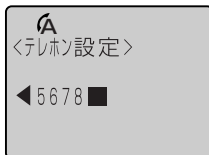
2 : 電話Bポート

4 * 9 1 * を押す

契約者回線番号は0、ダイヤルイン番号は1～7が表示される。次の番号を表示するには「3」を、前の番号を表示するには「4」を押す



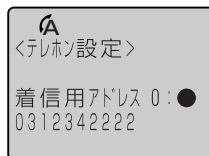
電話番号。番号が長くて表示しきれない場合は最後に▶が表示されるので「1」を押すと、続きの番号が表示される



5 3 または 4 を押して、割り当てたい電話番号を表示する

6 目的の電話番号が表示されたら、0 を押す

その電話番号が選択したアナログポートに割り当てられ、●が表示されます。



1つのアナログポートに複数の電話番号を割り当てることができます。

複数のアナログポートに同じ電話番号を割り当てすることもできます。

7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

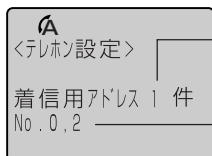
9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

お知らせ



- ・グローバル着信を使用しない場合は、Step2の手順5で **[1]** を押します。
- ・ダイヤルイン番号の割り当てを解除するには、Step4の手順6で、再度 **[0]** を押します。
- ・電話番号の割り当て状況を表示するには、Step4の手順4以降で、 **[2]** を押します。設定中のアナログポートに割り当てられているダイヤルインの数と番号が表示されます。



そのアナログポートに割り当てた電話番号の数

割り当てられているダイヤルイン番号。

契約者回線番号は0、ダイヤルイン番号は1～7

- ・割り当て状況の確認後 **[#]** を押すとアナログポートを選択する画面に戻ります。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[INS回線の電話番号の設定]で設定します。
- ・内線指定番号については、「アナログ・ダイヤルイン」( 98ページ)および「モデム・ダイヤルイン」( 95ページ)のお知らせとお願いを参照してください。

接続している電話機でダイヤルインを使う

モデム・ダイヤルイン

ファクス付き電話機の電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるなど、モデム・ダイヤルイン対応のアナログ通信機器では、複数の電話番号で呼び分けることができます。

ポイント

1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるためには、交換機から通知された電話番号を、アナログ通信機器に通知する必要があります。モデム・ダイヤルインは、この電話番号をモデム信号で通知する方式です。

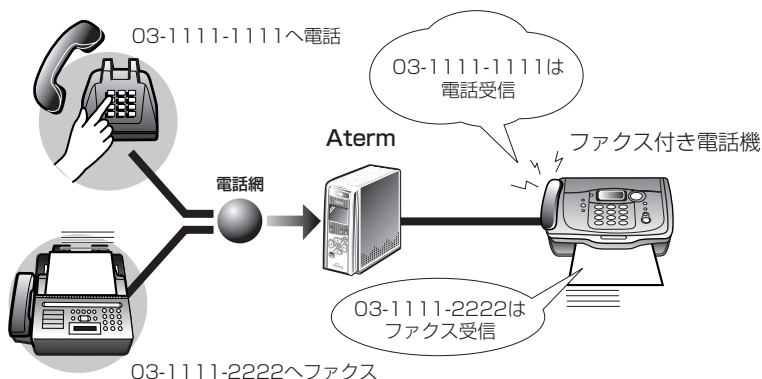
☑ 利用条件

	モデム・ダイヤルイン
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	モデム・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。

☑ 呼び分けの設定

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの電話番号と着信するアナログポートを設定します。また、電話番号設定時に、必要に応じて内線指定番号も設定しておきます(☞P87ページおよび92ページ)。その後で、モデム・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器にダイヤルインの番号を登録します。

例：電話Aポートにファクス付き電話機を接続し、電話は03-1111-1111、ファクスは03-1111-2222(自動受信)で受けるようにします。



- ・ 03-1111-1111(電話用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に03-1111-1111をモデム信号で通知します。電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- ・ 03-1111-2222(ファクス用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に03-1111-2222をモデム信号で通知します。ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

お知らせ

- ・ ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器は、モデム・ダイヤルイン対応となっていますので、モデム・ダイヤルイン機能での呼び分けをご利用ください。
- ・ サブアドレスを設定すると、サブアドレスも送出されます。ただし、アナログ通信機器によってはサブアドレスが付いていると呼び分けできない場合があります。そのような場合は、「発・着サブアドレスを通知しない」を設定してください(☎ 107ページ)。
- ・ ファクス付き電話機でキャッチホンを設定したときは、通話中にファクスあての着信が入った場合も、通話中の電話機に「プブツ」という音が聞こえます。
- ・ ファクス付き電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。

step 1 モデム・ダイヤルインを設定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

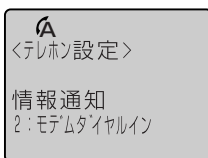
4 * 1 0 * を押す

5 情報通知サービスの番号を押す

2 : モデム・ダイヤルイン

4 : モデム・ダイヤルイン+ナンバー
ディスプレイ

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お知らせ

・モデム・ダイヤルインを使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。

・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定] →[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[情報通知サービス]で設定します。また、ダイヤルインサービス利用時に、内線指定番号の設定をしている場合(☎ 92ページ)は、[情報通知サービス]内の[番号の送出方法]ボタン→[内線指定番号に変換して送出する]を選択→内線指定番号を入力します。

step 2 アナログ通信機器にダイヤルインの番号または内線指定番号を登録する

登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。

登録する番号は、Atermに設定した(送出する)番号と一致させてください。

アナログ・ダイヤルイン

ファクス付き電話機の電話とファクスに別々の電話番号を割り当てるなど、アナログ・ダイヤルイン対応のアナログ通信機器では、複数の電話番号で呼び分けることができます。

ポイント

1台のアナログ通信機器を複数の電話番号で呼び分けるためには、交換機から通知された電話番号を、アナログ通信機器に通知する必要があります。アナログ・ダイヤルインは、この電話番号をプッシュボタン信号で通知する方式です。

利用条件

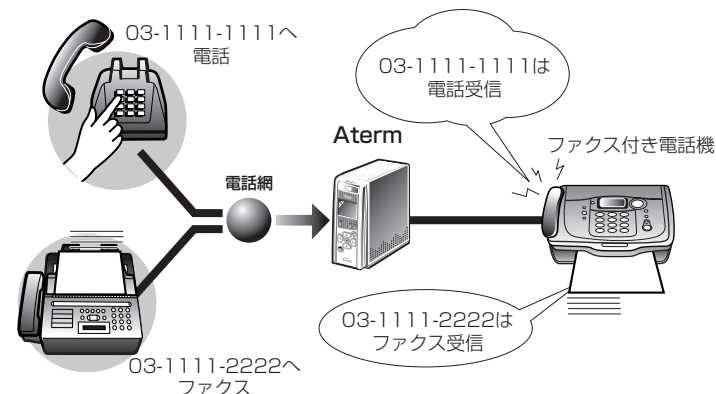
	アナログ・ダイヤルイン
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	アナログ・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。

呼び分けの設定

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスの電話番号と着信するアナログポートを設定します。また、電話番号設定時に、必ず内線指定番号を設定しておきます。そのあとで、アナログ・ダイヤルインを選択し、アナログ通信機器に内線指定番号を登録します。

例：電話Aポートにファクス付き電話機を接続し、電話は03-1111-1111、ファクスは03-1111-2222(自動受信)で受けるようにします。

電話Aポートに接続されたファクス付き電話機を、電話は03-1111-1111(内線指定番号1111)、ファクスは03-1111-2222(内線指定番号2222)で受けるように設定しておきます。ファクス受信のときは、着信音を鳴らさず、自動受信するように設定しておきます。



- ・ 03-1111-1111(電話用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に1111をプッシュボタン信号で通知します。電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- ・ 03-1111-2222(ファクス用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に2222をプッシュボタン信号で通知します。ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

👁️ お願い

- ・ INSナンバー・ディスプレイ契約時は、アナログ・ダイヤルインの使用はできませんので、モデム・ダイヤルインをご使用ください。
- ・ アナログ・ダイヤルインを使用するときは、必ず内線指定番号を設定してください。

📎 お知らせ

- ・ アナログ・ダイヤルインを使用するように設定したアナログポートに対して、内線通話や内線転送はできません。
- ・ おやすみモード、フラッシュモード中、INSなりわけ・疑似なりわけ利用中およびブザー呼出時は利用できません。

設定

step 1 アナログ・ダイヤルインを設定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

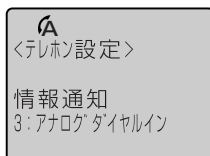
1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 1 0 * を押す

5 3 を押す

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

接続している電話機でダイヤルインを使う

3

アナログ・ダイヤルイン

お知らせ

- ・アナログ・ダイヤルインを使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[情報通知サービス]で設定します。また、ダイヤルインサービス利用時に、内線指定番号の設定をしている場合(☎ 92ページ)は、[情報通知サービス]内の[番号送出方法]ボタン→[内線指定番号に変換して送出する]を選択→内線指定番号を入力します。

step 2 アナログ通信機器に内線指定番号を登録する

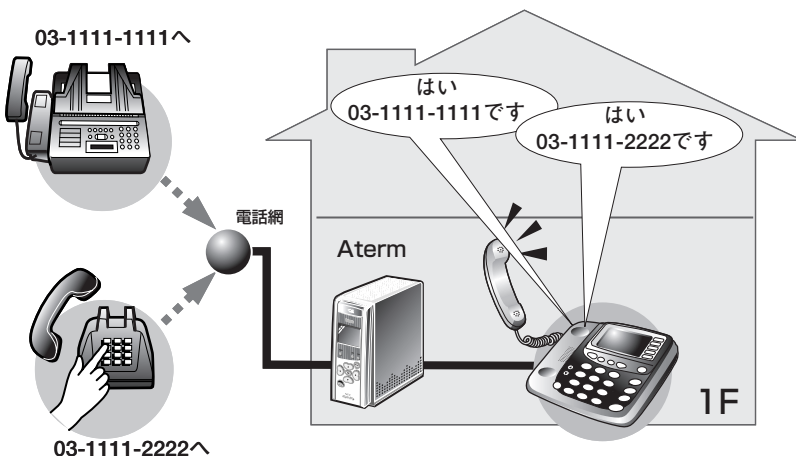
登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。
登録する番号は、Atermに設定した(送出する)番号と一致させてください。

特定の電話機に着信させる

1台の電話機で複数の電話番号を使う

(着信ダイヤルイン複数選択)

1台の電話機に複数の電話番号を割り当てることができます。相手がどの電話番号にかけても、同じ電話機が鳴ります。



ポイント

複数の電話番号を使うとき、電話番号と着信させるアナログポートを1対1に対応させるのが一般的ですが、複数の電話番号を1つのアナログポートに着信させることもできます。

利用条件

	着信ダイヤルイン複数選択
追加契約	i・ナンバーまたはダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス利用料
利用条件	i・ナンバーまたはダイヤルインサービスで複数の追加番号の契約が必要です。

お知らせ

- ・ダイヤルインサービスを使用する場合は、グローバル着信を使用する設定をし、使用する電話番号を登録しておきます(☎ 89ページ)。
- ・ファクス付き電話機の電話機能とファクス機能を別の電話番号で使い分ける場合は、モデム・ダイヤルイン(☎ 95ページ)またはアナログ・ダイヤルイン(☎ 98ページ)も設定してください。



各アナログポートに電話番号または i・ナンバー 情報を割り当てる

あらかじめグローバル着信や使用する電話番号などを設定しておきます。それから、i・ナンバーを使用している場合は i・ナンバー情報を、ダイヤルインサービスを使用している場合は契約者回線番号やダイヤルイン番号を、着信させたいアナログポートに割り当てます。

● i・ナンバーを使用する場合

「2つまたは3つの電話番号を使う (i・ナンバー)」の Step 3 (☎ 88ページ) を参照してください。

● ダイヤルインサービスを使用する場合

「4つ以上の電話番号を使う (ダイヤルインサービス)」の Step 4 (☎ 93ページ) を参照してください。

特定の電話機に着信させる

3

1台の電話機で複数の電話番号を使う (着信ダイヤルイン複数選択)

特定の電話機に着信させる

メインの電話機に優先的に着信させる

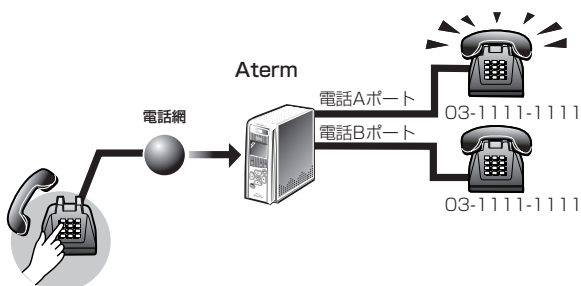
(優先着信ポート指定)

同じ電話番号で複数の電話機やファクスを使っている場合でも、メインで使いたい電話機が空いていれば、その電話機だけに着信させることができます。

ポイント

同じ電話番号を複数のアナログポートの着信電話番号に割り当てた場合に、優先的に着信させるアナログポートが指定できます。

たとえば、電話Aポートと電話Bポートが同じ電話番号の場合、電話Aポートを優先着信ポートにすると、電話Aポートが空いていれば電話Aポートに接続している電話機だけに着信します。電話Aポートが空いていないときだけ、電話Bポートに接続している電話機に着信します。





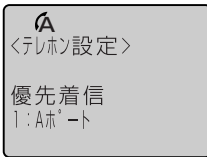
優先的に着信するアナログポートを選択する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 3
* を押す

3 優先着信するアナログポートの番号を
押す

1 : 電話Aポート
2 : 電話Bポート
(初期値は 0 : 指定しない)



4 # # を押す

5 受話器を戻す

特定の電話機に着信させる

3

お知らせ

- ・ どのアナログポートにも優先着信しない場合は、手順3で **0** を押します。
- ・ ホームテレホン／ビジネスホンと接続する場合(☎ 223ページ)は、優先着信させるアナログポートを必ず指定してください。
- ・ らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定] → [共通設定] タブ → [設定項目選択] の [着信設定] → [優先着信ポート] で設定します。

メインの電話機に優先的に着信させる(優先着信ポート指定)

サブアドレスで特定の電話機に着信させる

サブアドレスを利用すると、電話番号が1つしかなくても電話機を呼び分けることができます。サブアドレスが正しいときだけ着信させることができるので、着信を制限するために使うこともできます。

ポイント

INSネット64やPHSでは、電話をかけるときに電話番号にサブアドレスを加えることができます。サブアドレスは、電話番号に加えることのできる補助番号で、19ケタまでの任意の番号を使用できます。

着信側で、サブアドレスを設定し、サブアドレスが一致したときだけ着信させるようにしておくと、相手が正しいサブアドレスを付けてダイヤルしたときにしか着信しません。サブアドレスはアナログポートごとに設定できるので、電話番号が同じでも、異なるサブアドレスを使うことによって、特定のアナログポートに着信させることができます。

利用条件

	サブアドレス
追加契約	不要
追加料金	不要
利用条件	INSネット64の基本サービスです。

通話可能な組み合わせ

発信側のサブアドレス通知の有無と、着信側の設定の組み合わせによって、実際に通話できるかどうかが決まります。

			発信側の設定	
			サブアドレス通知なし	サブアドレス通知あり
着信側の設定	サブアドレスなし着信する	サブアドレス登録なし	○	×
		サブアドレス登録あり	○	アドレス一致 ○ アドレス不一致 ×
	サブアドレスなし着信しない	サブアドレス登録なし	×	×
		サブアドレス登録あり	×	アドレス一致 ○ アドレス不一致 ×

○:通話可能 ×:通話拒否

✓ 設定方法

サブアドレスを利用するには、次のような順番で着信側の設定を行います。

「サブアドレスなし着信をしない」に設定する



「発・着サブアドレスを通知する」に設定する



サブアドレスの番号を登録する

着信側は、あらかじめアナログポートごとにサブアドレスを設定しておきます。サブアドレスに使う番号は自由に決めることができます。

相手に電話番号と設定したサブアドレスを知らせてください。

👁️ お願い

「サブアドレスなし着信をしない」に設定すると、サブアドレスがない着信を一切受け付けなくなります。相手が電話回線(アナログ網)のときは、サブアドレスを付けて電話をかけることはできないので、着信することができません。ご注意ください。

🔧 設定

step 1 「サブアドレスなし着信をしない」に設定する(着信側) —

サブアドレスがない着信は受け付けないように設定します。

1 受話器をあげる

2 を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

: 電話Aポート

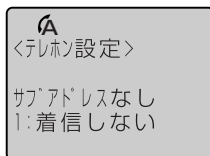
: 電話Bポート

4 を押す

5 を押す

サブアドレスがない着信をするときは、

(初期値)を押します。



6 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

step 2 「発・着サブアドレスを通知する」に設定する(着信側) —

ナンバー・ディスプレイまたはモデム・ダイヤルインを使用する際に、必要に応じて発・着サブアドレスをアナログ通信機器に通知するように設定することができます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

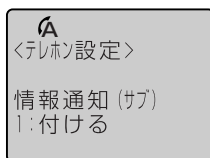
1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 1 1 * を押す

5 1 を押す

発・着サブアドレスを通知しない(付けない)ときは、0 (初期値)を押します。



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お知らせ

サブアドレスを設定すると、サブアドレスも送出されます。ただし、アナログ通信機器によってはサブアドレスが付いていると呼び分けできない場合があります。そのような場合は、「発・着サブアドレスを通知しない」を設定してください。

step 3 サブアドレスの番号を登録する(着信側)

サブアドレスを19ケタ以内の数字で指定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

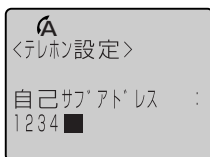
3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

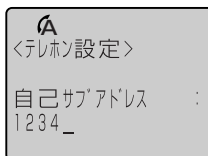
4 * 9 3 を押す

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 サブアドレスの番号を入力する



7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

特定の電話機に着信させる

3

サブアドレスで特定の電話機に着信させる

お知らせ

らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[サブアドレス]で設定します。



サブアドレスを付けて電話をかける(発信側) 一

相手を呼び出す際にサブアドレスを使用する場合、相手の電話番号にサブアドレスを付けて電話をかけます。双方がINSネット64に加入している必要があります。

1 受話器をあげる

2 【電話番号】[*]【サブアドレス】を入力する

例：電話番号が03-1111-1234で、サブアドレスが100の場合は、

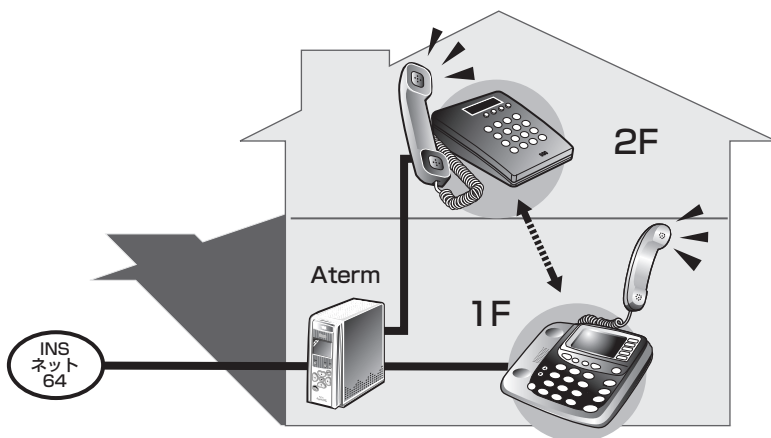
0 3 1 1 1 1 1 2 3 4 * 1 0 0 を押します。

📖 お知らせ

着信時はサブアドレスを自動的にチェックするので、特別な操作は必要ありません。

内線で話す (内線通話)

アナログポートにつないだ電話機同士で、通話できます。



3

操作 内線で話す

1 受話器をあげる

「ツー」という音が聞こえます。

2 # * [アナログポート番号]を押す

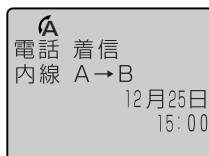
[相手の電話機のアナログポート番号]

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

ダイヤル後、約5秒(初期値)たってから呼び出します。

ダイヤル後、続けて # を押すと、すぐに呼び出します。



(電話Aポートの例)

3 通話する

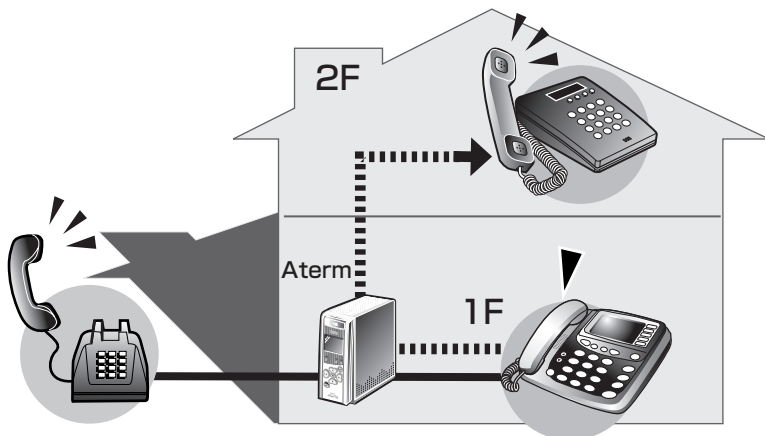
4 通話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

- ・外線と内線の着信音は同じです。
- ・停電時は利用できません。
- ・内線通話中に外線から電話がかかってきたときは、「プップ」と割込音を鳴らしてお知らせします。フッキングする(☞ 74ページ)と、内線通話は終了し外線との通話に切り替わります。
- ・フッキングがうまく働かないときは、フッキング検出タイマを調整してください(☞ 73ページ)。

外線をほかの電話機に転送する(内線転送)

外からかかってきた電話を、別のアナログポートにつないだ電話機に転送します。



操作 外線をほかの電話機に転送する

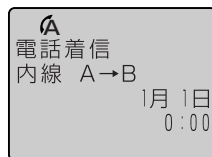
- 1 外線と通話中にフッキングする(☎
74ページ)

「ブブブ」という音が聞こえます。外線で通話中の相手には、疑似保留音(「ピッポッパ」)が聞こえます。

- 2 [ポート番号]を押す

[内線相手の電話機のポート番号]

- : 電話Aポート
 : 電話Bポート



(電話Aポートの例)

- 3 転送先の電話機が鳴る

そのまま受話器を戻すか、転送先が電話に出てから、転送する旨を伝えて受話器を戻します。

- 4 転送先と外線相手が通話する

お知らせ

- ・ 同一回線にバス接続されている別のターミナルアダプタに接続された電話機へは、内線転送できません。
- ・ フッキングしたあと、すぐに次の操作をしないと、外線との通話に戻ります。「ププ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。
- ・ 転送中(内線相手を呼出中)にフッキングすると、外線との通話に戻ります。
- ・ 停電時は利用できません。
- ・ 三者通話中は、内線転送はできません。

家
の中
で
話
す
／
転
送
す
る

3

外
線
を
ほ
か
の
電
話
機
に
転
送
す
る
(
内
線
転
送
)

電話中に別の電話を受ける

(INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

通話中に別の相手から電話がかかってきたときに「プブ、プブ・・・」という割込音でお知らせします。

INSキャッチホンと疑似キャッチホンがあります。

ポイント

- ☑ フレックスホンのINSキャッチホン(INSネット64)と疑似キャッチホン(Aterm機能)の違い

	INSネット64フレックスホン INSキャッチホン	Aterm 疑似キャッチホン
追加契約	フレックスホンのINSキャッチホン	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信ができます。	B1・B2チャンネルを両方使うため、ほかのポートを使用できません。
利用条件	通信中着信通知サービスも契約してください。	—

お知らせ

- ・INSナンバー・ディスプレイ契約時はキャッチホン・ディスプレイ機能を使うことができます(☎ 126ページ)。
- ・INSキャッチホンで割り込みさせる相手をあらかじめ制限しておくことができます。(「キャッチホンを受け付ける相手を限定する(選択キャッチホン／疑似選択キャッチホン)」)(☎ 163ページ)。
- ・フレックスホン(キャッチホン・通信中転送・三者通話・着信転送)を契約している場合も疑似キャッチホンは利用できますが、INSキャッチホンと疑似キャッチホンを同時に利用することはできません。
- ・INSキャッチホン使用時に、キャッチホンが入って「プブッ、プブッ」と割込音が鳴っている間は、Bチャンネルを2本使用しているのでインターネットの発信などはできません。



キャッチホンを設定する

フレックスホンのINSキャッチホンと疑似キャッチホンの、どちらを利用するかをアナログポートごとに設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

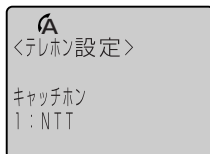
4 * 0 2 * を押す

5 使用するキャッチホンの番号を押す

1 : INSキャッチホン

2 : 疑似キャッチホン

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お話中に

3

電話中に別の電話を受ける(INSキャッチホン/疑似キャッチホン)

お願い

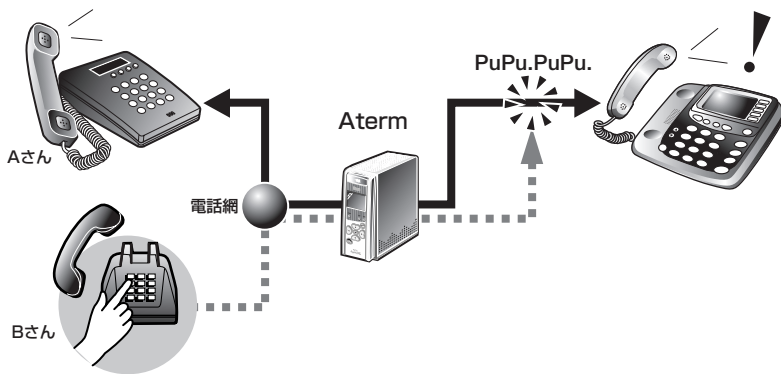
ファクスやモデムを接続したアナログポートには、キャッチホンを設定しないでください。通信中に割込音が入ると、通信エラーとなります。

お知らせ

- ・キャッチホンを使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[キャッチホン]で設定します。

操作 キャッチホンを受ける

通話中に別の電話がかかってきたとき(割込音が聞こえたとき)は、フッキングで相手を切り替えます。



1 Aさんとの通話中に「プブ、プブ...」という割込音が聞こえる

Bさんから電話がかかっています。Bさんには、呼出音が聞こえています。

2 フッキングする(☎ 74ページ)

Bさんとの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音が流れます。もし、この間にAさんが電話を切ると、Aさんとの通話は終了します。

3 もう一度フッキングする

Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音が流れます。以降、フッキングするたびに、相手が交互に切り替わります。

お知らせ

Atermに接続した2台の電話機がそれぞれ通話中に、さらに別の相手から電話がかかってきたときは、電話Aポートにのみ「プブ、プブ...」という割込音が聞こえます。

お話中に

3

電話中に別の電話を受ける(2台キャッチホン/疑似キャッチホン)

三人で同時に話す (三者通話／疑似三者通話)

通話中にもう一人を呼び出して三人で通話します。INSネット64のフレックスホンの三者通話と疑似三者通話があります。

ポイント

- ☑ INSネット64のフレックスホンの三者通話とAtermの機能の疑似三者通話の違い

	INSネット64 フレックスホン 三者通話	Aterm 疑似三者通話
追加契約	フレックスホンの三者通話	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、三者通話中でも空いているポートで通話や通信ができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ B1・B2チャンネルを両方使うため、ほかのポートを使用できません。 ・ 通信中転送は利用できません。 ・ ミキシングモードから切替モードには移行できません。
その他	通信中転送の契約は必要ありません。	—

お知らせ

疑似三者通話(ミキシングモード)の終了時は、最後の発信にかかった通話料金がらくらくアシスタントの直前通信料金に表示されます(添付CD-ROM『データ通信ガイド』)。

設定 三者通話を設定する

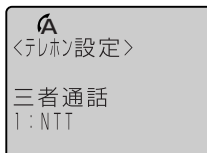
フレックスホンの三者通話と疑似三者通話のどちらを利用するかを設定します。

1 受話器をあげる

- 2 * * 1 * 4 * 2 5
* を押す

3 使用する三者通話の番号を押す

- 1 : 三者通話
2 : 疑似三者通話
(初期値は 0 : 使用しない)



4 # # を押す

5 受話器を戻す

お知らせ

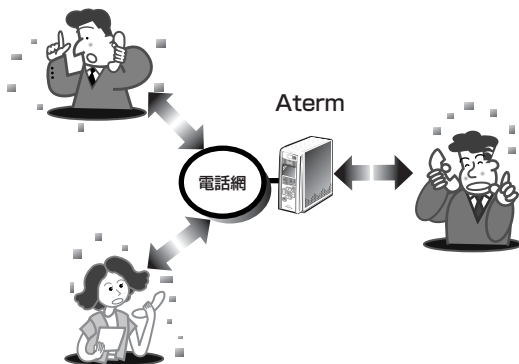
- ・ 三者通話を使用しない設定に戻すには、手順3で **[0]** を押します。
- ・ らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]
→[共通設定] タブ→[設定項目選択]の[その他の設定]→[三者通話]で設定します。

操作 三者通話する

三者同時に会話するミキシングモードと、二者を切り替えて会話する切替モードがあります。

●ミキシングモード(三者同時に会話する)

三人で同時に会話できます。



1 Aさんとの通話中にBさん呼び出す

- 1) フッキングする(☎ 74ページ)
Aさんには、保留音が聞こえます。
- 2) 「ブブブ・・・」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする
Bさんが電話に出れば、話ができます。

2 Aさん、Bさん、自分の三人で会話する

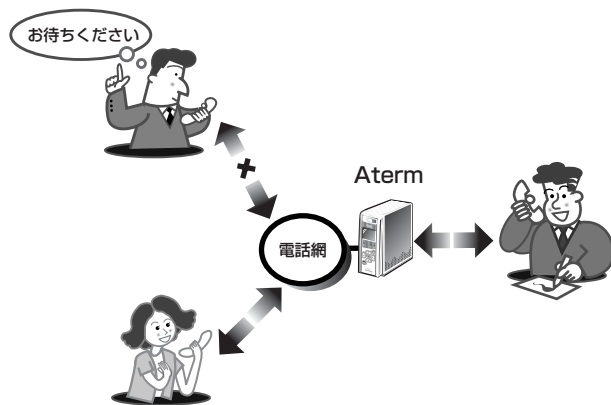
フッキングし、「ブブブ・・・」という音が聞こえたらもう一度フッキングする
Aさん、Bさん、自分の三人で同時に会話できます。

3 通話が終わったら、電話を切る

1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押す
AさんとBさん両方との電話が切れます。

●切替モード(二者を切り替えて会話する)

通話中の相手を切り替えて交互に会話します。同時に会話できるのは二人です。



1 Aさんとの通話中にBさん呼び出す

- 1) フッキングする(☞ 74ページ)
Aさんには、保留音が聞こえます。
- 2) 「プププ・・・」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする
Bさんが電話に出れば、話ができます。

2 Aさんとの通話に戻る

Bさんとの通話中にフッキングすると「ププッ、ププッ」という音が聞こえ、その音が停止した後にAさんとの通話に戻ります。
この操作を繰り返し、何度でも通話を切り替えることができます。

3 通話が終わったら、電話を切る

- 1) 1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押す
現在通話中の相手との電話が切れます。
- 2) 着信音が鳴ったら、受話器を取る
保留中の相手と話ができます。

📎 お知らせ

- ・切替モードとミキシングモードを切り替えるには、2回続けてフッキングします。ただし、疑似三者通話の場合は、切替モードからミキシングモードへは移行できませんが、ミキシングモードから切替モードに切り替えることはできません。
- ・三者通話がうまくできないときは、ダイヤル桁間タイマを長くして試してみてください(☞ 75ページ)。

自分の電話番号を相手に知らせる

(発信者番号通知)

電話をかけるときに、自分の電話番号を相手に知らせます。相手の方がナンバー・ディスプレイを使っている場合やINSネット64を使っている場合、相手側の電話機にこちらの電話番号を表示します。

ポイント

通知した電話番号が相手側に表示されるのは、次のような場合です。

- ・INSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を使っている場合
- ・PHSやデジタル携帯電話の場合

186/184を付ける

発信者番号の通知する／しないを一時的に変更したい場合は、相手の電話番号をダイヤルする前に、 または をダイヤルしてください。INSネット64の契約やAtermの設定内容に関係なく、通知する／通知しないを指定できます。

186(通知する)：電話番号が通知されます。

184(通知しない)：電話番号は通知されません。

発信者番号を通知する／通知しないの組み合わせ

INSネット64の契約やAtermの設定、186/184の付加の組み合わせによって、実際に通知する／しないは次のようになります。

INSネット64の契約	発信時の付加番号	Atermの設定		
		通知しない	通知する	INSネット64の申込内容に従う
通常通知 (通話ごと非通知)	相手の電話番号	×	○	○
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号	○	○	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	相手の電話番号	×	○	×
	184+相手の電話番号	×	×	×
	186+相手の電話番号	○	○	○

○：通知する ×：通知しない

お知らせ

- ・INSネット64で常時通知拒否をご契約の場合、Atermの設定や186/184の付加に関係なく、常に通知されません(常時通知拒否は以前にあった契約です。現在、新しく常時通知拒否を契約することはできません)。
- ・契約者回線番号、i・ナンバー情報、ダイヤルイン番号などの使用する電話番号をあらかじめ登録しておきます(☎ 85ページおよび89ページ)。
- ・「かけてきた相手の電話番号を表示する(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)」(☎ 123ページ)もあわせてお読みください。

設定

step 1 発信者番号通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを、アナログポートごとに設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

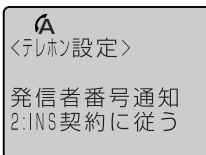
3 設定するアナログポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 0 9 * を押す

5 設定する通知状況の番号を押す

- 0 : 発信者番号を通知しない
- 1 : 発信者番号を通知する
- 2 : INSネット64の申込内容通り
(初期値)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お願い

- ・発信者番号通知の設定はアナログポートごとに設定してください。

お知らせ

- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[発信者番号通知]で設定します。

step 2 通知する電話番号を設定する

相手に通知する電話番号を、アナログポートごとに設定します。契約者回線番号、i・ナンバー情報、ダイヤルイン番号として登録した番号の中から、通知する番号をアナログポートごとに選択できます。何も設定しなければ、契約者回線番号が通知されます。

● i・ナンバーを使用しないとき

1 受話器をあげる

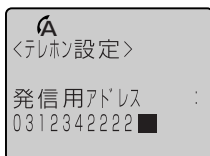
2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 9 2 を押す

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

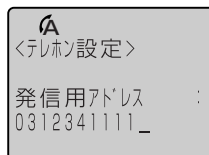


☎
<テレビホン設定>
発信者アドレ :
0312342222 ■

5 * を押す。

6 電話番号を入力する

市外局番から入力してください。



☎
<テレビホン設定>
発信者アドレ :
0312341111 _

7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

● i・ナンバーを使用するとき

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 9 5 を押す

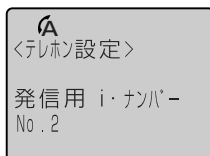
5 * を押す

6 設定するi・ナンバー情報の番号を押す

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

3 : i・ナンバー情報3



7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

📎 お知らせ

・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[発信者番号通知]で設定します。

・通知する電話番号は、i・ナンバーを使用するときは、メニュー画面→[INS回線の電話番号の設定]→[通知番号]で通知する電話番号のポートを選択して設定します。i・ナンバーを使用しないときは、メニュー画面→[INS回線の電話番号の設定]→[発信するポート]で通知する電話番号のポートを選択して設定します。

かけてきた相手の電話番号を表示する

(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)

電話がかかってきたときに、相手の電話番号を電話機に表示します。電話に出る前に相手が誰なのかわかるので安心です。

ポイント

INSナンバー・ディスプレイ

INSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクス(アナログ通信機器)を使用すると、電話がかかってきたときに相手の電話番号がAtermや電話機・ファクスのディスプレイに表示されます。相手が電話番号を通知(発信者番号通知)してこない場合は、電話番号が表示されず、通知しない理由(非通知・公衆電話・表示圏外)が表示されます。

INSナンバー・リクエスト

電話番号を通知してこない相手に、音声で電話番号を通知してかけ直すようメッセージを流します。電話番号を通知してこない電話は、こちらには着信しません。

利用条件

	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・リクエスト
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ INSナンバー・リクエスト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
利用条件	相手の電話番号を表示させるには、ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	INSナンバー・リクエストは、INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。

お願い

- INSナンバー・ディスプレイを契約しないでAtermにナンバー・ディスプレイを設定しても、接続したナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に電話番号は表示されません。
- 1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続した場合、ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を使用している場合でも電話番号が正常に表示されません。
- INSナンバー・ディスプレイを使用している場合は、着信中はらくらくアシスタントの[OK]ボタンや[登録]ボタンをクリックしないでください。

お知らせ

- ・相手が使用しているPHSやデジタル携帯電話の機種によっては、電話番号が表示されないことがあります。
- ・INSナンバー・リクエストで相手に応答している場合、こちらの電話機の着信音は鳴りません。電話をかけた人には電話料金がかかります。
- ・INSネット64加入者・デジタル携帯電話・PHSから発信者番号を通知して電話がかかってきた場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約をしなくても、Atermの液晶ディスプレイやナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。INSナンバー・ディスプレイを契約すると、アナログ回線からかかってきた電話番号も表示されるようになります。
- ・発信者番号通知については、「自分の電話番号を相手に知らせる(発信者番号通知)」(☎ 119ページ)をお読みください。
- ・お使いのアナログ通信機器がナンバー・ディスプレイに対応していても、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- ・INSキャッチホン(☎ 113ページ)を契約すると、キャッチホンの相手の電話番号も表示されます。
- ・通話が終了してすぐに着信音が鳴った場合、発信者番号は表示されません。

電話番号を表示する

3

かけてきた相手の電話番号を表示する
(INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト)

設定

step 1 ナンバー・ディスプレイを設定する

アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイを使用するように設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す


3 設定するアナログポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 1 0 * を押す

5 設定する情報通知サービスの番号を押す

- 1 : ナンバー・ディスプレイ
- 4 : モデム・ダイヤルインとナンバー・ディスプレイ
(初期値は 0 : 使用しない)
モデム・ダイヤルイン(☎ 95ページ)を利用している場合は 4 を押します。


<テレホン設定>
発信用 i・ナンバー
No. 2

6 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す


設定を終了するとき、手順8に進んでください。

8 を押す


「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す


お知らせ

- ・ナンバー・ディスプレイを使用しない設定に戻すには、手順5で  を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[情報通知サービス]と[高度な設定]の[サブアドレス]で設定します。

step 2 必要なら情報通知サブアドレスを通知するように設定する

設定方法は、「サブアドレスで特定の電話機に着信させる」のStep 2( 107ページ)を参照してください。

お願い

相手からサブアドレスが通知された場合、Atermは電話番号とサブアドレスを/(スラッシュ)などで区切って、アナログ通信機器に通知します。アナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がない場合は、Atermの「発・着サブアドレスを通知しない」を設定してください( 107ページ)。

キャッチホンで受ける電話の番号も表示する (キャッチホン・ディスプレイ)

通話中に別の相手から電話がかかってきたときにも、相手の電話番号をAtermや電話機のディスプレイに表示します。

ポイント

キャッチホン・ディスプレイは、ナンバー・ディスプレイをキャッチホンのときにも表示できるように機能を拡張したものです。INSナンバー・ディスプレイを利用する場合の条件に加えて、電話機やファクス付き電話機がキャッチホン・ディスプレイに対応していなければなりません。さらに、INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンの設定が必要です。

利用条件

	INSナンバー・ディスプレイを利用する場合	疑似キャッチホンを利用する場合
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ INSキャッチホン	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	両方のサービスの付加サービス使用料	付加サービス使用料
利用条件	キャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	

設定

step 1 ナンバー・ディスプレイを設定する

ナンバー・ディスプレイを使用する設定をします(☎ 124ページ)。

step 2 キャッチホンを設定する

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンを使用する設定をします(☎ 114ページ)。

step 3 キャッチホン・ディスプレイを設定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

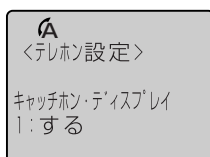
1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

4 * 1 8 * を押す

5 1 を押す

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

電話番号を表示する

step 4 必要なら情報通知サブアドレスを通知するように設定する

設定方法は、「サブアドレスで特定の電話機に着信させる」のStep 2(☎ 107ページ)を参照してください。

お知らせ

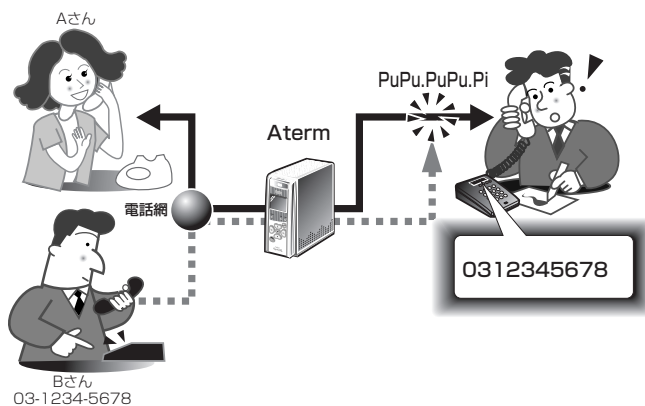
- ・キャッチホン・ディスプレイを使用しない設定に戻すには、Step3の手順5で 0 を押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]→[情報通知サービス]内の[キャッチホン・ディスプレイを使用する]をチェックします。

3

キャッチホンで受ける電話の番号も表示する
(キャッチホン・ディスプレイ)

操作 キャッチホンを受ける

通話中に別の電話がかかってくると、新しい相手の電話番号が、Atermや電話機のディスプレイに表示されます。受ける操作は、通常のキャッチホンと同じです。



1 Aさんとの通話中に「プブ、プブ...、ピッ」という音が聞こえる

Atermや電話機のディスプレイに新しくかけてきた相手であるBさんの電話番号が表示されます。

2 フッキングする(☎74ページ)

Bさんの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音の流れます。

3 もう一度フッキングする

Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音の流れます。以降、フッキングするたびに相手が交互に切り替わります。

電話番号を表示する

3

キャッチホンで受ける電話の番号も表示する
(キャッチホン・ディスプレイ)

お願い

- ・お使いのアナログ通信機器がキャッチホン・ディスプレイに対応していても、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- ・相手からサブアドレスが通知された場合、Atermは電話番号とサブアドレスを/(スラッシュ)などで区切って、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に通知します。
ただし、アナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がない場合は、Atermの「発・着サブアドレスを通知しない」を設定してください(☎ 107ページ)。
- ・キャッチホン・ディスプレイの割込音は、「プブ、プブ…」のあとに「ピッ」という音が聞こえます。「ピッ」が通話の声などに重なると、電話番号が正しく表示されないことがあります。また、1秒程度通話がとぎれます。
- ・お出かけ設定の「フラッシュモード」、または「停電時にブザーを鳴らす」を設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。
- ・内線通話中に外線から着信があったときは、キャッチホンの設定をしていなくても、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に電話番号を表示します。

お知らせ

相手から電話番号が通知されなかったときは、通知されない理由(非通知・公衆電話・表示圏外)が表示されます。

電話番号を表示する

3

キャッチホンで受ける電話の番号も表示する
(キャッチホン・ディスプレイ)

外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する (お出がけ設定)

外出時や就寝中など電話に出られないときは、お出がけ設定を使うと便利です。でかけるボタンを1秒以上押すだけで、電話を転送したり、電話のベル(着信音)を鳴らさないようにしたりできます。

ポイント

お出がけ設定には4種類のモードがあります。前もって、下記のいずれか1つのモードを選択し、転送条件などの設定作業を行います。

お出がけ設定を開始するときは、でかけるボタンを1秒以上押してください(☎134ページ)。

おやすみモード

電話がかかってきたとき、着信音を鳴らす代わりにAtermのディスプレイのピクトグラム **A B** とでかけるボタンを点滅させて知らせます。着信ポートがわかるので、電話に出ることができます。

電話着信転送モード

フレックスホンの着信転送やAtermの疑似着信転送でかかってきた電話を転送します。

また、BIGLOBEに加入し遊遊メールを契約している場合は、電話番号着信通知を使って相手の電話番号を電子メールで知らせることもできます。

フレックスホンの着信転送を使う場合はINSネット64の追加契約が、電子メールで通知する場合はBIGLOBEの遊遊メールの契約が必要です。また、転送方法や転送条件などの設定作業も必要です。以下のページもあわせてお読みください。

「かかってきた電話を転送する(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)」(☎135ページ)

なお、疑似着信転送を使用する場合はBチャンネルが2本とも空いている状態のときだけ、電話を転送することができます。

ボイスワープ転送モード

INSボイスワープを使って電話を転送します。INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトの契約や転送条件などの設定作業が必要です。以下のページも併せてお読みください。

「ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)」(☎148ページ)

フラッシュモード

電話のベル(着信音)を鳴らしたくないときは、フラッシュモードにします。着信時は、でかけるボタンが点滅します。どのポートに着信したかはわかりません。

👁️ お願い

おやすみモードの利用時は、次のことに注意してください。

- ・着信にコードレス子機で応答する場合は、子機の[通話]ボタンや[外線]ボタンを押してください。ボタンを押さないと、数十秒で電話が切れることがあります。
- ・ナンバー・ディスプレイを設定したアナログポートに着信があった場合でも、接続している電話機の種類によっては電話番号が表示されないものがあります。
- ・モデム・ダイヤルインを設定したアナログポートに着信があった場合、着信音を鳴らさないので着信している電話機がわからなくなることがあります。
- ・アナログ・ダイヤルインを設定しているアナログポートへは着信しません。

📌 各モードの違い

	おやすみモード	電話着信転送モード	ボイスワープ転送モード	フラッシュモード
追加契約	不要	「着信転送」利用時は必要 疑似着信転送利用時は不要	INSボイスワープ/ INSボイスワープ・セレクト	不要
追加料金	不要	「着信転送」利用時は付加サービス使用料が必要 疑似着信転送利用時は不要	付加サービス使用料	不要
着信時の動作	<ul style="list-style-type: none"> ・でかけるボタンを点滅させます。 また、着信したアナログポートのピクトグラム(A、B)を点滅させます。 ・一度着信すると、そのあとは、でかけるボタンが点滅したままになります。 	着信転送と疑似着信転送の場合は、設定された電話番号に転送されます。電話番号着信通知の場合は、相手の電話番号が電子メールで通知されます。	設定された電話番号に転送されます。	でかけるボタンを点滅させます。どのポートに着信したかはわかりません。電話が切断されると、点灯に変わります。
利用条件	—	「電話番号着信通知」を利用するには、BIGLOBEへの加入、遊遊メールの契約、INSネット64の発信者番号通知の契約が必要です。	—	—
その他	点滅したアナログポートに接続した電話機の受話器をあげると、通話できます。	—	—	—

step 1 着信転送またはボイスワープ転送の設定をする

電話着信転送モードまたはボイスワープ転送モードを使用する場合は、着信転送またはボイスワープの設定をします。

「かかってきた電話を転送する(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)」
(☎135ページ)




「ボイスワープで転送する(INS ボイスワープとINS ボイスワープ・セレクト)」
(☎148ページ)

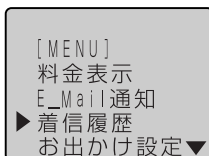
step 2 お出かけ設定のモードを選択する




Aterm前面の操作ボタンまたは電話機のボタンを使って、お出かけ設定の4種類のモードから、使用するモードを選択します。

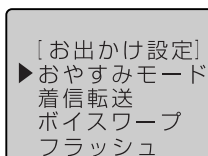
●操作ボタンを使って選択する

1  ボタンを押す

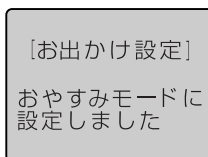
2  ボタンまたは  ボタンを押して、**[お出かけ設定]**に矢印を合わせ、
 ボタンを押す



3  ボタンまたは  ボタンを押して、使用するモードに矢印を合わせ、
 ボタンを押す



メッセージが表示され、使用するモードが選択されます。



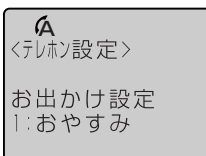
●電話機のボタンを使って選択する

1 受話器をあげる

2
*を押す

3 選択するモードのボタンを押す

- : おやすみモード(初期値)
- : 電話着信転送モード
- : ボイスワープ転送モード
- : フラッシュモード



4 を押す

5 受話器を戻す

📖 お知らせ

- ・操作を中止するときは、**CLR** ボタンを押します。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定] →[共通設定] タブ→[設定項目選択]の[着信設定] →[お出かけ設定]で設定します。

👁️ お願い

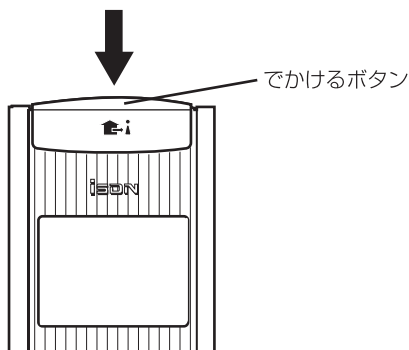
- ・電話着信転送モードを利用する場合、着信転送の種類や転送条件、転送元・転送先電話番号などは、あらかじめ登録しておいてください。
「かかってきた電話を転送する(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)」
(☎️135ページ)。
- ・ボイスワープ転送モードを利用する場合、転送開始モードや契約電話番号はあらかじめ登録しておいてください。
「ボイスワープで転送する(INS ボイスワープとINS ボイスワープ・セレクト)」
(☎️148ページ)。
- ・「番号を設定してください」と表示されたときは、**CLR** ボタンを押して操作を中止し、電話番号や設定条件などを登録してから再度操作してください(☎️135ページおよび148ページ)。

操作 お出かけ設定を開始／停止する

でかけるボタンを1秒以上押して、お出かけ設定を開始します。

1 **でかけるボタンを1秒以上押す**

「ピッ」と音がして、でかけるボタンがオレンジ色に点灯します。また、液晶ディスプレイにも、設定されているお出かけ設定のモードが表示されます。お出かけ設定が有効になります。



2 **お出かけ設定を解除するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す**

お知らせ

でかけるボタンを続けて操作するときは、1秒以上時間を空けてください。

操作 でかけるボタンをロックする／解除する

間違えてでかけるボタンを押してお出かけ設定を開始してしまわないように、でかけるボタンをロックすることができます。

1 **ボタンを6秒続けて押す**

2 **「でかけるボタンをロックしました」または「でかけるボタンをロック解除しました」と液晶ディスプレイに表示されたら手を離す**

でかけるボタンがロック(または解除)されます。

お知らせ

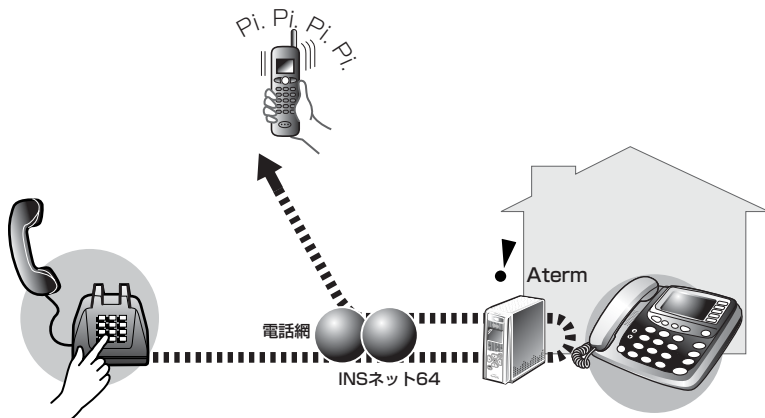
購入時は、でかけるボタンはロックされています。最初にロックを解除してください。

かかってきた電話を転送する

(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)

かかってきた電話をほかの電話番号に自動的に転送します。INSネット64の着信転送と疑似着信転送があります。電話への転送ではなく、かけてきた相手の電話番号をメールで知らせる電話番号着信通知も利用できます。

- 着信転送または疑似着信転送を利用される方は☎137ページ
- 電話番号着信通知を利用される方は☎141ページ



ポイント

着信転送には、INSネット64の着信転送と、Atermの機能の疑似着信転送があります。

電話番号着信通知は、電話を転送する代わりに、電子メールで相手の電話番号を知らせるもので、BIGLOBEの遊遊メールサービスを使います。アナログポートには、通常どおり着信するので、留守番電話に残されたメッセージ相手の確認や着信したファクスの送り主の確認などに便利です。

(※ 遊遊メールサービスは、サービスを終了いたしました)

着信転送か電話番号着信通知のいずれか1つを選択し、転送条件などの設定を行います。転送を開始するときは、でかけるボタンを1秒以上押すだけです。




☑ フレックスホン着信転送(INSネット64)／疑似着信転送(Aterm機能)／電話番号着信通知(遊遊メール)の違い

	INSネット64 フレックスホン 着信転送	Aterm 疑似着信転送	電話番号着信通知 (遊遊メール) ※ サービスを終了いたしました。
追加契約	フレックスホンの着信転送	不要	「BIGLOBE」への加入と「遊遊メール」の契約が必要 INSネット64のユーザ間情報通知サービスの契約が必要
追加料金	付加サービス使用料	不要	BIGLOBE接続料金など
サービスの違い	・ Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているアナログポートで通話や通信ができます。 ・ 着信時に転送トーカー*1、転送元トーカー*2の流しかたを指定できます。	・ B1・B2チャンネルを両方使うため、着信転送時は、ほかのアナログポートは使用できません。 ・ 転送トーカーや転送元トーカーが流れません。	かけてきた相手の電話番号を遊遊メール形式にして「BIGLOBE」のメールサーバへ自動的に送信します。電子メールで、かけてきた相手の電話番号を知ることができます。
利用条件	—	—	発信者番号通知を行う必要があります。
その他	—	INSネット64の申込内容が通常通知(通話ごと非通知)の場合は、転送先には契約者回線番号を通知します。	—

※1 転送トーカー：「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

※2 転送元トーカー：「電話が転送されますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

お知らせ

- ・ 電話の転送を開始するときは、でかけるボタンを使用します。
「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」( 130ページ)
- ・ 特定の相手からの電話のみを転送する場合は、識別着信転送を使います。
「特定の電話だけを転送する(識別着信転送)」( 173ページ)
- ・ 話中時や無応答時など条件付きで転送する場合は、INSボイスワープを使います。
「ボイスワープで転送する(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)」( 148ページ)

- ・ Atermまでの通話料金は発信者に、Atermから転送先の通話料金はAterm側にかかります。疑似着信転送を使う場合、かかった料金は電話Aポートに蓄積されます。
- ・ 着信転送／疑似着信転送はアナログポートに電話機を接続しなくても利用できます。
- ・ Atermに着信があっても着信音は鳴りません。

設定 着信転送または疑似着信転送を利用する場合

電話着信転送モードを選択し、転送の種類や転送条件を設定してから、転送元や転送先の電話番号を登録します。

step 1 使用する電話番号を登録する

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを使用している場合は、使用する電話番号を登録し、アナログポートを割り当てます。

「2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)」(☎85ページ)

「4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)」(☎89ページ)

step 2 お出かけ設定のモードを電話着信転送モードに設定する

お出かけ設定のモードの中から、電話着信転送モードを選択します。

「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」(☎130ページ)

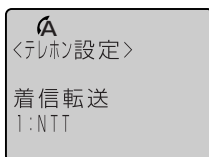
step 3 着信転送または疑似着信転送を選択する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 7
* を押す

3 着信転送または疑似着信転送の番号を押す

- 1 : 着信転送
- 2 : 疑似着信転送(初期値)

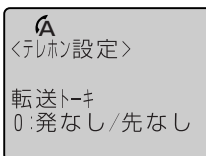


4 着信転送を指定した場合は # * を押す

疑似着信転送を指定した場合は、手順6に進んでください。

5 転送トキおよび転送元トキの使用パターンの番号を押す

- 0 : 転送トキなし・転送元トキなし
- 1 : 転送トキあり・転送元トキなし
- 2 : 転送トキなし・転送元トキあり
- 3 : 転送トキあり・転送元トキあり(初期値)



6 # # を押す

7 受話器を戻す

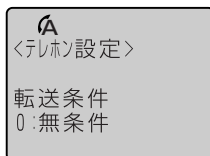
step 4 無条件転送を指定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 8 * を押す

3 0 (初期値)を押す

無条件転送に設定されます。



4 # # を押す

5 受話器を戻す

電話を転送する

step 5 転送先の電話番号を登録する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 4 * 3 を押す

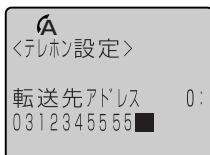
4 転送先の番号を押す

0 : 転送先0

1 : 転送先1

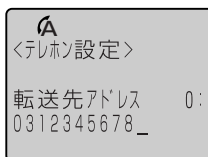
2 : 転送先2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 転送先の電話番号を入力する



7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別の電話番号を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

3
かかってきた電話を転送する(着信転送)／疑似着信転送／電話番号着信通知

step 6 転送元の電話番号を登録する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 4 * 4 を押す

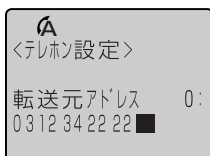
4 転送元の番号を押す

0 : 転送元0

1 : 転送元1

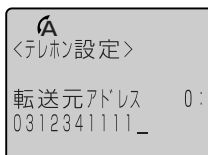
2 : 転送元2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 転送元の電話番号を入力する



i・ナンバーを使用している場合は、以下の番号を押します。

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

3 : i・ナンバー情報3

7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別の電話番号を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

step 7 必要なら転送元サブアドレスを登録する

転送元電話番号でサブアドレスを使用する場合は、各転送元番号にサブアドレスを登録します。

1 受話器をあげる

2 を押す

3 を押す

4 サブアドレスを登録する転送元の番号を押す

: 転送元サブアドレス0

: 転送元サブアドレス1

: 転送元サブアドレス2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

A
<テレホン設定>
転送元サブ 0:
111■

5 を押す

6 サブアドレスの番号を入力する

A
<テレホン設定>
転送元サブ 0:
100_

7 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のサブアドレスを登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

9 を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

電話を転送する

3

かかってきた電話を転送する(着信転送)／疑似着信転送／電話番号着信通知

設定

電話番号着信通知を利用する場合

遊遊メールの電話番号着信通知を利用するときは、電話着信転送モードを選択し、電話番号着信通知を選択してから転送条件を指定し、最後に転送元電話番号と転送先のメールアドレスを登録します。

(※ 遊遊メールサービスは、サービスを終了いたしました)

step 1 使用する電話番号を登録する

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを使用している場合は、使用する電話番号を登録し、アナログポートを割り当てます。

「2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)」(☎85ページ)

「4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)」(☎89ページ)

step 2 お出かけ設定のモードを電話着信転送モードに設定する

お出かけ設定のモードの中から、電話着信転送モードを選択します。

「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」(☎130ページ)

step 3 電話番号着信通知を選択する

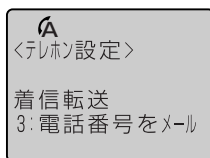
1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 7
* を押す

3 3 を押す

(初期値は 1 : 着信転送)

電話番号着信通知が選択されます。



4 # # を押す

5 受話器を戻す

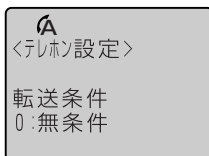
step 4 無条件転送を指定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 8 * を押す

3 0 (初期値)を押す

無条件転送に設定されます。



4 # # を押す

5 受話器を戻す

電話を転送する

step 5 転送先のメールアドレスを登録する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 4 * 3 を押す

4 転送先の番号を押す

5 : 転送先メールアドレス0

6 : 転送先メールアドレス1

7 : 転送先メールアドレス2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されているメールアドレスが消去されます。登録されているメールアドレスを消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 転送先のメールアドレスを入力する

メールアドレスは、文字コード一覧表(☞P229ページ)を参照して入力してください。



7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のメールアドレスを登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

3 かかってきた電話を転送する(着信転送/疑似着信転送/電話番号着信通知)

step 6 転送元の電話番号を登録する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 4 * 4 を押す

4 転送元の番号を押す

0 : 転送元0

1 : 転送元1

2 : 転送元2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

Ⓐ
<テレホン設定>
転送元アドレス 0:
0312342222 ■

5 * を押す

6 転送元の電話番号を入力する

Ⓐ
<テレホン設定>
転送元アドレス 0:
0312341111 _

i・ナンバーを使用している場合は、以下の番号を押します。

1 : i・ナンバー情報1

2 : i・ナンバー情報2

3 : i・ナンバー情報3

7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別の電話番号を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときには、手順9に進んでください。

9 # を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

step 7 必要なら転送元サブアドレスを登録する

転送元電話番号でサブアドレスを使用する場合は、各転送元番号にサブアドレスを登録します。

1 受話器をあげる

2 を押す

3 を押す

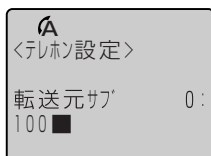
4 サブアドレスを登録する転送元の番号を押す

: 転送元サブアドレス0

: 転送元サブアドレス1

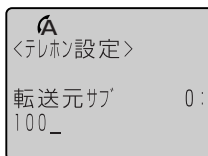
: 転送元サブアドレス2

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 を押す

6 サブアドレスの番号を入力する



7 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

8 続けて別のサブアドレスを登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順9に進んでください。

9 を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

お知らせ

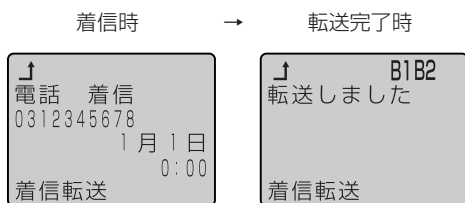
らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[共通設定]タブ→[設定項目選択]の[着信設定]→[お出かけ設定]内の[着信転送設定]ボタン、[転送/通知モード]、[転送条件]、[転送設定]、[トーカーサービス]で設定します。

操作 着信転送を開始／停止する

でかけるボタンを1秒以上押して転送を開始します。液晶ディスプレイに「着信転送」と表示されることを確認してください。「おやすみ」などお出かけ設定の別のモードが表示されたときは、「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」のStep3(☎132ページ)を参照して、電話着信転送モードに設定し直してください。

1 でかけるボタンを1秒以上押す


「ピッ」と音がして、でかけるボタンがオレンジ色に点灯します。以降の着信が転送されます。着信すると、ディスプレイに以下のように表示されます。



2 転送を停止するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す

でかけるボタンが消灯します。

お知らせ

- ・でかけるボタンを続けて操作するときは、1秒以上時間を空けてください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。 ボタンを6秒以上押して、ロックを解除してください(☎134ページ)。

電話中に別の電話番号へ転送する

(通信中転送)

通話中にもう一人を呼び出して、現在の通話をそちらに転送します。

ポイント

☑ 利用条件

	INSネット64 フレックスホン 通信中転送
追加契約	フレックスホンの通信中転送
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	—
その他	Bチャンネル1本のみを使用するので、転送中でも、もう1本のチャンネルを別の電話や通信で使用できます。

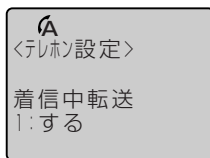
設定

通信中転送を使用する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 6
* を押す

3 1 を押す

(初期値は 0 : 使用しない)
通信中転送が設定されます。

4 # # を押す

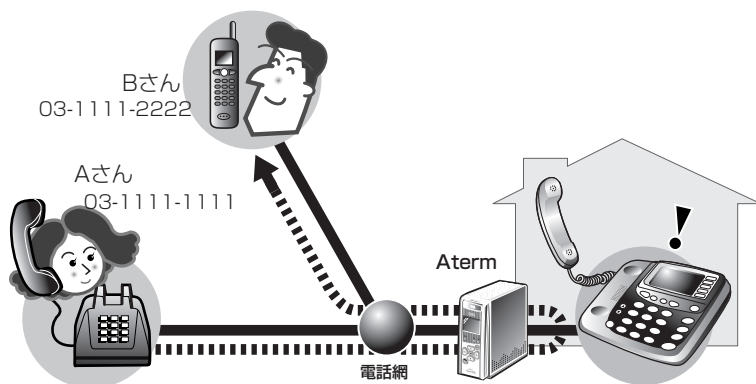
5 受話器を戻す

お知らせ

- ・ 通信中転送を使用しない設定に戻すには、手順3で 0 を押します。
- ・ らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[共通設定]タブ→[設定項目選択]の[その他の設定]→[通信中転送]で設定します。
- ・ 通話中転送ができるのは、着信した電話を第三者に転送する場合です。

操作 通話中に転送する

通話中にフッキングしたあと、新しい相手呼び出します。



1 Aさんとの通話中にBさんを呼び出す

- 1) フッキングする(☎74ページ)
Aさんには保留音が聞こえます。
- 2) 「ブブブ」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする

2 Bさんと会話する(省略可)

3 転送する

- 1) フッキングする
- 2) 「ブブブ」という音が聞こえたら、受話器を戻す
AさんとBさんが通話できます。

👁️ お願い

- ・フッキングした後、すぐに次の操作をしないと、外線との通話に戻ります。「ブブブ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。

📝 お知らせ

- ・転送先が応答する前に転送(応答前通信転送)することもできます。転送先の電話番号をダイヤルしたあと、相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器を戻してください。ただし、転送先がアナログ回線でナンバー・ディスプレイを契約している場合は、応答前通信転送は利用できません。
- ・うまく転送できないときは、ダイヤル桁間タイマを長くして試してみてください(☎75ページ)。

ボイスワープで転送する

(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)

通話中や応答できなかった場合など条件に応じた着信転送を行うには、INSボイスワープやINSボイスワープ・セレクトを使います。INSボイスワープ・セレクトは、登録済みの相手だけを転送の対象にするものです。

ポイント

INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトは、ネットワーク転送型の転送サービスです。以下の4つの転送条件から1つを選択することができます。

- ・かかってきた電話を無条件で転送する(無条件転送)
- ・無応答のまま設定した時間を超えた場合に転送する(無応答時転送)
- ・通話中でふさがっているときのみ転送する(話中時転送)
- ・無応答または話中時に転送する(無応答時または話中時転送)

☑ INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクトの違い

INSボイスワープは、契約者回線番号や追加番号ごとに契約できます。

INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトの詳細については、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加契約	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	相手を問わず、転送します。	あらかじめ登録された相手からの着信のみ転送することなどができます。
利用条件	・Atermは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。 ・INSネット64に転送先の電話番号などを登録する必要があります。 登録方法などサービスの詳細は、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	

👉 お知らせ

- ・INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトの詳細については、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

設定

step 1 使用する電話番号を登録する

i・ナンバーまたはダイヤルインサービスを使用している場合は、使用する電話番号を登録し、アナログポートを割り当てます。

「2つまたは3つの電話番号を使う(i・ナンバー)」(☎85ページ)

「4つ以上の電話番号を使う(ダイヤルインサービス)」(☎89ページ)

step 2 転送先電話番号を登録する

転送先電話番号の登録は電話機から行います。設定方法については、NTT東日本またはNTT西日本から配布される『INSボイスワープの操作方法』も合わせてお読みください。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

step 3 お出かけ設定のモードをボイスワープ転送モードに設定する

お出かけ設定のモードの中から、ボイスワープ転送モードを選択します。

「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」(☎130ページ)

電話を転送する

3

ボイスワープで転送する
(INSボイスワープとJNSボイスワープ・セレクト)

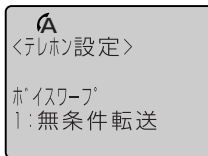
step 4 転送条件を設定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 4
* を押す

3 転送条件の番号を押す

- 1 : 無条件転送(初期値)
- 2 : 無応答時転送
- 3 : 話中時転送
- 4 : 無応答時または話中時転送



4 # # を押す

5 受話器を戻す

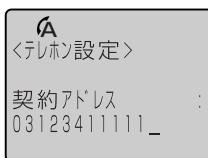
電話を転送する

step 5 ボイスワープを契約した電話番号を設定する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 5 * 9 1
9 * を押す

3 ボイスワープを契約した電話番号を入力する



4 # # を押す

5 受話器を戻す

3 ボイスワープで転送する
(MSボイスワープとMSボイスワープ・セレクト)

step 6 必要なら、起動電話番号・停止用電話番号を設定する

👁️ お願い

起動電話番号、停止電話番号とはボイスワープサービス開始／停止用の電話番号です。INSボイスワープサービスの番号が変更されたときだけ、この番号を変更します。通常は変更しないでください。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 5 * 9 1 を押す

Ⓐ
<テレホン設定>
ボイスワープ
番号設定

4 設定する電話番号の番号を押す

各番号を押すと、すでに登録されている番号が表示されます。そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順7に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

0 : 停止用電話番号

Ⓐ
<テレホン設定>
サービス停止 :
1420 ■

1 : 無条件転送の起動電話番号

Ⓐ
<テレホン設定>
無条件転送 :
14211 ■

2 : 無応答時転送の起動電話番号

Ⓐ
<テレホン設定>
無応答時転送 :
14212 ■

3 : 話中時転送の起動電話番号

Ⓐ
<テレホン設定>
話中時転送 :
14213 ■

4 : 無応答時または話中時転送の起動電話番号

Ⓐ
<テレホン設定>
無応答+話中 :
14214 ■

5 * を押す

6 設定する停止用電話番号または起動電話番号を入力する

7 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

電話を転送する

3

ボイスワープで転送する
(INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト)

8 続けて別の電話番号を変更するとき は、手順3から繰り返す

設定を終了するとき、手順9に進んでください。

9 を押す

「設定しました」と表示されます。

10 受話器を戻す

お願い

でかけるボタンで転送できる電話番号は1つです。複数の電話番号を転送したい場合は、『INSボイスワープの操作方法』(NTT東日本・NTT西日本から配布)を参照して、残りの電話番号の転送操作を電話機から行ってください。

お知らせ

らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[共通設定]タブ→[設定項目選択]の[着信設定]→[お出かけ設定]内の[INSボイスワープ転送モード]にチェック→[INSボイスワープ転送]ボタン→[契約電話番号]、[転送開始モード]で設定します。

操作 **ボイスワープ転送を開始/停止する**

でかけるボタンを1秒以上押し続けて転送を開始します。

1 でかけるボタンを1秒以上押す

「ピッ」と音がしてでかけるボタンがオレンジ色に点灯し、液晶ディスプレイに「ボイスワープ」と表示され、ボイスワープが開始されます。




Atermがボイスワープセンタに自動的に電話をかけて、転送サービスを開始します。

2 転送を停止するとき、もう一度1秒以上でかけるボタンを押す

でかけるボタンが消灯します。

Atermがボイスワープセンタに自動的に電話をかけて、転送サービスを停止します。

お知らせ

- ・でかけるボタンを続けて操作するときは、1秒以上時間を空けてください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。 ボタンを6秒以上押し続けて、ロックを解除してください( 134ページ)。
- ・でかけるボタンを押したときに、液晶ディスプレイに「おやすみ」などお出かけ設定の別のモードが表示されたときは、「外出時や就寝中など電話に出られないときに利用する(お出かけ設定)」のStep2( 132ページ)を参照して、ボイスワープ転送モードに設定し直してください。

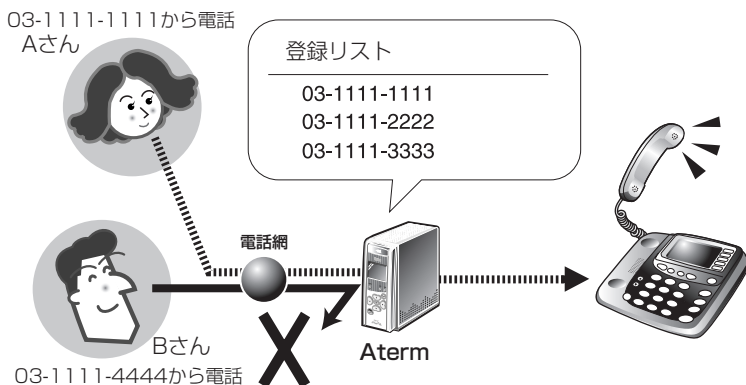
特定の相手を対象にする

電話を受ける相手を限定する

(INSなりわけ識別着信／疑似識別着信)

特定の相手からの電話だけを着信させ、ほかの電話は一切受け付けないようにします。

INSなりわけ識別着信(INSなりわけサービスのセキュリティ機能)と、Atermの疑似識別着信があります。



ポイント

相手の電話番号をあらかじめ登録しておきます。電話がかかってきたら、相手の電話番号を確認し、登録された電話番号と一致した場合のみ着信させます。

疑似識別着信の場合は、ナンバー・ディスプレイを使って相手の電話番号を確認するので、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。相手の電話番号は、Atermに登録します。一方、INSなりわけ識別着信の場合は、相手の電話番号をINSネット64に登録します。登録した相手からの電話の場合、「識別着信情報」がAtermに通知されます。この情報を使って、識別着信を行います。

特定の相手を対象にする

3

電話を受ける相手を限定する(INSなりわけ識別着信／疑似識別着信)

☑ INSなりわけ識別着信(INSネット64)と疑似識別着信(Aterm機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス セキュリティ機能 (INSなりわけ識別着信)	Aterm 疑似識別着信
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	—	—
利用条件	Atermは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信は識別できません。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

特定の相手を対象にする

👁️ お願い

識別着信と選択キャッチホンを同時に利用することはできません。

📌 お知らせ

- ・INSなりわけでは、セキュリティ機能のほかに、以下の機能を利用できます。
識別リング機能(☎️158ページ)
選択キャッチホン機能(☎️163ページ)
- ・識別着信番号として登録した番号は、電話Aポートと電話Bポートで共用です。
- ・登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の短い方と一致したときに着信を受け付けます。

電話を受ける相手限定する(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)

step 1 識別着信の方法を設定する

INSなりわけサービスの識別着信(INSネット64)と疑似識別着信の、どちらを利用するかを設定します。アナログポートごとに設定できるので、ファクスには識別着信を利用しないといった設定もできます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

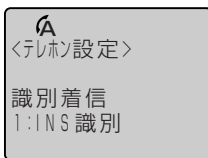
4 * 0 3 * を押す

5 設定する識別着信の番号を押す

1 : INSなりわけ識別着信

2 : 疑似識別着信

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

お知らせ

識別着信を使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。

step 2 INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

step 2 疑似識別着信用の電話番号を登録する場合

疑似識別着信の場合、着信を許可する電話番号を疑似識別着信用の電話帳に登録します。30件まで登録できます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 5 * 3 を押す

4 登録番号を押す

0 0 ~ 2 9 : 登録番号

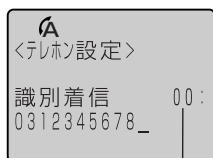
すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順9に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 登録する電話番号を入力する

市外局番から入力してください。



登録番号

7 # を押す

8 サブアドレスを設定するときは、* を押し、サブアドレスの番号を入力する

サブアドレスを設定しない場合は、手順9に進んでください。

サブアドレスは、19ケタまで入力できます。



9 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

10 続けて別の電話番号を登録するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順11に進んでください。

11 # を押す

「設定しました」と表示されます。

12 受話器を戻す

👁️ お願い

- 相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合は、電話帳に登録してあってもその相手を着信させることはできません。
- 疑似識別着信を使用する設定を選んだ場合、疑似識別着信用の電話帳に電話番号を1件も登録しないと、どこからの着信も受け付けなくなります。

特定の相手を対象にする

3

電話を受ける相手限定する(ONS)なりわけ識別着信/疑似識別着信

お知らせ

- ・ 疑似識別着信用の電話番号は疑似選択キャッチホンと共用です。
- ・ 疑似識別着信で登録済みの電話番号を変更したい場合は、変更する登録番号をStep 2の手順4で選択し、**[*]**を押して新しい電話番号を入力してください。
- ・ 疑似識別着信で登録済みの電話番号を削除したい場合は、削除する登録番号をStep 2の手順4で選択したあと、**[*]** **[#]** **[#]**を押して受話器を戻してください。
- ・ らくらくアシスタントで選択するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[識別着信]で設定します。
- ・ 疑似識別着信用の電話番号は、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]/[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[識別着信]内の[電話帳]ボタン→名前と電話番号(およびサブアドレス)を入力→[更新]で設定します。

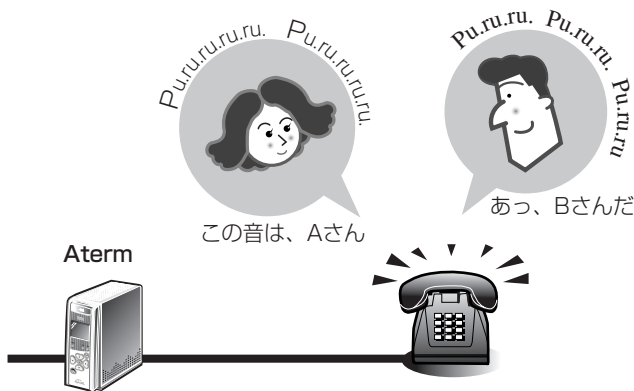
特定の相手を対象にする

特定の相手からの着信音を変える

(INSなりわけ識別リングング／疑似なりわけ)

特定の相手からの電話を、通常とは異なる着信音でお知らせします。着信音で相手がわかります。

INSなりわけサービスの識別リングング機能と疑似なりわけがあります。



Aさんからの電話 “ブルルルル、ブルルルル” 普通の着信音
Bさんからの電話 “ブルル、ブルル、ブルル” Bさんからの電話がすぐにわかる

ポイント

なりわけする相手の電話番号をあらかじめ登録しておくこと、その相手からの電話の場合に通常とは異なる着信音を鳴らします。

疑似なりわけの場合は、ナンバー・ディスプレイを使って相手の電話番号を確認するので、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。相手の電話番号は、Atermに登録します。一方、INSなりわけの識別リングング機能の場合は、相手の電話番号を交換機に登録します。登録した相手からの電話の場合、「識別着信情報」がAtermに通知されます。この情報を使って、なりわけを行います。

特定の相手を対象にする

3

特定の相手からの着信音を変える
(INSなりわけ識別リングング／疑似なりわけ)

☑ INSなりわけ識別リングング(INSネット64)と疑似なりわけ(Aterm機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス 識別リングング機能	Aterm 疑似なりわけ
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	—	—
利用条件	Atermは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信をなりわけすることはできません。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

特定の相手を対象にする

👁️ お願い

電話機側で着信音をメロディに設定している場合は、なりわけできません。なりわけをご利用になる場合は、通常の着信音にしてください。

📖 お知らせ

- ・INSなりわけでは、識別リングング機能のほかに、以下の機能を利用できます。
セキュリティ機能(☎️153ページ)
選択キャッチホン機能(☎️163ページ)
- ・識別着信番号として登録した番号は、電話Aポートと電話Bポートで共用です。
- ・登録した番号と通知された番号は桁数の末尾から照合され、桁数の短い方と一致したときに着信を受け付けます。

3

特定の相手からの着信音を変える
(INSなりわけ識別リングング/疑似なりわけ)

設定

step 1 なりわけの方法を設定する

INSなりわけの識別リングング(INSネット64)と疑似なりわけの、どちらを利用するかを設定します。アナログポートごとに設定できるので、ファクスにはなりわけを利用しないといった設定もできます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 設定するアナログポートの番号を押す

1 : 電話Aポート

2 : 電話Bポート

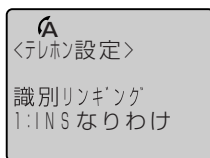
4 * 1 5 * を押す

5 設定するなりわけ方法の番号を押す

1 : INSなりわけ

2 : 疑似なりわけ

(初期値は 0 : 使用しない)



6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す

特定の相手を対象にする

3

特定の相手からの着信音を変える
(INSなりわけ識別リングング/疑似なりわけ)

お知らせ

なりわけを使用しない設定に戻すには、手順5で 0 を押します。

step 2 INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

step 2 疑似なりわけ用の電話番号を登録する場合

疑似なりわけの場合、特別の着信音で鳴らす電話番号を疑似なりわけ用の電話帳に登録します。30件まで登録できます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 5 * 2 を押す

4 登録番号を押す

0 0 ~ 2 9 : 登録番号

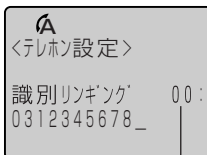
すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順9に進むか、受話器を戻して設定を中止します。



5 * を押す

6 登録する電話番号を入力する

市外局番から入力してください。



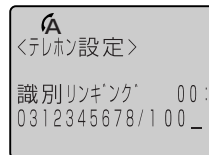
登録番号

7 # を押す

8 サブアドレスを設定するときは、* を押し、サブアドレスの番号を入力する

サブアドレスを設定しない場合は、手順9に進んでください。

サブアドレスは、19ケタまで入力できます。



9 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

10 続けて別の電話番号を登録するとき、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順11に進んでください。

11 # を押す

「設定しました」と表示されます。

12 受話器を戻す

特定の相手を対象にする

3

特定の相手からの着信音を変える
(MSなりわけ識別リンク/疑似なりわけ)

🎧 お願い

相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合は、電話帳に登録してあってもその相手をなりわけすることはできません。

お知らせ

- ・疑似なりわけで登録済みの電話番号を変更したい場合は、変更する登録番号をStep2の手順4で選択し、**[*]**を押して新しい電話番号を入力してください。
- ・疑似なりわけで登録済みの電話番号を削除したい場合は、削除する登録番号をStep2の手順4で選択したあと、**[*]** **[#]** **[#]**を押して受話器を戻してください。
- ・らくらくアシスタントで選択するには、メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]／[電話Bポート]タブ→[設定項目選択]の[高度な設定]→[識別リング]で設定します。
- ・疑似なりわけ用の電話番号は、メニュー画面→[電話帳機能の設定]→[疑似なりわけ]タブ→空いている番号を選択→名前と電話番号(およびサブアドレス)を入力→[更新]で設定します。

特定の相手を対象にする

3

特定の相手からの着信音を変える
(疑似なりわけ識別リング／疑似なりわけ)

特定の相手を対象にする

キャッチホンを受け付ける相手を限定する

(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)

特定の相手から電話がかかってきた場合は、通話中でも割込音を鳴らしてお知らせします。ほかの相手からのキャッチホンは受け付けません。INSなりわけサービスの選択キャッチホン機能と、Atermの疑似選択キャッチホンがあります。

ポイント

相手の電話番号をあらかじめ登録しておきます。電話がくると、相手の電話番号を確認し、登録された電話番号と一致した場合のみ通話中でも着信させます。

- INSなりわけ選択キャッチホン(INSネット64)と疑似選択キャッチホン(Aterm機能)の違い

	INSネット64 INSなりわけサービス 選択キャッチホン機能	Aterm 疑似選択キャッチホン
追加契約	INSなりわけサービス INSキャッチホン	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信ができます。	B1・B2チャンネルを両方使うため、キャッチホンが入ったときは、ほかのポートは使用できません。
利用条件	Atermは「スティミュラスプロトコル(キーパッドプロトコル)手順」をサポートしています。	・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの選択キャッチホンは受け付けられません。 ・ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	INSネット64に相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録できます。

お願い

選択キャッチホンと識別着信を同時に利用することはできません。

特定の相手を対象にする

3

キャッチホンを受け付ける相手を限定する
(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)

お知らせ

INSなりわけでは、選択キャッチホン機能のほかに、以下の機能を利用できます。
識別リング機能(☎158ページ)
セキュリティ機能(☎153ページ)

設定

step 1 キャッチホンの方法を設定する

INSなりわけ選択キャッチホンを利用するときは「INSキャッチホン」を、疑似選択キャッチホンを利用するときは「疑似キャッチホン」を設定します(☎113ページ)。

step 2 選択キャッチホンの方法を設定する

INSなりわけ選択キャッチホン機能を利用するか、Atermの疑似選択キャッチホンを利用するかを設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

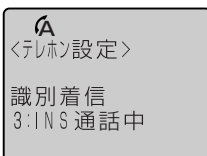
3 設定するポートの番号を押す

- 1 : 電話Aポート
- 2 : 電話Bポート

4 * 0 3 * を押す

5 設定する選択キャッチホンの番号を押す

- 3 : INSなりわけ選択キャッチホン
- 4 : 疑似選択キャッチホン
(初期値は 0 : 使用しない)



(INSなりわけ選択キャッチホンを選択した場合の画面)

6 # を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

7 続けて別のアナログポートを設定するときは、手順3から繰り返す

設定を終了するときは、手順8に進んでください。

8 # を押す

「設定しました」と表示されます。

9 受話器を戻す


特定の相手を対象にする


3

キャッチホンを受け付ける相手限定する
(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)



お知らせ

・らくらくアシスタントで設定するには、以下のような順序で各項目を設定します。

step 1 キャッチホンの方法を設定する(114ページ)

step 2 識別着信の方法を設定する(155ページ)

INSなりわけ選択キャッチホンを利用するときは「INSなりわけ識別着信」を、疑似選択キャッチホンを利用するときは「疑似識別着信」を設定します。


step 3 INSなりわけ用(本ページ)または疑似選択キャッチホン用の電話番号を登録する(156ページ)

step 3 INSなりわけ用の電話番号を登録する場合

INSなりわけ用の電話番号の登録は、電話機から行います。詳細はNTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。

step 4 疑似選択キャッチホン用の電話番号を登録する場合

疑似選択キャッチホンの場合は、着信を許可する電話番号を、疑似識別着信用の電話帳に登録します。30件まで登録できます。

登録方法は、疑似識別着信用の電話番号を登録する場合(156ページ)をお読みください。疑似選択キャッチホン用の電話番号は、疑似識別着信と共用です。

特定の相手を対象にする

3

キャッチホンを受け付ける相手を限定する
(選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン)

特定の相手を対象にする

迷惑電話をシャットアウトする

(迷惑電話おことわりサービス/迷惑電話防止)

迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします。登録しておけば、相手から電話がかかってくる場合でも、着信音が鳴りません。

INSネット64の迷惑電話おことわりサービスと、Atermの迷惑電話防止があります。

ポイント

☑ 迷惑電話おことわりサービス(INSネット64)と迷惑電話防止(Aterm機能)の違い

	INSネット64 迷惑電話おことわりサービス	Aterm 迷惑電話防止
追加契約	迷惑電話おことわりサービス6/ 迷惑電話おことわりサービス30	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	<ul style="list-style-type: none">迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録します。相手にはメッセージが流れます。登録できる最大件数は、迷惑電話おことわりサービス6の場合は6件、迷惑電話おことわりサービス30の場合は30件です。	<ul style="list-style-type: none">迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録する方法とあとから登録する方法があります。相手には話中音が聞こえます。登録できる最大件数は20件です。
利用条件	—	<ul style="list-style-type: none">INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信を拒否することはできません。相手が発信者番号通知をしていない場合、電話番号を登録していても迷惑電話防止機能は働きません。ただし、発信者番号を通知しない着信すべてを拒否することはできます。公衆電話や表示圏外からの電話を拒否することもできます。
その他	迷惑電話があったらすぐにINSネット64に登録する必要があります。登録方法などについては、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。	—

特定の相手を対象にする

3

迷惑電話をシャットアウトする
(迷惑電話おことわりサービス/迷惑電話防止)



迷惑電話おことわりサービスの場合

迷惑電話おことわりサービスの場合は、相手から電話があったらすぐに電話機から登録操作を行います。登録方法は、NTT東日本・NTT西日本の窓口にお問い合わせください。



迷惑電話防止の場合(すぐに登録する)

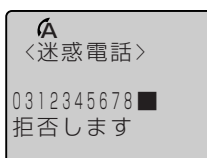
相手から電話があったらすぐ登録する方法です。

1 受話器をあげる

2 * * 5 2 を順に押す



3 1 を押す



4 # を押す

5 受話器を戻す

お願い

相手が電話番号を通知してこなかった場合は、手順2で「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」が表示され、手順3で「拒否しますか?」というメッセージが表示されます。[#]を押すと迷惑電話に登録できますが、以降はそれぞれの種類の電話をすべて受け付けなくなります。ご注意ください。

お知らせ

着信した電話機からのみ登録できます。

特定の相手を対象にする

3

迷惑電話をシャットアウトする
(迷惑電話おことわりサービス/迷惑電話防止)

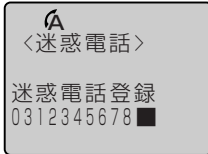


迷惑電話防止の場合(あとで電話番号を登録) 一

相手の電話番号がわかる場合は、あとで登録することもできます。

1 受話器をあげる

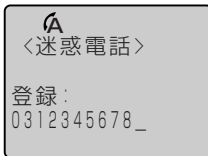
2 * * 5 2 を順に押す



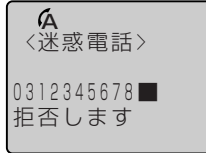
3 2 を押す

4 相手の電話番号を入力する

市外局番から入力してください。



5 # を押す



6 # を押す

7 続けて次の電話番号を登録するときは

* を押す

電話番号を入力できるようになるので、手順4に戻ってください。

8 # を押す

9 受話器を戻す

特定の相手を対象にする

3

迷惑電話をシャットアウトする
(迷惑電話おとりサービス) / 迷惑電話防止

お願い

迷惑電話防止で電話番号を登録していても、相手が自分の電話番号を通知してこない場合は、迷惑電話防止機能は動きません。ご注意ください。

お知らせ

・自分の電話番号を通知してこない電話の着信を拒否するときは、手順4で電話番号を入力する代わりに、以下の番号を押してください。

* 0 1 : 非通知(自分の電話番号を通知しない着信)

* 0 2 : 公衆電話(公衆電話からの着信)

* 0 3 : 表示圏外(電話番号を通知できない地域や機種からの着信)

・登録済みの電話番号を削除したい場合は、受話器をあげ、* * 5 3 を押します。8 (次を表示)または2 (前を表示)を押して削除する電話番号を表示し、* * を押して受話器を戻します。

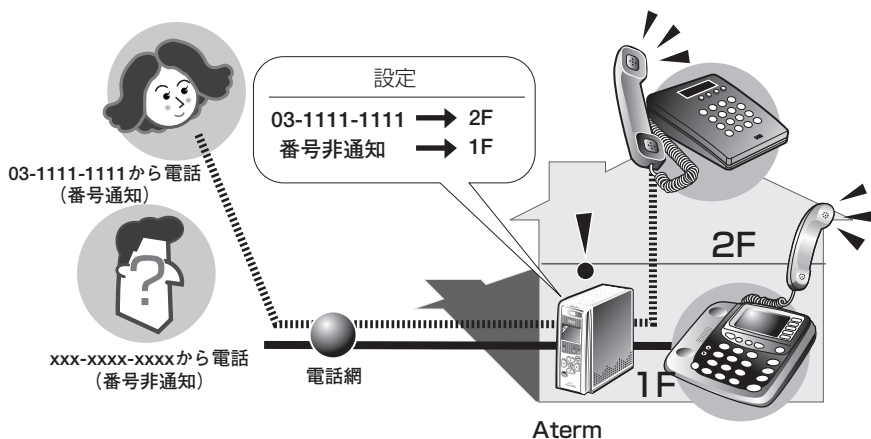
・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[電話帳機能の設定]→[迷惑電話防止]タブ→空いている番号を選択→名前と電話番号を入力→[更新]で設定します。

特定の相手を対象にする

相手によって着信させる電話機を指定する

(マイプライベート着信)

職場からの電話は仕事部屋へ、子供の友達からの電話は子供部屋へと、かけてくる相手に応じて着信させる電話機を指定することができます。



ポイント

相手の電話番号と着信させるアナログポートをあらかじめAtermに登録しておきます。電話がくると、相手の電話番号を確認し、登録されたアナログポートに着信させます。

利用条件

	マイプライベート着信
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合は、アナログ回線からの着信を識別することはできません。 ・識別着信を使用している場合は、登録していない電話や電話番号を通知してこない電話は着信させません。

特定の相手を対象にする

3

相手によって着信させる電話機を指定する(マイプライベート着信)

設定

step 1 マイプライベート着信を設定する

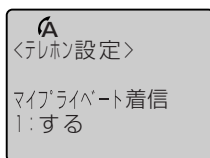
マイプライベート着信を使用するように設定します。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 2
* を押す

3 1 を押す

(初期値は： 0 使用しない)



4 # # を押す

5 受話器を戻す

特定の相手を対象にする

3

お知らせ

- ・ マイプライベート着信を使用しない設定に戻すには、手順3で 0 を押します。
- ・ らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[電話帳機能の設定]→[マイプライベート着信]タブ→[マイプライベート着信する]にチェックします。

相手によって着信させる電話機を指定する(マイプライベート着信)

step 2 マイプライベート着信用の電話番号を登録する

マイプライベート着信させる電話番号と着信ポートを登録します。30件まで登録できます。

1 受話器をあげる

2 * * 1 * を押す

3 5 * 1 を押す

4 登録番号を押す

~ : 登録番号

すでに登録した番号がある場合は、そのまま手順5に進むと登録されている電話番号が消去されます。登録されている電話番号を消去したくない場合は、手順11に進むか、受話器を戻して設定を中止します。

マイプライベート 00:
0312343333 ■

5 * を押す

6 電話番号を入力する

市外局番から入力してください。

マイプライベート 00:
0312345678 _

登録番号

7 # を押す

8 サブアドレスを設定するときは、* を押し、サブアドレスの番号を入力する

サブアドレスは、19ケタまで入力できます。

マイプライベート 00:
0312345678/100_

サブアドレスを登録しない場合は、手順9に進んでください。

9 # * を押す

10 着信させるアナログポートの番号を押す

: 電話Aポート

: 電話Bポート

アナログポートの番号を押すと、アナログポートの横にある「×」が「○」に変わります。これで、そのアナログポートが選択されたこととなります。複数のポートを指定することもできます。

着信ポート
A: ○ B: ×

○が表示されているポートに着信します。

再度アナログポートの番号を押すと、ポート指定が解除されて○が×に戻ります。

11 を押す

アナログポートを選択する画面に戻ります。

12 続けて別の電話番号を登録するとき は、手順3から繰り返す

設定を終了するとき、手順13に進んでください。

13 を押す

14 受話器を戻す

お知らせ

- ・発信者番号を通知してこない電話を受ける着信ポートを設定するとき、手順6で電話番号を入力する代わりに、以下の番号を押してください。そのあとは手順10に進みません。

: 非通知(自分の電話番号を通知しない着信)

: 公衆電話(公衆電話からの着信)

: 表示圏外(電話番号を通知できない地域や機種からの着信)

- ・登録済みの電話番号を変更したい場合は、変更する登録番号をStep2の手順4で選択し、 を押して新しい電話番号を入力してください。
- ・登録済みの電話番号を削除したい場合は、削除する登録番号をStep2の手順4で選択したあと、 を押して受話器を戻してください。
- ・i・ナンバーやダイヤルインサービスにより複数の電話番号をご利用の場合は、マイブライベート着信で登録したアナログポートに割り当てられた着信電話番号を相手に伝えてください。これ以外の番号に電話をかけた場合は、マイブライベート着信になりません。
- ・らくらくアシスタントで設定するには、メニュー画面→[電話帳機能の設定]→[マイブライベート着信]タブ→空いている番号を選択→名前と電話番号(およびサブアドレス)を入力→ポートを選択→[更新]で設定します。

特定の相手を対象にする

特定の電話だけを転送する(識別着信転送)

特定の相手からの電話だけを転送します。

ポイント

識別着信と着信転送を組み合わせるもので、識別着信(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)で登録した相手からの電話のみを転送する機能です。転送方法には、着信転送または疑似着信転送を使います。

相手の識別の方法と転送の方法	INSなりわけサービスで相手を識別し、着信転送で転送する	INSなりわけサービスで相手を識別し、疑似着信転送で転送する	疑似識別着信で相手を識別し、疑似着信転送で転送する
追加契約	INSなりわけサービス着信転送	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
利用条件	着信させる電話番号をINSネット64に登録	着信させる電話番号をINSネット64に登録	着信させる電話番号をAtermに登録

設定

step 1 選択着信転送の設定をする

転送条件や転送元・転送先の電話番号など、INSなりわけ時転送または疑似識別着信転送の設定をします。

「着信転送または疑似着信転送を利用する場合」(☎137ページ)の設定をします。ただし、Step4の手順3(らくらくアシスタントでは[転送条件])で以下のいずれかを設定してください。



- 1 : INSなりわけ時に転送する
- 2 : 疑似識別着信時に転送する

step 2 疑似識別着信用の電話番号を登録する

Step1で「疑似識別着信時に転送する」を選択した場合は、「電話を受ける相手を限定する(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)」のStep2(☎156ページ)で設定します。

step 3 お出かけ設定のモードを電話着信転送モードに設定する

お出かけ設定のモードの中から、電話着信転送モードを選択します。

 → * * 1 * 4 * 7 3 * 2 # # → 

操作 識別着信転送を開始／停止する

でかけるボタンを1秒以上押しして転送を開始します。



1 でかけるボタンを1秒以上押す

「ピッ」と音がしてでかけるボタンがオレンジ色に点灯し、以降、登録している電話番号からの着信のみが転送されます。

2 転送を停止するときは、でかけるボタンをもう一度1秒以上押す

でかけるボタンが消灯します。

お知らせ

- ・でかけるボタンを続けて操作するときは、1秒以上時間を空けてください。
- ・購入時は、でかけるボタンがロックされています。 ボタンを6秒以上押しして、ロックを解除してください( 134ページ)。

特定の相手を対象にする

特定の電話だけを転送する(識別着信転送)

通信に関する情報を表示する

通信料金を表示する

今までにかけた通信料金の合計をポートごとに表示します。

また、すべてのポートの累積料金を電話機のボタンを使ってクリアすることができます。

ポイント

累積料金はいつでもクリアできます。クリアすると、再び0円からカウントされます。

たとえば、毎月初めに累積料金をクリアして月ごとの料金の概算を知る、という使いかたができます。




操作

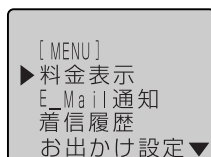
累積料金を表示する

Aterm前面の操作ボタンまたは電話機のボタンを使って、各ポートの累積料金を表示できます。

●操作ボタンを使って表示する



1  ボタンを押す



2  ボタンまたは  ボタンを押して[料金表示]に矢印を合わせ、 ボタンを押す



ポートごとの累積料金が表示されます。



3  ボタンまたは  ボタンを押して、表示するポートを切り替える

 ボタンを押すたびに、シリアル→USB→電話A→電話Bの順にポートが切り替わります。 ボタンを押して戻することもできます。

4  ボタンを押す

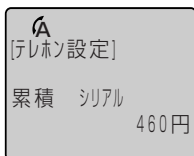
通常の表示に戻ります。

●電話機のボタンを使って表示する

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 0
* を押す

累積料金が表示されます。



3 * を押して、表示するポートを切り替える

* を押すたびに、シリアル→USB→電話A→電話Bの順にポートが切り替わります。

4 # # を押す

5 受話器を戻す

通常の表示に戻ります。

通信に関する情報を表示する

📎 お知らせ

使用中のポートがあるときは、電話機から累積料金を表示することはできません。また、表示中は電話の発着信はできません。

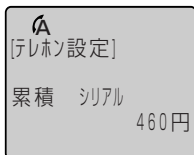
3

📞 操作 累積料金をクリアする

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 7 0
* を押す

累積料金が表示されます。



3 1 を押します。

すべてのポートの累積料金がクリアされます。

4 # # を押す

5 受話器を戻す

通常の表示に戻ります。

通信料金を表示する

📎 お知らせ

- 表示される累積料金は通話ごとにINSネット64から通知される料金を累積したものです。INSテレホーダイなどをご利用の場合、実際の請求額とは異なります。
- 累積料金の表示・クリアは、らくらくアシスタントのメニュー画面→[通信情報と通信料金の確認]を使用することもできます(添付CD-ROM「データ通信ガイド」)。

着信履歴を表示する

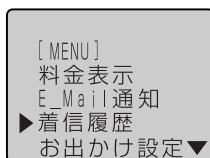
Atermには、かかってきた相手やかかってきた時間などの着信履歴が最新の50件分まで記録されています。Atermの液晶ディスプレイに着信履歴を表示することができます。

操作 着信履歴を表示する

Aterm前面の操作ボタンを使って、着信履歴を表示します。

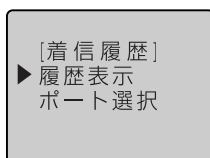
1 **MENU** ボタンを押す

2 **▽** ボタンまたは **△** ボタンを押して[着信履歴]に矢印を合わせ、**○** ボタンを押す



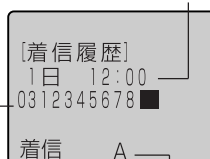
着信履歴のメニューが表示されます。

3 **▽** ボタンまたは **△** ボタンを押して[履歴表示]に矢印を合わせ、**○** ボタンを押す



最新の着信履歴が表示されます。

着信した日付と時刻



着信したアナログポート

着信した相手の電話番号

4 1つ前の着信履歴を表示するには、**△** ボタンを押します。

▽ ボタンまたは **△** ボタンを押すたびに、表示される履歴を前後に切り替えることができます。

5 **CLR** ボタンを押す
通常の表示に戻ります。

らくらくアシスタントを使う

電話機能の設定をらくらくアシスタントを使って設定する場合は、それぞれの設定のしかたの終わりにある「お知らせ」を参照してください。らくらくアシスタントを使った設定方法は、メニュー画面から選択する項目を矢印でつないだ形で説明しています。それぞれの選択項目で選択する内容については、電話機からの設定方法を参照してください。らくらくアシスタントを使う場合は、データポートを使用するほかのアプリケーション(UIメールEXも含みます)は終了してください。

メニュー画面

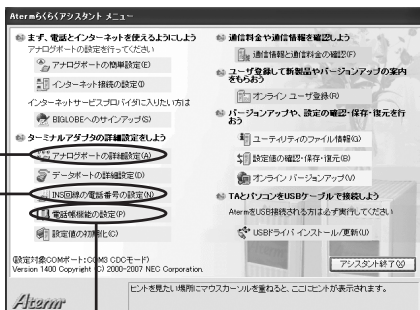
電話機能の設定には、[アナログポートの詳細設定]・[INS回線の電話番号の設定]・[電話帳機能の設定]の3つの項目を使用します。

アナログポートの詳細設定

クリックすると、アナログポートの詳細設定画面が表示されます。電話機能を設定するには、主にこの画面を使用します。短縮ダイヤルなど、電話番号を登録する電話帳機能と、i・ナンバーやダイヤルインサービスなどの実際に使用する電話番号に関する機能以外のほとんどの電話機能を設定することができます。

INS回線の電話番号の設定

クリックすると、INS回線の電話番号の設定画面が表示されます。i・ナンバーやダイヤルインサービスで使用する電話番号を設定するには、この画面を使用します。



電話帳機能の設定

クリックすると、電話帳機能の設定画面が表示されます。この画面で、短縮ダイヤルや、Atermの疑似識別着信・疑似なりわけなどの機能で使用する電話番号を登録します。

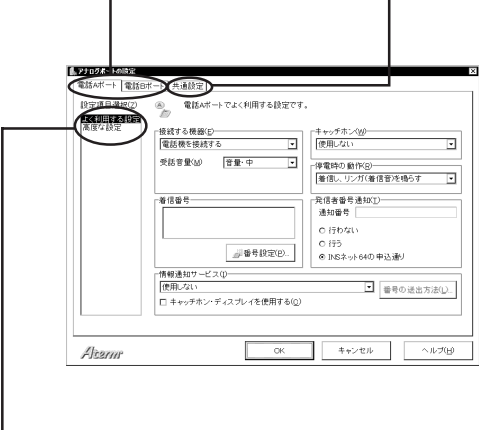
☑ らくらくアシスタントの起動のしかた

- Windowsの場合： [スタート] (Windowsのロゴ) → [プログラム] (Windows Vista/Windows XPでは[すべてのプログラム]) → [Aterm\ITX72/ITX62/IT42ユーティリティ] → [Atermらくらくアシスタント] を選択
- Macintoshの場合： [ITX72/ITX62/IT42ユーティリティ] フォルダ → [Atermらくらくアシスタント] アイコンをダブルクリック → [Aterm] を選択 → [OK] をクリック

アナログポートの詳細設定画面 ●●●●●●●●●●●●●●

アナログポートのタブ
これらのタブをクリックすると、アナログポートごとの設定画面が表示されます。アナログポートごとに設定する機能の場合、これらのタブを使用します。

共通設定のタブ
アナログポート別ではなく、Atermに接続した電話機やファクスすべてで共通の機能を設定するには、このタブをクリックします。



[設定項目選択]
各タブで設定する電話機能は、ここに表示されている項目別に分類されています。項目名をクリックすると、そこに分類されている機能の設定項目が表示されます。

アナログポートの詳細設定画面で設定できる機能

タブ	設定項目選択	設定できる機能
電話A・Bポート	よく利用する設定	受話音量調節、キャッチホン、発信者番号通知、ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルイン
	高度な設定	フッキング検出タイマ、ダイヤル桁間タイマ、サブアドレス、識別着信、なりわけ
共通設定	着信設定	お出かけモード、優先着信ポート指定、着信転送、ボイスワープ、識別着信転送
	その他の設定	三者通話、通信中転送、#発信

各設定欄の使い方

各設定欄の使いかたを[アナログポートの詳細設定]ボタンをクリックしたときの画面を例にして説明しています。

タブ
 クリックすると、別の画面が表示されます。

設定項目選択
 項目をクリックすると画面が切り替わります。

表示ボックス
 すでに入力されている電話番号などが表示されます。

チェックボックス
 をクリックするとチェックする／チェックをはずすことができます。

ボタン
 クリックすると、次の画面が表示されます。

ドロップダウンリストボックス
 をクリックすると、1つの項目を選択できます。

テキストボックス
 電話番号などを入力できます。

オプションボタン
 をクリックすると、どれか1つだけ選択できます。

3

4. お困りのときには

Atermがうまく動かない、操作しても違う結果になる…。そんなときにお読みください。

トラブルシューティング	184
Aterm を購入時の状態に戻す（初期化）	197
Aterm が故障していないか確認する（自己診断）	200

Windows Vista™ は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premiumの各日本語版かつ32ビット(x86)版の略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略です。

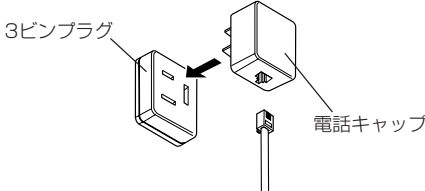
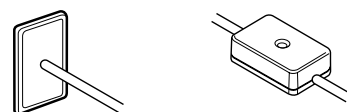
WindowsNT® 4.0はMicrosoft® WindowsNT® operating system version 4.0の略です。

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処しても問題が解決しない場合は、Atermを初期化(☞197ページ)して、各種設定をし直してみてください。販売店またはAtermインフォメーションセンター(☞別紙または裏表紙)でもお問い合わせにお応えしております。なお、Atermをパソコンに接続してお使いの方は、添付CD-ROMの『お困りのときには』も合わせてご利用ください。



- ・ 設置に関するトラブルとQ&A ☞184ページ
- ・ 電話に関するトラブル ☞187ページ
- ・ ファクス・ファクス付き電話機に関するトラブル ☞194ページ
- ・ 通信全般に関するトラブル ☞195ページ
- ・ その他のトラブルとQ&A ☞195ページ

■ 設置に関するトラブルとQ&A ■


	症状	原因と対策
Atermを接続するとき	ケーブルの長さが足りない	<ul style="list-style-type: none"> ●モジュラケーブルの長さが足りない →モジュラケーブルを別途購入してください。購入するモジュラケーブルの長さは、200m(太さ0.5mmΦ)までとしてください。ただし、電話機またはファクスによってはさらに短くしなければならぬことがあります。
	回線側コンセントの形が違う	<p>回線側コンセントがモジュラタイプ以外では、Atermを接続できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンセントのタイプが3ピンプラグの場合 →電話キャップを別途購入してください。 <div style="text-align: center;">  <p>3ピンプラグ 電話キャップ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●電話コードが壁から直接出ている場合 →NTT東日本・NTT西日本に、モジュラコンセントに変えるための工事を依頼してください。 <div style="text-align: center;">  <p>直接電話コードが出ている</p> </div>

症状	原因と対策
電源を入れたとき POWERランプが点灯せず、 液晶ディスプレイに何も表示 されない	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードがはずれている →電源コードを壁の電源コンセントに差し込んでください。 ●電源が入っていない →電源スイッチの「 」(オン)側を押してください。
液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ1ダウン」と表示される	<p>INSネット64とAtermの間で基本的なやりとりができていません(レイヤ1の同期がとれていません)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●INS回線ケーブルがはずれている →添付のINS回線ケーブルを使って、AtermのINS回線コネクタと壁の回線側コンセント(またはローゼット)を接続してください。 ●回線の極性が反転している →Aterm背面のINS回線リバーススイッチ(NOR/RVS)を反対側に切り替えてください。 <div data-bbox="748 603 804 651" style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●INSネット64への切り替えが完了していない →INSネット64への切り替えが完了しているか、NTT東日本・NTT西日本に確認してください。 ●電話回線にガスの自動検針機が接続されている(アナログ回線から変更した場合) →ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は撤去してもらってください。
液晶ディスプレイに「回線障害 レイヤ2ダウン」と表示される	<p>INSネット64とAtermの間で基本的なやりとりができていません(レイヤ2の同期がとれていません)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●INSネット64への切り替えが完了していない →INSネット64への切り替えが完了しているか、NTT東日本・NTT西日本に確認してください。 ●電話回線にガスの自動検針機が接続されている(アナログ回線から変更した場合) →ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は撤去してもらってください。
MSGランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ●BIGLOBEのメール着信通知サービスに加入している場合は、電子メールが届いたことをお知らせしている →受話器を上げて [*] [*] 0 を押すと消灯します。 ●UUIメールが届いたことをお知らせしている →受話器を上げて [*] [*] 0 を押すと消灯します。



Question	Answer
落雷に対する対策をしたいのですが？	<p>回線や電源コードから入り込むノイズ(雷など)から装置を保護するために、アース線の接続をお勧めします。アース線は別途ご用意ください。</p> <p>落雷などの天災地変による故障の場合は、保障期間内でも有料修理となりますのであらかじめご了承ください。</p> <p>また、ケーブルは絶対に屋外に出さないように配線してください。</p>
電話機やファクスに接続できないのですが？	<p>機器の種類がAtermに適合していません。</p> <p>●Atermのアナログポートに接続できるのは、端末審査協会適合マーク「」または「」がついている通信機器です。電話機またはファクスにこれらのマークがあるかを確認してください。</p> <p>ただし、Atermのアナログポートでは疑似的にアナログ回線相当に見せており本当のアナログ回線とは異なるため、使用できない通信機器もあります。</p> <p>また、電話機の回線種別はトーン(PB)にしてください。</p>
アナログポートの数が足りないのですが？	<p>Atermのアナログポートの数よりも多くの電話機やファクスを接続するには、ブランチ接続をする必要があります。</p> <p>→3口の分岐用ローゼットなどを使って、ブランチ接続を行ってください。1つのアナログポートに3台(合計容量：3μF/2kΩ以下)までブランチ接続することができます。ただし、通話できるのはその中の1台だけです。また、INSナンバー・ディスプレイを利用する場合は、ブランチ接続できません。</p> <div data-bbox="526 805 924 997" data-label="Diagram"> </div>

■ 電話に関するトラブル ■

	症状	原因と対策						
電話をかけるとき	受話器を上げて音がない	<ul style="list-style-type: none"> ●Atermの電源が入っていない <ul style="list-style-type: none"> →電源コードを壁の電源コンセントに差し込んでください。 →電源スイッチの「 」(オン)側を押した状態にしてください。 ●Atermと電話機が正しく接続されていない <ul style="list-style-type: none"> →Atermのアナログポートと電話機の内線(LINE)コネクタを、電話機に添付されているモジュラケーブルで接続してください。 						
	受話器を上げると「プープー」という音がする	<p>INSネット64とAtermの間で基本的なやりとりができていません(レイヤ1またはレイヤ2の同期がとれていません)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●INS回線ケーブルがはずれている <ul style="list-style-type: none"> →INS回線ケーブルを使って、AtermのINS回線コネクタと壁の回線側コンセント(またはローゼット)を接続してください。 ●回線の極性が反転している <ul style="list-style-type: none"> →Aterm背面のINS回線リバーススイッチ(NOR/RVS)を反対側に切り替えてください。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ●INSネット64への切り替えが完了していない <ul style="list-style-type: none"> →INSネット64への切り替えが完了しているか、NTT東日本・NTT西日本に確認してください。 ●電話回線にガスの自動検針機が接続されている(アナログ回線から変更した場合) <ul style="list-style-type: none"> →ガス供給業者に問い合わせ、接続されている場合は撤去してもらってください。 ●アナログポートを使用しない設定になっている。 <ul style="list-style-type: none"> →アナログポートを使用可能にします。 <p style="margin-left: 20px;">受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 0 1 [*] [機器の種類] [#] [#] を押し、受話器を戻します。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">アナログポート番号</td> <td style="border: none;">機器の種類</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">1 : 電話Aポート</td> <td style="border: none;">0 : 電話</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2 : 電話Bポート</td> <td style="border: none;">1 : FAX/モデム</td> </tr> </table>	アナログポート番号	機器の種類	1 : 電話Aポート	0 : 電話	2 : 電話Bポート	1 : FAX/モデム
アナログポート番号	機器の種類							
1 : 電話Aポート	0 : 電話							
2 : 電話Bポート	1 : FAX/モデム							
	電話をかけることができない	●電話機の設定がトーン(PB)になっていない						
	(続く)	→電話機の取扱説明書を参照して、回線種別をトーン(PB)へ切り替えてください。						



症状	原因と対策
電話をかけるとき 電話をかけることができない	<ul style="list-style-type: none"> ●疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話をしている <ul style="list-style-type: none"> →疑似キャッチホン、疑似着信転送、疑似三者通話中は、Bチャンネルを2つ使用しているので別の電話はかけられません。 ●マルチアクセスまたは128kbpsマルチリンクPPP通信をしている <ul style="list-style-type: none"> →マルチアクセスまたは128kbpsマルチリンクPPP通信中は、Bチャンネルを2本使用しているため電話をかけることはできません。
電話をかけたときに、相手とつながるまでの時間が長くなる	ダイヤル桁間タイマが働いて、最後にダイヤルしてから発信するまで5秒以上かかっています。 →ダイヤル後、電話機の【#】を押すとすぐに発信します。
ACR機能付き電話機を使用したときに、電話がつかない	ACR機能付き電話機を使用している場合は、ダイヤルしている途中で発信してしまうことがあります。 →ダイヤル桁間タイマを5秒(初期状態)より長くします。 受話器をあげて【*】【*】【1】【*】【アナログポート番号】【*】【0】【7】【*】【時間】【#】【#】を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 時間 1：電話Aポート 0：5秒 2：電話Bポート 1：9秒 2：11秒 3：13秒
電話をかけて相手が応答すると電話が切れてしまう	電話機に秘話回路が内蔵されています。 →秘話回路とは、ブランチ接続(☎186ページ)されている電話機の中の1台が使用中のときは、ほかの電話機に通話内容が聞こえないようにする回路です。ブランチ電話機使用中の検出電圧が高いと、秘話回路が働くことがあります。電話機の取扱説明書を参照して、秘話回路を使用しないように設定してください。
#を含む電話番号をかけることができない	初期状態では、【#】をダイヤルすると発信するように設定されています。 →【#】で発信しないようにするか、または2回続けて【#】を押すと発信するように設定を変更します。 受話器をあげて【*】【*】【1】【*】【4】【*】【7】【5】【*】【#発信】【#】【#】を押し、受話器を戻します。 #発信 0：【#】で発信しない 2：【#】【#】で発信する

症状	原因と対策
電話がかかってきたとき	<p>電話がかかってきても着信音が鳴らない</p> <p>設定に誤りがあることがあります。以下の設定を確認してください。</p> <p>なお、購入時は、すべてのアナログポートが呼び出される(=着信音が鳴る)ように設定されており、設定によって着信する条件が追加されます。Atermをいったん購入時の状態に戻し(☞P197ページ)、呼び出されることを確認してから再度設定すると、設定の誤りを見つけやすくなります。ただし、設定した内容(電話番号など)はすべて無効になるのでご注意ください。</p> <p>● i・ナンバーの呼び分けがうまくいかない</p> <p>→ i・ナンバーをもう一度正しく設定し直してください。</p> <p>契約者回線番号や追加番号は必ず市外局番から入力してください。また、アナログ・ダイヤルインを使用する場合は必ず内線指定番号を設定してください。</p> <p>1) i・ナンバーを使用する設定をする 受話器をあげて [*][*][1][*][4][*][7][6][*][1][#][#] を押し、受話器を戻します。</p> <p>2) i・ナンバー情報1に契約者回線番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][5][*][9][0][1][*][契約者回線番号][#] (内線指定番号を使用する場合は [*][内線指定番号][#][#]) を押し、受話器を戻します。</p> <p>3) i・ナンバー情報2に追加番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][5][*][9][0][2][*][追加番号][#] (内線指定番号を使用する場合は [*][内線指定番号][#][#]) を押し、受話器を戻します。</p> <p>4) 必要に応じて、i・ナンバー情報3に追加番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][5][*][9][0][3][*][追加番号][#] (内線指定番号を使用する場合は [*][内線指定番号][#][#]) を押し、受話器を戻します。</p> <p>5) 各アナログポートに着信する番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][アナログポート番号][*][9][4][*][i・ナンバー情報][#][#] を押し、受話器を戻します。</p> <p>アナログポート番号 i・ナンバー情報 1：電話Aポート 1：i・ナンバー情報1 2：電話Bポート 2：i・ナンバー情報2 3：i・ナンバー情報3</p>

(続く)



症状	原因と対策
電話がかかってきたとき	<p>電話がかかってきても着信音が鳴らない</p> <p>●ダイヤルイン番号の呼び分けがうまくいかない →ダイヤルイン番号をもう一度正しく設定し直してください。</p> <p>契約者回線番号や追加番号は必ず市外局番から入力してください。また、アナログ・ダイヤルインを使用する場合は必ず内線指定番号を設定してください。</p> <p>1) グローバル着信を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*] [アナログポート番号] [*][0][5][*][0][#][#] を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <p>2) i・ナンバーを使用しない設定をする 受話器をあげて [*][*][1][*][4][*][7][6][*][0][#][#] を押し、受話器を戻します。</p> <p>3) 契約者回線番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][4][*][8][0][*] [契約者回線番号] [#][#][#] を押し、受話器を戻します。</p> <p>4) ダイヤルイン番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*][4][*][8] [番号数] [*] [追加番号] [#][#][#] を押し、受話器を戻します。 番号数 1～7：ダイヤルイン番号1～7</p> <p>5) 各アナログポートに着信する番号を設定する 受話器をあげて [*][*][1][*] [アナログポート番号] [*][9][1][*] [3] または [4] で割り当てたい電話番号を表示 [0][#][#] を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <p>●ダイヤルインサービスを契約している場合は、グローバル着信の設定が間違っている →INSネット64で契約した「グローバル着信を利用する/利用しない」の内容と、Atermの設定内容を合わせてください。 受話器をあげて [*][*][1][*] [アナログポート番号] [*][0][5][*][0][#][#] を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p>

(続く)

症状	原因と対策
<p>電話がかかってきたとき</p> <p>電話がかかってきても着信音が鳴らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●優先着信ポートが指定されている <ul style="list-style-type: none"> →優先着信指定されたアナログポートが空いているときは、そのアナログポートだけが呼び出され、ほかのアナログポートには着信しません。優先着信の必要がないときは、指定しないでください。 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] 4 [*] 2 3 [*] [優先着信ポート] # # を押し、受話器を戻します。 優先着信ポート 0：優先なし 1：電話Aポートを優先 2：電話Bポートを優先 ●識別着信(INSなりわけ、疑似識別着信)が設定されている <ul style="list-style-type: none"> →識別着信が設定されていると、登録した相手から以外は着信しくなります。識別着信の必要がないときは、指定しないでください。 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 0 3 [*] [識別着信の種類] # # を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 識別着信の種類 1：電話Aポート 0：使用しない 2：電話Bポート 1：INSなりわけ識別着信 2：疑似識別着信 ●お出かけ設定が設定されている <ul style="list-style-type: none"> →お出かけ設定のおやすみモードまたはフラッシュモードが設定されているときは、液晶ディスプレイ(おやすみモードのみ)やでかけるボタンでは着信を知らせますが、着信音は鳴りません。 お出かけ設定の電話着信転送モード(着信転送、疑似着信転送)またはボイスワープ転送モードが設定されていて、設定した転送条件が一致したときは、着信音を鳴らさずに転送します。 着信音を鳴らして電話を取りたいときは、でかけるボタンを1秒以上押し、お出かけ設定を解除してください。 ●サブアドレスが違っている <ul style="list-style-type: none"> →相手側(INSネット64加入者)が指定したサブアドレス(☎105ページ)が、自分側のAtermに設定されているサブアドレスと違っています。サブアドレスを使用しないときは、サブアドレスに何も入力せず、「サブアドレスなし着信する」を設定してください。 1) サブアドレスなし着信をするように設定する 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 0 6 [*] 0 # # を押し、受話器を戻します。

(続く)

症状	原因と対策
電話がかかってきたとき	<p>電話がかかってきても着信音が鳴らない</p> <p>アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <p>2) サブアドレスを削除する 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 9 3 [*] # # を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <p>●HLC(高位レイヤ整合性)が一致しない →相手側(INSネット64加入者)が設定したHLCが、自分側のAtermに設定されているHLCと違っています。「HLCを設定しない」を指定してください。 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 0 4 [*] 0 # # を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p>
着信音が鳴るので受話器を上げても通話できない	<p>電話機に秘話回路が内蔵されています。 →秘話回路とは、ランチ接続(☞186ページ)されている電話機の中の1台が使用中のときは、ほかの電話機に通話内容が聞こえないようにする回路です。ランチ電話機使用中の検出電圧が高いと、秘話回路が働くことがあります。電話機の取扱説明書を参照して、秘話回路を使用しないように設定してください。</p>
着信音が短く鳴り、受話器を上げると切れてしまう、またはファクスの信号のような音がる	<p>ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルイン対応の電話機を接続していないにもかかわらず、ナンバー・ディスプレイ、モデム・ダイヤルイン、アナログ・ダイヤルインの設定をしています。 →これらのサービスを「使用しない」設定にしてください。 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 1 0 [*] 0 # # を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p>

症状	原因と対策
電話がかかってきたとき	<p>留守番電話などで相手が受話器を置いても電話が切れない</p> <p>留守番電話機が回線切断時のリバースパルスを検出して切断する仕組みになっています。 →相手が電話を切った時に、Atermからリバースパルスを出すように設定します。 受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 1 3 [*] 1 # # を押し、受話器を戻します。 アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <p>電話機とファクスをつないでいるが、ファクスが先に応答してしまい、電話機で電話を取れない</p> <p>電話番号が1つしかないためです。 → i・ナンバーやダイヤルインサービスの契約をお勧めします。 1つの電話番号だけを使う場合、電話機とファクスを接続すると、電話がかかってきたとき先にファクスが応答し、電話機では電話を受けることができなくなります。また、ファクスで電話を受けても、ファクスが電話に切り替える間、相手に余計な通話料がかかってしまいます。</p>
その他のとき	<p>電話を転送できない</p> <p>携帯電話やPHSの電源が切れているか、圏外になっている可能性があります。 →携帯電話やPHSが使えることを確認してください。</p> <p>でかけるボタンを押してもお出かけ設定ができない(でかけるボタンが点灯しない、液晶ディスプレイに表示されない)</p> <p>でかけるボタンがロックされています。 →でかけるボタンのロックを解除します。 → (MENU) ボタンを6秒以上押し続けてください。 液晶ディスプレイに「でかけるボタンをロック解除しました」と表示され、ロックが解除されます。</p> <p>停電時に電話が使えない</p> <p>停電用の電池がセットされていません。 →停電時にも電話が使えるようにするには、電池ホルダーに停電用のアルカリ乾電池をセットしておきます(☞P214ページ)。電池をセットしておくと、電源が切れたときに、Atermは自動的に停電モードに入ります。停電モードでは、電話Aポートに接続した電話機を使うことができます。ただし、お客様の環境によっては使用できないこともあります。</p>



■ ファクス・ファクス付き電話機に関するトラブル ■

	症状	原因と対策
ファクスで通信するとき	ファクス通信ができない	<p>電話が使えないときの症状が当てはまる場合があります。対策は、ファクスの場合でも同じです。「電話に関するトラブル」(☎187ページ)を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手のファクスがG4タイプのファクスである <ul style="list-style-type: none"> →アナログポートに接続したファクスは、G3モードに対応していないG4タイプのファクスとは通信できません。 ●ファクスの回線種別を自動選択する機能がオンになっている <ul style="list-style-type: none"> →INSネット64に接続したターミナルアダプタでは、ファクスの回線種別を自動選択する機能は使用できません。ファクスの取扱説明書を参照して、回線種別のトーン(PB)を手動で設定してください。 ●ファクスをデータポートに接続している <ul style="list-style-type: none"> →データポートからはファクス通信できません。ファクスはアナログポートに接続してご使用ください。
ファクスから発信するとき	ファクスから発信できない	<p>ノイズにより誤って無鳴動着信をしています。</p> <p>→ファクスの設定を無鳴動着信しないように変更してください。</p>
	ファクスで発信しても相手から切断される	<p>相手側のターミナルアダプタの設定が誤っています。</p> <p>→相手側のターミナルアダプタの設定を確認してもらってください。</p>
ファクスに着信するとき	ファクスに着信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログポートの接続機器が「電話機」に設定されている <ul style="list-style-type: none"> →「ファクスまたはモデム」に設定します。 <p>受話器をあげて [*] [*] 1 [*] [アナログポート番号] [*] 0 1 [*] 1 # と押し、受話器を戻します。</p> <p>アナログポート番号 1：電話Aポート 2：電話Bポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Fネットの無鳴動着信機能を利用している <ul style="list-style-type: none"> →無鳴動着信を行うには、アナログポートから特殊な周波数をファクスに出さなければなりません。AtermIは対応していないため、無鳴動着信は利用できません。
	実際には着信していないのにファクスに自動着信することがある	<p>ノイズにより誤って無鳴動着信をしています。</p> <p>→ファクスの設定を無鳴動着信しないように変更してください。</p>

■ 通信全般に関するトラブル ■

症状	原因と対策
ディスプレイのB1やB2の表示が消えない	→AtermとINSネット64を接続しているケーブルを抜いて、30秒程待ってから再び差してください。これで通信が切断されます。

■ その他のトラブルとQ&A ■

症状	原因と対策
Atermが正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがあることがあります。 →INSネット64の契約内容と設定内容が異なっていないか、確認してみてください。 どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し(☞197ページ)、最初から設定し直す方法もあります。
累積料金と実際の電話料金が違う	●「INSタイムプラス」、「INSテレホーダイ」、「i・アイプラン」、「フレッツISDN」などのサービスに加入していたり、PHS網などほかの事業者経由で通信を行っている →累積料金と実際の請求額は異なります。Atermでは、切断時に網から通知された金額をそのまま表示し、累積料金として計算しています。また、PHS網やNCC網などの他事業者と通信を行った場合は、料金情報がネットワークから送出不されるため、累積料金と実際の請求額が異なることとなります。 ●Atermの電源を切った、または初期化した →累積料金は、Atermの電源を切ったり、初期化すると、0円や前回保存した値に戻ります。
停電時に、POWERランプが点滅しない	●Atermの電源スイッチが「○」(オフ)側になっている →停電モードを使うには、電源スイッチの「 」(オン)側を押した状態になっていなくてはなりません。電源スイッチの「 」(オン)側を押してください(☞32ページ)。 ●単3アルカリ乾電池がセットされていない、または+-を間違えてセットしている →市販の単3アルカリ乾電池を正しくセットしてください(☞212ページ)。 ●単3アルカリ乾電池の容量がなくなっている →電池を交換してください。
停電時に、電話をかけることができない	電話Bポートに電話機を接続している →停電時に使用できるアナログポートは電話Aポートだけです。電話機を電話Aポートに接続してください。

症状	原因と対策
停電すると電池がすぐになくなる	<ul style="list-style-type: none"> ●電話Bポートの電話機の受話器をあげている →受話器を置いてください。 ●S点ユニットのほかのISDN通信機器を接続している →S点ユニットにも給電されるので、S点ユニットを使用していると使用時間が短くなります。
購入したときの状態に戻したい、Atermの設定を最初からすべてやり直したい	Atermの設定値を購入時の状態に戻します(☞197ページ)。ただし、購入時の状態に戻すと、今までに設定した内容は無効になります。ご注意ください。
海外で使用したい	Atermシリーズは日本国内のISDN(INSネット64)で使用することを前提としているため、海外では使用できません。
POWERランプが赤く点滅する(液晶ディスプレイに「強制ローダコマンド待機中」と表示される)	<p>フラッシュROMに書かれているプログラム(ファームウェア)が消えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Atermに接続しているシリアルケーブル、USBケーブルをすべて抜く 2) ディップスイッチをご自分の設定位置にする(「ディップスイッチ」☞221ページ) 3) Atermの電源を切って、再び入れ直す 4) AtermのPOWERランプが赤く点灯し、しばらくすると赤点滅するのを確認する 5) 1)で抜いたケーブルを元通りにつなぐ 6) らくらくバージョンアップを行う <ol style="list-style-type: none"> ①添付のCD-ROMをセットし、メインメニュー画面が表示されたら[ソフトウェア・マニュアル一覧]をクリックする ②「IT42ファームウェア」をクリックする ③セキュリティ警告画面が表示されたら[実行]をクリックする ④画面の案内に沿ってファームウェアのダウンロードを行ってください

Atermを購入時の状態に戻す(初期化)

初期化とは、Atermに設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。今までとは違う回線を使う場合やAtermがうまく動作しない場合などは、Atermを初期化して初めから設定し直すことをおすすめします。

ポイント

初期化の方法には以下の4通りがあります。

- ・らくらくアシスタントで初期化する
- ・Aterm前面の操作ボタンで初期化する
- ・電話機から初期化する
- ・ディップスイッチで初期化する

初期化する前に、現在の設定内容を保存しておくことができます(添付CD-ROM『データ通信ガイド』)。

お知らせ

ATコマンドを使用して初期化することもできます。ATコマンドについて詳しくは、添付CD-ROM『データ通信ガイド』を参照してください。

4

Atermを購入時の状態に戻す(初期化)

らくらくアシスタントを使って初期化を行います。

1 らくらくアシスタントを起動する

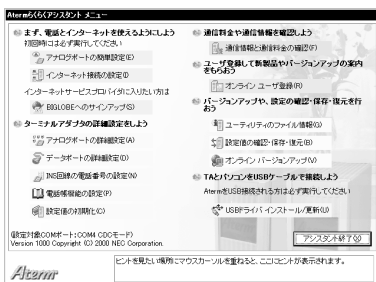
●Windowsをお使いの方

[スタート] (Windowsのロゴ) ボタンをクリックし、[プログラム] (Windows Vista/WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[Aterm ITX72/ITX62/IT42ユーティリティ]-[Atermらくらくアシスタント]を選択する

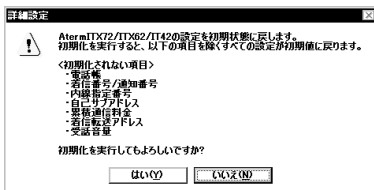
●Macintoshをお使いの方

[Macintosh HD] アイコンをダブルクリックし、[ITX72/ITX62/IT42らくらくユーティリティ] フォルダの中の[Atermらくらくアシスタント] アイコンをダブルクリックし、[Aterm] を選択して[OK] をクリックする

2 [設定値の初期化] をクリックする

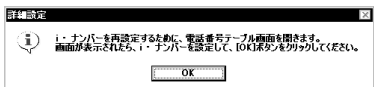


3 [はい] をクリックする

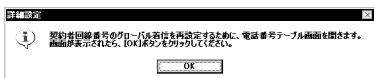


4 [OK] をクリックする

・i・ナンバーを使用する場合



・i・ナンバーを使用しない場合







5 電話番号を再設定する

6 [OK] をクリックする

7 [アシスタント終了] をクリックする

操作 操作ボタンで初期化する


Aterm前面の操作ボタンを使って初期化を行います。

- 1  ボタンを押す
- 2  ボタンを押して[初期化]に矢印を合わせ、 ボタンを押す
- 3 [工場出荷時]に矢印を合わせ、 ボタンを押す

- 4  ボタンを押す






[初期化]

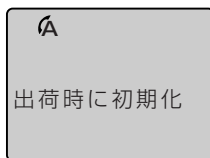
工場出荷時に
初期化しますか？


キャンセルする場合は  ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

操作 電話機から初期化する

電話機のボタンを使って初期化を行います。

- 1 受話器をあげる
- 2      と押す



- 3  を押す

初期化が行われ、通常の画面に戻ります。

- 4 受話器を戻す

操作 ディップスイッチで初期化する

ディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、電池ホルダーの中にあります。

- 1 Atermの電源を切る
- 2 電池カバーを開け、電池が入っている場合は電池を抜き出す
- 3 ディップスイッチの4～6をONにする

電池カバーを開け、つまようじなど先の細いものでディップスイッチの4～6をONの側に倒します。



- 4 Atermの電源を入れる
- 5 Atermの電源を切る
- 6 ディップスイッチを元に戻す
- 7 Atermの電源を入れる

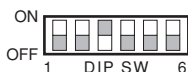
Atermが故障していないか確認する

(自己診断)

自己診断を行うと、Atermが故障していないかを確認することができます。

操作

- 1 ディップスイッチの3だけをONにし、ほかはOFFにする



- 2 Atermの電源を切る
- 3 Atermの電源を入れる

自己診断が行われます。液晶ディスプレイに「シンダンテスト」と表示されます。正常に終了すると、「ピピピ…」と鳴った後にMSGランプが緑色に点滅し、液晶ディスプレイに「シンダンテストOK」と表示されます。

- 4 診断を終了するときは、電源を切ってディップスイッチの設定を元に戻してから、再度電源を入れる

お願い



- ・自己診断を行っている最中に、電源を切らないでください。電源を切るとバックアップしている設定内容が正しく保持されないことがあります。
- ・自己診断で異常が発見されるとMSGランプが赤色に点灯し、ブザーが鳴り続けます。異常があった場合は、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理を依頼してください。

5. 付 録

操作ボタンの機能一覧	202
液晶ディスプレイの表示一覧	203
日時とアニメを変更する	207
バックライトの点灯モードを設定する	209
液晶ディスプレイのコントラストを調整する	210
ファームウェアのバージョンや USB の通信モードを確認する	211
停電対策	212
切断理由表示一覧	216
製品仕様	218
ホームテレホン／ビジネスホンの接続	223
別売りオプション	225
ターミナルアダプタの増設 (S 点ユニット)	226
DSU 機能の切り離し (DSU 切り離しユニット)	228
文字コード一覧表	229
用語解説	230
Aterm 設定記入シート	232

操作ボタンの機能一覧

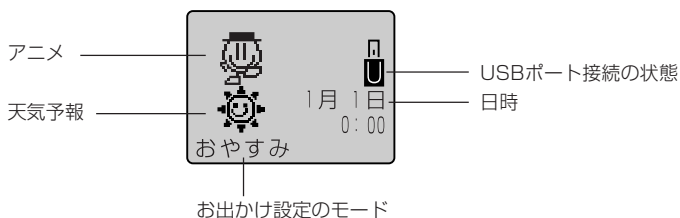
Aterm前面の操作ボタンを使用して設定・操作できる機能を一覧で示します。







機能名	内 容		参照先
通信料金表示	今までにかけた通信料金の合計をポートごとに表示します。		175ページ
電子メール着信通知	BIGLOBEに電子メールが届くと、液晶ディスプレイに表示してお知らせします(BIGLOBEで追加の申し込みが必要です)。 ※電子メール着信通知サービスは、サービスを終了いたしました。		『データ通信ガイド』『Atermで使えるメール機能』
着信履歴	着信履歴表示	今までにかかってきた電話の相手や電話番号、着信した時刻などの着信履歴を液晶ディスプレイに表示します(最新の50件分まで)。	177ページ
	着信履歴先発信	着信履歴を液晶ディスプレイに表示し、表示されている相手に電話をかけます。	82ページ
	ポート選択	着信履歴発信をする場合に、使用する電話のアナログポートを変更します。	84ページ
お出かけ設定	外出時や就寝時などに利用するお出かけ設定のモード(おやすみモード/電話着信転送モード/ボイスワープ転送モード/フラッシュモード)を選択します。		130ページ
アニメ設定	液晶ディスプレイに表示するアニメを選択します(アニメを表示しないようにすることもできます)。		207ページ
LCD履歴表示	液晶ディスプレイに表示された内容を確認できます。直前から過去6件までの内容が保存されていて、  ボタンまたは  ボタンで表示を切り替えることができます。		—
日時設定	液晶ディスプレイに表示される日付と時刻を設定します。		207ページ
初期化	Atermを購入時の状態に戻します。		197ページ
バージョン表示	AtermのバージョンやUSBポート接続の通信モードを液晶ディスプレイに表示します。		211ページ
コントラスト調整	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。		210ページ
通信速度切り替え	128kbps マルチリンクPPP通信中に、通信速度(128kbps ↔ 64kbps)を切り替えます。		『データ通信ガイド』『データ通信』
天気予報の表示	BIGLOBEのAterm天気通知サービスを利用して、天気予報を液晶ディスプレイに表示します(BIGLOBEで追加の申し込みが必要です)。 ※Aterm天気通知サービスは、サービスを終了いたしました。		『データ通信ガイド』『Atermのその他の機能』









液晶ディスプレイの表示一覧

Aterm前面の液晶ディスプレイに表示されるアイコンやメッセージの意味を一覧で示します。

●通常時



機能名	表示内容
アニメ	選択したアニメです。Atermには、以下のアニメが用意されています。工場出荷時は「BOY」に設定されています。[表示なし]を選択した場合は、何も表示されません。
	BOY
	猫
	カエル
	ペンギン
	ロボット
	犬
—	表示なし

機能名	表示内容	
USBポート接続の状態	USBポート接続の状態を示します。	
		パソコンをUSBポート接続すると表示されます。
		USBポートを使用中(らくらくアシスタントで設定しているとき、アプリケーションがUSBを認識したとき、および通信中のときなど)に表示されます。
天気予報	BIGLOBEのAterm天気通知サービスから通知された天気予報を表示します(使用するには、BIGLOBEで追加の申し込みが必要です。サービスの詳細についてはBIGLOBEにお問い合わせください)。ここでは、いくつかの天気予報のアイコンを例として示します。 ※ Aterm天気通知サービスは、サービスを終了いたしました。	
		晴れ
		曇り
		雨
		雪
		晴れのち曇り(矢印は「のち」を示します)
		晴れ時々曇り(縦棒は「時々」を示します)
日時	上段に日付、下段に時刻を表示します。	
お出かけ設定のモード	現在選択されているお出かけ設定のモードを示します。	
	おやすみ	おやすみモード
	電話転送	電話着信転送モード
	ボイスワープ	ボイスワープ転送モード
	フラッシュ	フラッシュモード



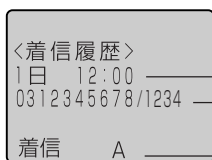
●電子メール着信時



電子メール着信通知

アイコン	表示内容
	BIGLOBEに電子メールが届くと、このように表示されます(使用するには、BIGLOBEで追加の申し込みが必要です。詳細については『データ通信ガイド』[「Atermで使えるメール機能」を参照してください]。) ※電子メール着信通知サービスは、サービスを終了いたしました。
	UUIメールが届くと、このように表示されます。

●着信履歴表示時



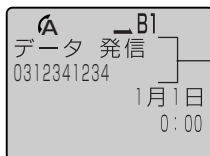
着信日時

相手の電話番号とサブアドレス

着信したポート

メッセージ	表示内容
着信日時	着信した日付と時刻が表示されます。
相手の電話番号とサブアドレス	電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。相手がサブアドレスを指定してかけてきた場合は、サブアドレスが表示されます。
着信したポート	着信したポートが表示されます。

●通信時



通信状態に関するメッセージ

(これはデータ通信を開始したときの画面です)



メッセージ	表示内容
電話A発信 0311112222	発信しているアナログポートと発信先の電話番号が表示されます(これは電話Aポートから発信した場合の例です)。
電話 着信 0311113333	電話の着信と、相手の電話番号が表示されます。 INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、電話の相手がISDN回線・携帯電話・PHSなどからかけてきている場合は、Atermの液晶ディスプレイに相手の電話番号を表示します。
電話 着信 P:非通知	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が電話番号を通知してこなかった場合に表示されます。
電話 着信 C:公衆電話	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が公衆電話からかけてきた場合に表示されます。
電話 着信 O:表示圏外	ナンバー・ディスプレイ使用時に、相手が電話番号を通知できない地域や機種からかけてきた場合、または発信者番号通知を設定していない場合に表示されます。
電話B切断 016 620円	通話を切断したときに、通話していたアナログポートと切断理由、通信料金が表示されます。課金されない場合は通信料金は表示されません。切断理由については「切断理由表示一覧」(P.216ページ)を参照してください。
転送しました	着信転送を使用している場合に、正常に転送できたときに表示されます。
転送失敗	着信転送を使用している場合に、転送できなかったときに表示されます。
電話 着信 内線A→B	内線で電話をかけたときに表示されます。
データ発信 0312341234	データ通信をこちらから開始したときに、相手の電話番号とともに表示されます。
データ着信 0311113333	データ通信を相手からの着信によって開始したときに、かけてきた相手の電話番号とともに表示されます。
データ着信 O:表示圏外	ナンバー・ディスプレイ使用時に、データ通信を開始した相手が発信者番号通知を設定していない場合に表示されます。
データ切断 016 2630円	データ通信を切断したときに、切断理由と通信料金が表示されます。課金されない場合は通信料金は表示されません。切断理由については「切断理由表示一覧」(P.216ページ)を参照してください。

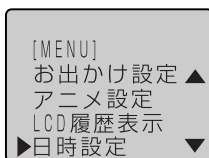
日時とアニメを変更する

Aterm前面にある操作ボタンを使って、液晶ディスプレイに表示される日時とアニメを変更することができます。



設定 日時を変更する

1  ボタンを押す

2  ボタンを押して[日時設定]に矢印を合わせ、 ボタンを押す





日時設定の画面が表示され、年の最初の数字が点滅します。

3  ボタンまたは  ボタンを押して、西暦の下2ケタの最初の数字を設定する

たとえば、2006年なら「0」に合わせます。





お知らせ

間違った数字を設定して  ボタンを押してしまったときは、 ボタンを押すと前の数字に戻ることができます。

4  ボタンを押す




年の2つめの数字が点滅します。


5  ボタンまたは  ボタンを押して、西暦の下2ケタの2つめの数字を設定する

年の2つめの数字が点滅します。

6  ボタンを押す

月の最初の数字が点滅します。



7 以降、同様に  ボタンまたは  ボタンと  ボタンを押して、月・日・時・分を設定する

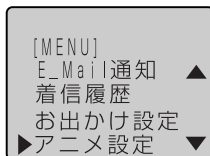
8 分を設定したら、 ボタンを押す



「ピー」と音がして、日付と時刻がAtermに設定されます。

設定 アニメを変更する

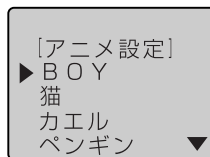
1  ボタンを押す

2  ボタンを押して[アニメ設定]に矢印を合わせ、 ボタンを押す



3  ボタンまたは  を押して、表示するアニメに矢印を合わせる

アニメを表示したくない場合は、[表示なし]に矢印を合わせます。



4  ボタンを押す

メッセージが表示され、通常の画面に戻り、選択したアニメが表示されます(または表示されなくなります)。

バックライトの点灯モードを設定する

液晶ディスプレイのバックライトには、以下の5つの点灯モードがあります。Atermの使いかたに合わせて設定を変更してください。

●点灯モード

Atermの電源が入っているときは、常時点灯します。ただし、停電モードのときは点灯しません。

●AUTOモード(初期値)

電話の発信・着信中にだけ点灯し、通常は消えています。ただし、停電モードのときは発信・着信があっても点灯しません。

●AUTO+データ通信中点灯モード

電話の発信・着信中のほか、データ通信中にも点灯します。

●AUTOモード+Bチャンネル使用中点灯モード

電話の発信・着信中のほか、電話の通話中とデータ通信中にも点灯します。

●消灯モード

バックライトは点灯しません。

設定 点灯モードを設定する

1 受話器をあげる

2 * * 8 0 を押す

3 点灯モードの番号を押す

- 1 : 点灯モード
- 2 : AUTOモード
- 3 : AUTO+データ通信中点灯モード
- 4 : AUTOモード+Bチャンネル使用中点灯モード
- 0 : 消灯モード



4 受話器を戻す

液晶ディスプレイのバックライトが選択したモードに従って点灯します。




液晶ディスプレイのコントラストを調整する

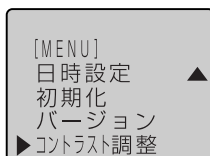
Atermの前面にある液晶ディスプレイが見えにくい場合などは、液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。



設定 コントラストを調整する


液晶ディスプレイのコントラストを調整するには、Aterm前面の操作ボタンを使います。


1  ボタンを押す

2  ボタンまたは  ボタンを押して[コントラスト調整]に矢印を合わせ、 ボタンを押す



3  ボタンまたは  ボタンを押してコントラストを変更する

 ボタンを押すと表示が濃くなり、

 ボタンを押すと表示が薄くなります。







4  ボタンを押す

「ピー」と音がして、コントラストが変更されます。

ファームウェアのバージョンやUSBの通信モードを確認する

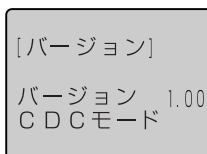
Atermのファームウェアのバージョンや、設定されているUSBの通信モードを、液晶ディスプレイに表示して確認することができます。ファームウェアとは、Atermが動作するために必要なソフトウェアです。


設定 バージョンや通信モードを確認する

- 1  ボタンを押す
- 2  ボタンまたは  ボタンを押して [バージョン] に矢印を合わせ、 ボタンを押す



ファームウェアのバージョンと、USBの通信モード(CDCモードまたはAtermモード)が表示されます。



- 3  ボタンを押す
通常の表示に戻ります。

お知らせ

表示されるバージョン番号は、お使いのファームウェアによって異なります。

5

ファームウェアのバージョンやUSBの通信モードを確認する

停電対策

Atermに電池を入れておくと、停電時も電話が使用できます。

ポイント

停電するとAtermは使用できなくなり、通話中でも通話が切断されます。電池を入れておくと、停電時には自動的に停電モードに切り替わって動作します。

Atermでは、単3アルカリ乾電池が使用できます。

使用できるポート：電話Aポート、シリアルポートまたはUSBポート、S点ユニット
電源不要なもの、またはバッテリーなどで動作する機器を接続してください。UUIメールも利用できます。

電池使用時の連続動作可能時間の目安(電話Aポートのみを利用する場合)

電池	連続待ち受け時間	連続通話時間
単3アルカリ乾電池(新品)	約4時間	約2時間

お願い

- ・停電中は、電話Bポートの電話機の受話器をあげても使用できません。また、電池の消耗が早くなりますので、受話器は置いたままにしておいてください。
- ・S点ユニット、シリアルポート、USBポートに機器を接続すると、電池の消耗が早くなります。停電中は、不要な機器をはずしておいてください。
- ・停電モード中に電池が消耗し、Atermが使用できなくなった状態で停電から復旧した場合、その後Atermを使用できなくなることがあります。このようなときは、Atermの電源を切り、電池を取り外してから、もう一度電源を入れてください。

設定

停電モード中に着信を受け付けるかどうかを選択できます。また、着信時にリング(着信音)とブザーのどちらを鳴らすかを選択できます。

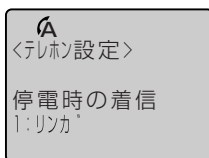
●電話機から設定する場合

1 受話器をあげる

2 * * 1 * 4 * 2 2
* を押す

3 設定内容の番号を押す

- 0 : 着信を受け付け、ブザーを鳴らす
- 1 : 着信を受け付け、リングを鳴らす(初期値)
- 3 : 着信を受け付けない



4 # # を押す

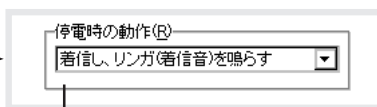
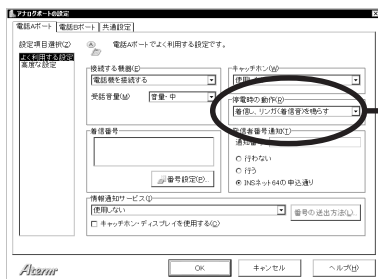
5 受話器を戻す

●らくらくアシスタントで設定する場合

1 メニュー画面→[アナログポートの詳細設定]→[電話Aポート]タブ→[設定項目選択]の[よく利用する設定]を選択する

2 停電時の動作を選択する

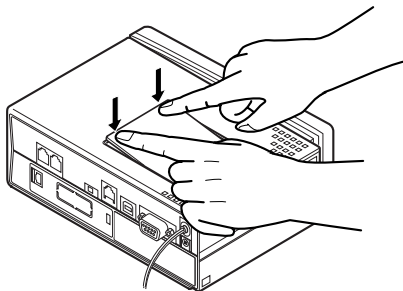
[停電時の動作]から[着信し、リングを鳴らす][着信し、ブザーを鳴らす][着信しない]のいずれかを選択します。



(初期値)

3 [OK]をクリックする

4 電池カバーを閉じる



5 Atermの電源を入れる

👁️ お願い

- ・電池を入れてご利用になる場合は特に、直射日光・高温・多湿の場所にAtermを設置しないようにご注意ください。
- ・電池を入れた側を発熱する機器の近くに置かないでください。
- ・通風口をふさがないでください。
- ・ご使用の電池の利用上の注意をよく守ってお使いください。
- ・3か月に1回程度は、電池カバーをあけて電池の点検を行うことをおすすめします。アルカリ乾電池の場合、長期間入れたままにしておくと、電池の液もれが起これることがあります。

アルカリ乾電池は、使用の有無にかかわらず1年で交換してください。なお、電池の交換忘れを防止するため、アルカリ乾電池は停電してからセットすることをおすすめします。

📎 お知らせ

- ・停電モードでアルカリ乾電池使用の場合、Aterm前面のPOWERランプの点滅がゆっくり(1秒間に1回)になったときは、電池の容量がなくなってきました。通話／通信が途中で切断される可能性があるため、早めに電池を交換してください。

切断理由表示一覧

通話／通信が切断されると、切断の理由を示すコードが液晶ディスプレイに表示されます。

ポイント

切断理由とは、通話／通信が切断されたときに、Atermの液晶ディスプレイに表示されるコードです。切断理由のコードの意味を、以下に一覧で示します。



	コード	切断理由
正常クラス	001	欠番
	002	中継網ルートなし
	003	相手ルートなし
	006	チャンネル不許可
	007	設定済みのチャンネルへ着呼
	016	正常切断
	017	着ユーザビジー
	018	着ユーザ応答なし
	019	相手ユーザ呼び出し中、応答なし
	020	加入者不在
	021	相手ユーザ通信拒否
	022	相手端末番号変更
	026	選択されなかったユーザの切断復旧
	027	相手端末故障中
	028	無効番号フォーマット(不完全番号)
	029	ファシリティ拒否
	030	状態問い合わせ応答
	031	その他

	コード	切断理由
リソース使用付加クラス	034 038 041 042 043 044 047	利用可回線／チャンネルなし 網故障 一時的故障 交換機輻輳 アクセス情報破棄 要求チャンネル利用不可 その他
サービス提供付加クラス	049 050 057 058 063	QOS利用不可 要求されたファシリティ不可 伝達能力不許可 現在利用不可伝達能力 その他
サービス未提供クラス	065 066 069 070 079	未提供伝達能力指定 未提供チャンネル種別指定 未提供ファシリティ要求 制限デジタル情報能力のみ可能 その他
無効メッセージクラス	081 082 083 084 085 086 087 088 091 095	無効呼番号使用 無効チャンネル番号使用 指定された中断呼識別番号未使用 中断呼識別番号使用中 中断呼なし 指定された中断呼は既に切断復旧済み ユーザはCUGのメンバーではない 端末属性不一致 無効中継網選択 その他
手順誤りクラス	096 097 098 099 100 101 102 111	必須情報要素不足 メッセージ種別未定義 呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義 情報要素なし、または未定義 無効情報要素内容 呼状態とメッセージ不一致 タイム満了の回復 その他
インタワーキング	127	その他

製品仕様

仕様一覧

項目		諸元	備考
接続回線		INSネット64 OCNエコノミー回線	
交換形態		データポート:回線交換 アナログポート:回線交換	
使用チャネル		Bチャネル	
インタフェース形態および レイヤ1起動種別		P-MP常時またはP-MP呼毎契約	INSネット64接続の 場合
回線 インタ フェース	コネクタ形状	6ピンモジュラジャック(RJ-11)	DSU内蔵
	伝送方式	2線、時分割伝送方式	
	伝送路速度	320kbps	
	伝送路符号	AMI符号	
	DSU折り返し機能	あり	
パソコン インタ フェース	呼接続機能	ATコマンド	・()はV.110規格外 ・同期は同期PPP変換 ・128KはMPのみ
	RS-232C 機械的条件	D-Sub9ピンコネクタ	
	電氣的条件	V.28	
	回路定義	V.24	
	通信速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 同期/非同期PPP変換: 64 128kマルチリンクPPP: 128 PIAFS: 32、64	
	パソコン速度 (kbps)	非同期: 1.2、2.4、4.8、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、 57.6、115.2、230.4)	
USB	通信速度(kbps)	非同期: 1.2、2.4、9.6、14.4、 19.2、(28.8、38.4、57.6) 非同期/同期PPP変換: 64 128kマルチリンクPPP: 128 PIAFS: 32、64	・()はV.110規格外
	パソコン速度	12Mbps	
	速度整合方式	ITU-T V.110方式	(注1)データポート とアナログポートで 共用しています。
	サービス機能	発信者番号、着信番号 自己サブアドレス 短縮ダイヤル 最大10箇所(注1) 疑似識別着信 最大30箇所(注1) 発信者番号通知 非同期/同期PPP変換 128kbpsマルチリンクPPP BOD機能 スタイルスコールバック	
(続く)			

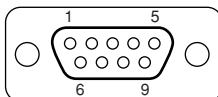
項目	諸元	備考
(続き) パソコン インタフェース	サービス機能 応答平均化 ユーザ間情報通知 無通信監視タイマ 強制切断タイマ 電子メール着信通知 遊遊メール UUIメール 回線状態・通信料金表示 着信履歴表示(注2) PIAFS対応 OCNエコノミー対応 マルチアクセス USBネットワーク CTI機能 優先着信ポート i・ナンバー対応 SmartWakeUp!機能対応	(注2)USBポートのみ
アナログ装置 インタフェース	コネクタ形状 基本機能 6ピンモジュラジャック(RJ-11) ポート数:2ポート 受信ダイヤル:PBのみ ブランチ接続:可(注3) 供給電圧:約-48V(無負荷時)	(注3) ・ナンバー・ディスプレイ対応機器をブランチ接続した場合、ナンバー・ディスプレイができません。 ・1つのポートに3台まで接続可。 (合計容量:3μF/ 2kΩ以下)
(続く)	アナログポート サービス機能 アナログポート使用可/不可選択 端末機種選択:電話(音声) G3FAX(3.1kHz オーディオ) 発信者番号、着信番号 自己サブアドレス 発信者番号通知 内線通話・内線転送 優先着信ポート 短縮ダイヤル 最大10箇所(注4) 疑似識別着信 最大30箇所(注4) ダイヤル桁間タイマ 疑似キャッチホン 疑似三者通話 疑似着信転送 お出かけ設定 i・ナンバー対応 フレックスホン対応 INSボイスワープ対応 INSなりわけサービス グローバル着信選択	(注4)データポートとアナログポートで共用しています。

項目		諸元	備考
(続き) アナログ装置 インタフェース		アナログ・ダイヤルイン モデム・ダイヤルイン INSナンバー・ディスプレイ対応 キャッチホン・ディスプレイ対応 着信履歴表示/着信履歴先発信 迷惑電話防止 最大20箇所 疑似なりわけ 最大30箇所 マイプライベート着信 最大30箇所 選択キャッチホン 識別着信転送 フッキング検出タイマ リバースパルス送出 テレホンUIメール テレホン遊遊メール	
停電モード	アルカリ乾電池	待ち受け時間 約4時間 通話 約2時間	
診断機能		自己診断試験	
ヒューマン インタフェース		バックライト液晶ディスプレイ 状態表示LED×3 でかけるボタン 操作ボタン ディップスイッチ INS回線リバーススイッチ	
電源		AC100±10V、50/60Hz	
使用条件	温度 湿度	0~40℃ 10~90%	結露しないこと
外形寸法(W×H×D)		約(W)58×(H)172×(D)133mm	突起部分を除く
質量		約0.5kg	
消費電力		約6.0W(最大)	

D-SUB 9ピンインタフェース

コネクタ形状

9ピンコネクタ(メス型)



パソコンインタフェースの信号線

ピン番号		信号方向 パソコン Aterm	名 称	機 能
シェル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	Atermが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON: パソコンにデータ受信を要求します。 OFF: パソコンにデータ受信を要求しません。
2	RD	←	受信データ	Atermからパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンからAtermへ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができていどうかを示します。 ON: パソコンが、データの授受の準備ができていことを示します。 OFF: パソコンが、データの授受の準備ができていことを示します。
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位をあえます。
6	DR	←	データセットレディ	Atermが動作準備ができていことを示します。 ON: パソコンとデータの授受を行う準備ができていことを示します。 OFF: パソコンとデータの授受を行う準備ができていことを示します。
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON: データ送信許可を要求します。 OFF: データ送信許可を要求しません。
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON: データ送信が可能です。 OFF: データ送信してはいけません。
9	CI	←	被呼表示	パソコンに着信していことを示します。 ON: 着信があることを示します。 OFF: 着信がないことを示します。

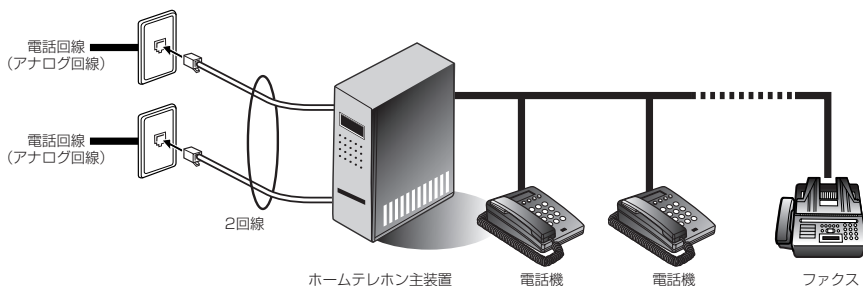
ホームテレホン／ビジネスホンの接続

ホームテレホンやビジネスホン(ボタン電話装置)を、Atermに接続することができます。

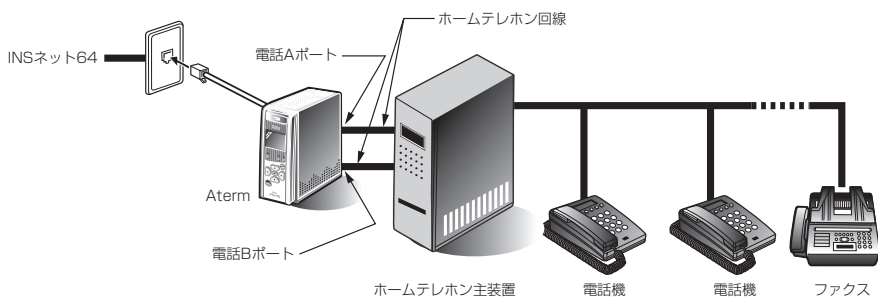
接続方法

1本のINSネット64で、電話回線(アナログ回線)2本分を収容することができます。

●電話回線(アナログ回線)の場合



●INSネット64の場合



別売りオプション

オプションとして次の商品を用意しています。

●S点ユニット(PC-IT/U03)

ターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときに使います。
「ターミナルアダプタの増設(S点ユニット)」(☞226ページ)

●DSU切り離しユニット(PC-IT/US1)

AtermからDSU機能を切り離すときに使います。
「DSU機能の切り離し(DSU切り離しユニット)」(☞228ページ)

お知らせ

- ・オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ Shop@Aterm (<http://shop.aterm.jp/>)でもご購入いただけます。

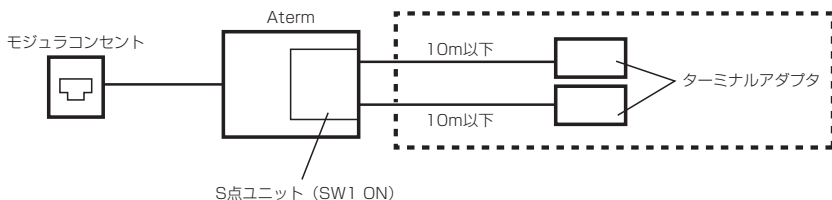
ターミナルアダプタの増設

(S点ユニット)

INSネット64にほかのターミナルアダプタやISDN通信機器を増設するときは、別売りのS点ユニットをお使いください。最大7台までのターミナルアダプタやISDN通信機器を増設できます。

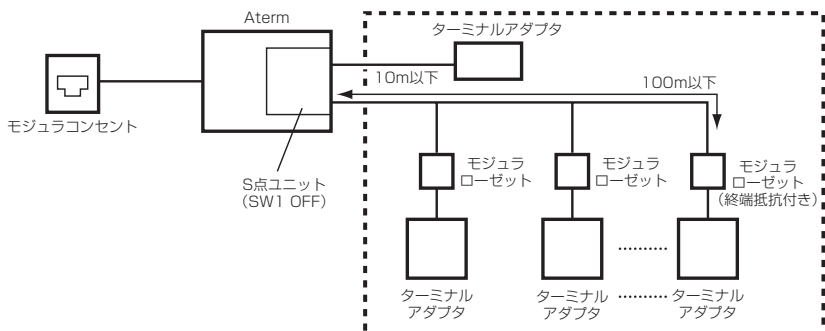
●2台までのターミナルアダプタを増設する場合

S点ユニットの2つのモジュラジャックには、2台までのターミナルアダプタを接続できます。



●3台以上のターミナルアダプタを増設する場合

3台以上のターミナルアダプタを増設するには、モジュラローゼットを使用します。



●S点ユニット(PC-IT/U03)について

Atermに、別のターミナルアダプタやISDN通信機器を増設できます。AtermのS点ユニットスロットにS点ユニットを差し込んで使用します。S点ユニットはモジュラジャックを2個装備しているため、2台までは簡単に増設できます。また、Atermに取り付けて、自分自身のDSU機能を切り離すことができます。DSU機能を切り離すと、DSUやほかのターミナルアダプタにAtermを接続できるようになります。

S点ユニットの取り付けかた、使用方法については、S点ユニット添付の取扱説明書をお読みください。

お願い

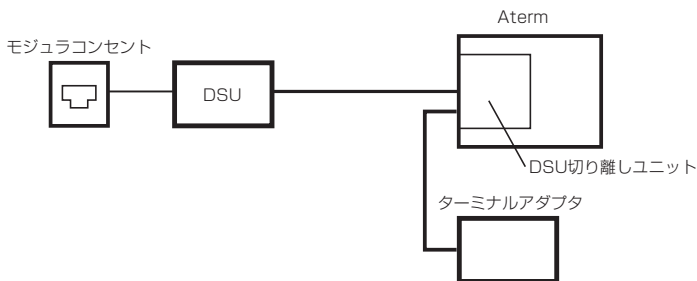
- ・DSUを切り離すだけの場合は、「DSU切り離しユニット」(PC-IT/US1)をお使いください。
- ・S点ユニットカバーを取りはずした際に、異物をスロット内部に入れないでください。故障の原因になります。
- ・ハンダ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

DSU機能の切り離し(DSU切り離しユニット)

AtermからDSU機能を切り離すには、DSU切り離しユニット(PC-IT/US1)を使用します。

ポイント

DSUは、ターミナルアダプタなどの通信用端末をINSネット64に接続するために必要な装置(機能)ですが、AtermにはDSU機能が内蔵されているため、DSUは通常必要ありません。ただし、ほかのISDN対応端末を増設する場合など、DSU機能をAtermとは切り離したいときには、DSU切り離しユニットを使用します。



DSU切り離しユニットは、AtermのS点ユニットスロットに差し込んで利用します。DSU切り離しユニットの取り付けかた、使用方法については、DSU切り離しユニット添付の取扱説明書をお読みください。

お願い

- ・ S点ユニットカバーを取りはずした際に、異物をスロット内部に入れないでください。故障の原因になります。
- ・ ハンダ面にふれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

文字コード一覧表

電話番号着信通知(☎141ページ)を利用する場合など、電話機からメールアドレスなどを入力するときは、以下の文字コード一覧表を使って入力します。入力したい文字のコードを順番に押してください。

■ 文字コード一覧表 ■

文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード	文字	コード
ア	11	イ	12	ウ	13	エ	14	オ	15
カ	21	キ	22	ク	23	ケ	24	コ	25
サ	31	シ	32	ス	33	セ	34	ソ	35
タ	41	チ	42	ツ	43	テ	44	ト	45
ナ	51	ニ	52	ヌ	53	ネ	54	ノ	55
ハ	61	ヒ	62	フ	63	ヘ	64	ホ	65
マ	71	ミ	72	ム	73	メ	74	モ	75
ヤ	81	(82	ユ	83)	84	ヨ	85
ラ	91	リ	92	ル	93	レ	94	ロ	95
ワ	01	ヲ	02	ン	03	ゝ	04	ゞ	05
A	16	B	17	C	18	D	19	E	10
F	26	G	27	H	28	I	29	J	20
K	36	L	37	M	38	N	39	O	30
P	46	Q	47	R	48	S	49	T	40
U	56	V	57	W	58	X	59	Y	50
Z	66	?	67	!	68	-	69	/	60
¥	76	&	77	_	78	.	79	%	70
*	86	#	87	スペース	88	.	89	@	80
1	96	2	97	3	98	4	99	5	90
6	06	7	07	8	08	9	09	0	00
訂正	**	頁めくり	*1	-	*2	前回のデータ	*3	[*4
大/小文字	*5]	*6	スペース	*8	_	*91	;	*92

📎 お知らせ

- ・英字の大文字／小文字を切り替えるには、[*] [5] を押します。
- ・数字を入力するには、[*] [8] を押します。

用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付CD-ROMの中の『用語解説』を参照してください。

アルファベット順

Bチャンネル (B1チャンネル・B2チャンネル)	ISDN回線の情報チャンネル(64kbps)。INSネット64にはB1・B2という2本のBチャンネルがあり、電話をしながらインターネットに接続するなど、同時に2つの通信／通話を行うことができる。
bps	bit per secondの略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
コム COMポート	パソコンのシリアルポートのこと。複数ある場合は、COM1、COM2などと表示される。
DSU	Digital Service Unitの略。INSネット64とターミナルアダプタ・ISDN電話機などを接続するときのインタフェースとなる装置。
ID	Identificationの略。セキュリティの目的で、特定の利用者であることを区別するために使用する記号や名前。ネットワークへログインするときに、パスワードと組み合わせる使用が多い。
PDFファイル	アドビシステムズ株式会社の提供する「Adobe Reader」で閲覧することができる文書形式。「Adobe Reader」はアドビシステムズ株式会社のホームページより無償でダウンロードできる。添付CD-ROMからもインストール可能。
アールエスニイサンニイシー RS-232C	シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェースの規格。主にターミナルアダプタ／モデムなどの周辺機器とパソコンとを接続するために使用する。
エステー S/T点端子	DSUとターミナルアダプタ／ISDN電話機などを接続するためのインタフェース。
USB	Universal Serial Busの略。パソコンの周辺機器を数珠つなぎ式またはハブを使った星形に接続できる高速のインタフェース。
あ行	
アナログポート	アナログ通信機器を接続するためのポート。電話Aポートと電話Bポートの総称として使用する。

か行～さ行

サブアドレス	電話番号に加えることのできる補助番号で、19ケタまでの任意の番号を指定できる。サブアドレスを利用すると、電話番号が1つしかないときに電話機を呼び分けたり、サブアドレスが一致したときだけ着信させるようにすることができる。
終端抵抗	ターミネータともいう。S/T点に複数のターミナルアダプタ／ISDN電話機などをバス配線するときには最後の部分に付ける部品。通常はターミナルアダプタなどに内蔵されており、スイッチであり／なしを切り替えられる場合が多い。
初期化	ハードウェアやソフトウェアの設定値を初期状態に戻すこと。工場出荷時の値に戻す、登録した電話番号などは残したまま初期状態に戻すなどいくつかの初期化方法がある。
シリアルポート	シリアル(データをビット単位で順次転送するタイプ)インタフェース規格。ターミナルアダプタ／モデムなどの周辺機器とパソコンとの接続に利用される。

た行～な行

ダイヤルアップ	プロバイダのアクセスポイントやRASサーバーに電話をかけ、INSネット64やアナログ回線を介してネットワークに接続すること。
---------	--

は行

バス配線	複数のISDN通信機器をISDN回線のS/T点に接続すること。最大8台まで。
ブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。Internet ExplorerやNetscape Communicatorがよく使われている。
ブランチ接続	1つのポートをコネクタなどで分岐させて複数の機器を接続すること。
プロバイダ	インターネット接続をサービスする通信事業者。
ホームページ	インターネットのWWWを一般的に指す言葉。本来は、WWWサーバーのURLを指定して、最初に表示されるページを指す。

ま行～

ユーザID	IDと同じ。
-------	--------

Aterm設定記入シート

Atermに設定した内容を記入して、保管しておいてください。お問い合わせなどの際の資料となります。

商品名(LOT No.)	
--------------	--

i・ナンバー情報				
i・ナンバーを <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない				
i・ナンバー情報	電話番号	着信するポート	発信者番号通知の通知番号	内線指定番号
i・ナンバー情報1 (契約者回線番号)		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
i・ナンバー情報2 (追加番号)		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
i・ナンバー情報3 (追加番号)		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	

ダイヤルインサービス				
ダイヤルインサービスを <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない				
グローバル着信を <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない				
電話番号の種類	電話番号	着信するポート	発信者番号通知の通知番号	内線指定番号
契約者回線番号		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号1		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号2		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号3		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号4		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号5		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号6		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	
ダイヤルイン番号7		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB	

アナログポート共通設定		
優先着信ポート指定	電話番号	着信するポート <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> シリアル <input type="checkbox"/> USB
三者通話	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 三者通話 <input type="checkbox"/> 疑似三者通話	
お出かけ設定	<input type="checkbox"/> おやすみモード <input type="checkbox"/> 電話着信転送モード <input type="checkbox"/> ボイスワープ転送モード <input type="checkbox"/> フラッシュモード	
着信転送	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 着信転送 <input type="checkbox"/> 疑似着信転送	
	転送元電話番号(サブアドレス)	転送先電話番号
	()	
	()	
	()	
着信転送トーキ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 転送トーキのみあり <input type="checkbox"/> 転送元トーキのみあり <input type="checkbox"/> 両トーキあり	
電話番号着信通知	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
	転送元電話番号(サブアドレス)	転送先メールアドレス
	()	
	()	
通信中転送	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクト	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
	転送条件	<input type="checkbox"/> 無条件転送 <input type="checkbox"/> 無応答時転送 <input type="checkbox"/> 話中時転送 <input type="checkbox"/> 無応答または話中時転送
	転送先電話番号	
	ボイスワープ契約番号	
迷惑電話防止	登録電話番号	
	<input type="checkbox"/> 非通知 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> 表示圏外	

アナログポート共通設定		
マイプライベート着信	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
	電話番号	着信ポート
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B

電話Aポート	
接続機器	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファクス/ファクス付き電話機/モデム <input type="checkbox"/> 接続しない
フッキング検出タイマ	<input type="checkbox"/> 短い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 長い
ダイヤル桁間タイマ	<input type="checkbox"/> 5秒 <input type="checkbox"/> 9秒 <input type="checkbox"/> 11秒 <input type="checkbox"/> 13秒
#発信	<input type="checkbox"/> #で発信しない <input type="checkbox"/> #で発信する <input type="checkbox"/> ##で発信する
リバースパルス	<input type="checkbox"/> 送出しない <input type="checkbox"/> 送出する
受話音量調節	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない 音量： <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大
モデム・ダイヤルイン	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 電話番号をそのまま送出 <input type="checkbox"/> 内線指定番号に変換して送出
アナログ・ダイヤルイン	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 電話番号をそのまま送出 <input type="checkbox"/> 内線指定番号に変換して送出
サブアドレスなし着信	<input type="checkbox"/> 着信する <input type="checkbox"/> 着信しない
発・着サブアドレスの通知 (ナンバー・ディスプレイ/ モデム・ダイヤルイン使用時)	<input type="checkbox"/> 通知する <input type="checkbox"/> 通知しない
サブアドレス	
キャッチホン	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> INSキャッチホン <input type="checkbox"/> 疑似キャッチホン
選択キャッチホン	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> INSなりわけ選択キャッチホン <input type="checkbox"/> 疑似選択キャッチホン
発信者番号通知	<input type="checkbox"/> 通知する <input type="checkbox"/> 通知しない <input type="checkbox"/> INSネット64の申込どおり
ナンバー・ディスプレイ	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない
キャッチホン・ディスプレイ	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない
識別着信	<input type="checkbox"/> INSなりわけ識別着信 <input type="checkbox"/> 疑似識別着信 <input type="checkbox"/> 使用しない
なりわけ	<input type="checkbox"/> INSなりわけ識別リングング <input type="checkbox"/> 疑似なりわけ <input type="checkbox"/> 使用しない
HLC	<input type="checkbox"/> HLCを設定しない <input type="checkbox"/> HLCを使用し、着信判定する <input type="checkbox"/> HLCを使用するが、着信判定しない
停電時の着信	<input type="checkbox"/> 着信しない <input type="checkbox"/> 着信し、ブザーを鳴らす <input type="checkbox"/> 着信し、リングを鳴らす

電話Bポート	
接続機器	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファクス/ファクス付き電話機/モデム <input type="checkbox"/> 接続しない
フッキング検出タイム	<input type="checkbox"/> 短い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 長い
ダイヤル桁間タイム	<input type="checkbox"/> 5秒 <input type="checkbox"/> 9秒 <input type="checkbox"/> 11秒 <input type="checkbox"/> 13秒
#発信	<input type="checkbox"/> #で発信しない <input type="checkbox"/> #で発信する <input type="checkbox"/> # #で発信する
リバースパルス	<input type="checkbox"/> 送出しない <input type="checkbox"/> 送出する
受話音量調節	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない 音量： <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大
モデム・ダイヤルイン	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 電話番号をそのまま送出 <input type="checkbox"/> 内線指定番号に変換して送出
アナログ・ダイヤルイン	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 電話番号をそのまま送出 <input type="checkbox"/> 内線指定番号に変換して送出
サブアドレスなし着信	<input type="checkbox"/> 着信する <input type="checkbox"/> 着信しない
発・着サブアドレスの通知 (ナンバー・ディスプレイ/ モデム・ダイヤルイン使用時)	<input type="checkbox"/> 通知する <input type="checkbox"/> 通知しない
サブアドレス	
キャッチホン	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> INSキャッチホン <input type="checkbox"/> 疑似キャッチホン
選択キャッチホン	<input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> INSなりわけ選択キャッチホン <input type="checkbox"/> 疑似選択キャッチホン
発信者番号通知	<input type="checkbox"/> 通知する <input type="checkbox"/> 通知しない <input type="checkbox"/> INSネット64の申込どおり
ナンバー・ディスプレイ	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない
キャッチホン・ディスプレイ	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない
識別着信	<input type="checkbox"/> INSなりわけ識別着信 <input type="checkbox"/> 疑似識別着信 <input type="checkbox"/> 使用しない
なりわけ	<input type="checkbox"/> INSなりわけ識別リングング <input type="checkbox"/> 疑似なりわけ <input type="checkbox"/> 使用しない
HLC	<input type="checkbox"/> HLCを設定しない <input type="checkbox"/> HLCを使用し、着信判定する <input type="checkbox"/> HLCを使用するが、着信判定しない

データポート共通設定			
UIメール着信時のランプの点滅	<input type="checkbox"/> 点滅させる	<input type="checkbox"/> 点滅させない	
電子メール着信通知時のランプの点滅	<input type="checkbox"/> 点滅させる	<input type="checkbox"/> 点滅させない	
優先着信ポート	<input type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> USBポート	<input type="checkbox"/> シリアルポート

USBポート			
発信者番号通知	<input type="checkbox"/> 通知する	<input type="checkbox"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> INSネット64の申込どおり
	通知番号		
サブアドレスなし着信	<input type="checkbox"/> 着信する	<input type="checkbox"/> 着信しない	
サブアドレス			
サブアドレス・セパレータ	<input type="checkbox"/> /	<input type="checkbox"/> #	<input type="checkbox"/> *
識別着信	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/> 使用しない	
HLC	<input type="checkbox"/> 設定する	<input type="checkbox"/> 設定しない	コード
MPの2本目接続時の認証	<input type="checkbox"/> 認証する	<input type="checkbox"/> 認証しない	
64KPPP・MP時のACCMの付加	<input type="checkbox"/> 付加する	<input type="checkbox"/> 付加しない	
リソースBOD	<input type="checkbox"/> 行う	<input type="checkbox"/> 行わない	
スループットBOD	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/> 使用しない	<input type="checkbox"/> フレックスBODで使用する
	リンク追加算出時間	()	秒
	リンク削除算出時間	()	秒
	リンク追加しきい値	()	%
リンク削除しきい値	()	%	
無通信監視タイマ	<input type="checkbox"/> 監視しない	<input type="checkbox"/> 監視する	()分
強制切断タイマ	<input type="checkbox"/> 切断しない	<input type="checkbox"/> 切断する	()時間
ER信号	<input type="checkbox"/> 常時パソコンのERを見る <input type="checkbox"/> 常時ER-ONとみなす <input type="checkbox"/> 通信中のみパソコンのERを見る		
CD信号	<input type="checkbox"/> ER-ON時には常にCD-ON	<input type="checkbox"/> 通信中は常にCD-ON	
DR信号	<input type="checkbox"/> ER-ON時には常にDR-ON	<input type="checkbox"/> 通信中は常にDR-ON	
応答平均化	<input type="checkbox"/> 応答平均化する	()	<input type="checkbox"/> 応答平均化しない
スタイルスコールバック	<input type="checkbox"/> コールバックする	<input type="checkbox"/> コールバックしない	

シリアルポート			
発信者番号通知	<input type="checkbox"/> 通知する	<input type="checkbox"/> 通知しない	<input type="checkbox"/> INSネット64の申込どおり
	通知番号		
サブアドレスなし着信	<input type="checkbox"/> 着信する	<input type="checkbox"/> 着信しない	
サブアドレス			
サブアドレス・セパレータ	<input type="checkbox"/> /	<input type="checkbox"/> #	<input type="checkbox"/> *
識別着信	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/> 使用しない	
HLC	<input type="checkbox"/> 設定する	<input type="checkbox"/> 設定しない	コード
MPの2本目接続時の認証	<input type="checkbox"/> 認証する	<input type="checkbox"/> 認証しない	
64KPPP・MP時のACCMの付加	<input type="checkbox"/> 付加する	<input type="checkbox"/> 付加しない	
リソースBOD	<input type="checkbox"/> 行う	<input type="checkbox"/> 行わない	
スループットBOD	<input type="checkbox"/> 使用する	<input type="checkbox"/> 使用しない	
	リンク追加算出時間	()秒	
	リンク削除算出時間	()秒	
	リンク追加しきい値	()%	
	リンク削除しきい値	()%	
無通信監視タイマ	<input type="checkbox"/> 監視しない	<input type="checkbox"/> 監視する ()分	
強制切断タイマ	<input type="checkbox"/> 切断しない	<input type="checkbox"/> 切断する ()時間	
ER信号	<input type="checkbox"/> 常時パソコンのERを見る <input type="checkbox"/> 常時ER-ONとみなす <input type="checkbox"/> 通信中のみパソコンのERを見る		
CD信号	<input type="checkbox"/> ER-ON時には常にCD-ON <input type="checkbox"/> 通信中は常にCD-ON		
DR信号	<input type="checkbox"/> ER-ON時には常にDR-ON <input type="checkbox"/> 通信中は常にDR-ON		
応答平均化	<input type="checkbox"/> 応答平均化する () <input type="checkbox"/> 応答平均化しない		
スタイルスコールバック	<input type="checkbox"/> コールバックする <input type="checkbox"/> コールバックしない		

索引

【記号・数字】

#発信	76
3ピンプラグ	184

【A～Z】

ACR 機能付き電話機	188
Aterm	
～が破損したとき	13
～でこんなことができる	22
～の各部の名称	28
～の自己診断	200
～の添付品	26
～モード	211
～を購入時の状態に戻す	197
B1 チャンネル	22
B2 チャンネル	22
B チャンネル	22
CD-ROM	27
CDC モード	211
COM ポート	31
D-SUB9 ピンインタフェース	222
DATA ランプ	28
DSU	22
DSU 切り離しユニット	228
F ネット	194
G4 タイプファクス	194
HLC	192
i・ナンバー	34, 85
～情報のアナログポート割り当て	88
～情報の登録	87
～の設定	86
～を使用しない	91
INS 回線ケーブル	26
INS 回線コネクタ	30
INS 回線リバーススイッチ	30
INS キャッチホン	113
INS なりわけサービス	
～のセキュリティ機能	153
～の識別リング機能	158
～の識別着信情報	153
～の選択キャッチホン機能	163
～の電話番号登録	155
INS なりわけ識別着信	153
INS なりわけ識別リング	158
INS ナンバー・ディスプレイ	123
～の利用の有無の設定	60
INS ナンバー・リクエスト	123
INS ネット64	22
INS ボイスワープ	148
INS ボイスワープ・セレクト	148
ISDN 網	22
LCD 履歴表示	202
MSG ランプ	28
～が赤色に点灯する	200
～が緑色に点滅する	200
POWER ランプ	28
RS-232C ケーブル	26
S 点ユニット	226
S 点ユニットカバー	30
S 点ユニットスロット	30
TA	22
USB ケーブル	26
USB 通信モード	211
USB ネットワーク	24
USB ポート	30

[ア行]

アース線	31
アース線接続端子	30
アナログ・ダイヤルイン	98
アナログ回線	22
アナログ通信機器	22
アナログポート	30
～に接続する機器	59
～のi・ナンバー情報割り当て	88
～の詳細設定	178
～のダイヤルイン番号割り当て	93
～の契約者回線番号割り当て	93
～の設定確認	68
～の電話番号割り当て	66
～の優先着信ポート指定	103
アニメ	203, 207
アルカリ乾電池	10, 212
安全情報	10
異常時の対処	12
いたすら電話	166
インターネット	23
液晶ディスプレイ	28
～に表示される切断理由	216
～に表示される通信メッセージ	206
～のコントラスト調整	210
～の表示一覧	203
～点灯モード	209
応答前通信中転送	147
応答前に転送する	147
お手入れ	19
お出かけ設定	130
～のモード選択	132
～の開始・停止	134
オプション	225
おやすみモード	130
音量調節	77

[カ行]

回線側コンセント	184
----------	-----

回線障害	185
回線接続装置	22
雷対策	186
乾電池	212
キーパッドプロトコル	154
疑似キャッチホン	113
疑似三者通話	116
疑似識別着信	153
～の電話番号登録	156
疑似選択キャッチホン	163
～の電話番号登録	165
疑似着信転送	135
～の転送元サブアドレス登録	144
～の転送元登録	139
～の転送先登録	138
疑似なりわけ	158
起動電話番号	151
キャッチホン・ディスプレイ	126
～で電話番号が通知されない	129
～で電話を受ける	128
～を使う	128
キャッチホン	113
～の相手を限定する	163
～を受ける	115, 163
強制ローダモード	221
禁止事項	13
グローバル着信	35, 89
契約者回線番号	34
～のアナログポート割り当て	93
高位レイヤ整合性	192
公衆電話	123
購入時の状態に戻す	197
コントラスト調整	210

[サ行]

サブアドレス	105
～なし着信	106
～を付けて電話をかける	109
～を使う	109

三者通話	116
～の通話のモード	116
識別着信	153
～転送	173
識別リングング	158
自己診断	200
受話音量調節	77
常時通知拒否	120
情報通知サービス モデム・ダイヤルイン	97
情報通知サブアドレス	107
初期化	197
シリアルポート	30
スティミュラスプロトコル	154
製造番号	31
製品仕様	218
接続機器	58
切断理由	216
設定記入シート	232
設定例	36
選択キャッチホン	163
前面図	28
操作ボタン	28
操作ボタンの機能一覧	202
側面図	32

【タ行】

ターミナルアダプタ	22, 226
ダイヤルイン	89, 95, 98
ダイヤルインサービス	34, 89, 92
ダイヤルイン番号	92
ダイヤル桁間タイマ	75
短縮ダイヤル	79
～でかける	80
着信ダイヤルイン複数選択	101
着信転送	135
～の開始・停止	145
～の転送元登録	139, 143
～の転送先登録	138, 142
着信履歴	82
～の消去	83

～の表示	82, 177
着信履歴先発信	82
着信履歴の発信ポート変更	84
追加番号	34, 63
通信速度切り替え	202
通信料金	175
通話中転送	147
通話中に音量調節をする	78
ディップスイッチ	32
～で初期化する	199
～で自己診断する	200
～の初期設定	221
停電対策	212
停電モード	212
データ共有	24
データ通信ガイド	8
でかけるボタン	28
ロック・ロック解除	134
お出かけ設定を開始・停止	134
ボイスワープ開始・停止	152
識別着信転送開始・停止	174
着信転送開始・停止	145
デジタル回線	22
電源コード	30
電源スイッチ	32
電源に関する注意	11
電子マニュアル	8
電子メール着信通知の表示	205
転送	135
～サービス	146
～条件	148
通話中の～	146, 148
登録した相手だけに～する	173
内線を～	111
転送トーク	136
転送元	139
電池	212
電池カバー	32
電池のセット	214
電池ホルダー	32

点灯モード	209
添付品	26
電話 A ポート	30
電話 B ポート	30
電話機	34
電話機から初期化する	199
電話機能一覧	70
電話機の基本設定	58
電話キャップ	184
電話機を使う	69
電話着信転送モード	130
電話帳に短縮ダイヤルを登録する	79
電話に関するトラブル	187
電話番号	
～着信通知	135
～の呼び分け	95, 98
～の通知・非通知の変更	119
～を複数割り当てる	101
～を複数利用する	34
電話を転送する	135
トーン (PB)	187

[ナ行]

内線指定番号	98
アナログ・ダイヤルインの場合	100
モデム・ダイヤルインの場合	97
内線通話	110
内線転送	111
ナンバー・ディスプレイ	123
日時設定	207
認証番号	31

[ハ行]

バージョン	211
背面図	30
バックライト	209
発信者番号通知	119
発信ポート変更	84

ビジネスホン	223
非通知	123
表示圏外	123
秘話回路	188
品名ラベル	30
ファームウェア	211
ファクス	
～の回線種別	194
～の利用例	36
～を使う	36
フッキング	74
フッキング検出タイマ	73
フラッシュモード	130
ランチ接続	186
プリンタポート	31
分岐用ローゼット	186
別売りオプション	225
ボイスワープ	148
～の転送モード	130, 149
～の開始・停止	152
～の起動電話番号	151
～の停止用電話番号	151
～の電話番号設定	150
ホームテレホン	223
ボタン電話装置	223

[マ行]

マイプライベート着信	169
マルチアクセス	25
ミキシングモード	117
無応答時転送	148
無応答または話中時転送	148
無条件転送	148
無鳴動着信	194
迷惑電話防止	166
メールアドレス	142
文字コード	229
モジュラケーブル	184
モデム・ダイヤルイン	95

モデムポート	31
--------------	----

[ヤ行]

優先着信	103
ユーティリティ	27
呼び分け	
i・ナンバー	85
アナログ・ダイヤルイン	98
サブアドレス	105
ダイヤルインサービス	90
モデム・ダイヤルイン	95

[ラ行]

落雷対策	186
らくらくアシスタント	178
～で初期化する	198
～のアナログポートの詳細設定画面	179
～の起動	178
～のメニュー画面	178
～の設定欄の使い方	181
らくらくセットアップガイド	27
リバースパルス	193
利用例	36
料金表示	175, 195
～をクリアする	176

[ワ行]

話中時転送	148
割込音	113



「ソフトウェアのご使用条件」

お客様へのお願い

添付のCD-ROMを開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社Atermシリーズをお求め頂きありがとうございます。
本商品に添付のCD-ROMには、弊社がご提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社がご提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NECアクセステクニカがご提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付のCD-ROMを開封せずに、お求めになった取り扱い店にCD-ROMを含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返しします。添付のCD-ROMを開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NECアクセステクニカがご提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NECアクセステクニカ株式会社(以下「弊社」とします。)は、本使用条件とともにご提供するソフトウェア製品(以下「許諾プログラム」とします。)の日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1.期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付CD-ROMを開封されたときに発効します。
- (2) お客様は1ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとします。

2.使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に1台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つAtermシリーズに同数のコンピュータを一時に接続して使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3.許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4.許諾プログラムの移転等

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用权を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5.逆コンパイル等

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6.保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関らず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り(バグ)を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム(以下「修正プログラム」といいます。)または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥(ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。)があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書(もしくはその写し)を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし(ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。)、これを持って記録媒体に関する唯一の保証とします。

7.責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8.その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

- データ通信ガイドの記載内容の一部に誤りがありました。
お手数をおかけいたしますが、以下の通り修正いたしますので、読み替えてご使用くださいますようお願いいたします。

◎ データ通信ガイド(添付CD-ROM『AtermIT42ユーティリティ集』)

該当ページ	誤	正
3. Atermで 使えるメール 機能	「電子メール着信 通知サービス」の 記述	電子メール着信通知サービスは、 2005年3月31日をもってサービスを 終了いたしました。
	「遊遊メールサー ビス」の記述	遊遊メールサービスは、2003年3月 31日をもってサービスを終了いたしま した。

- 電子メール着信通知サービス、遊遊メールサービス、およびAterm天気通知サービスは終了させていただきました。
OCNエコノミーサービスの新規受付は終了しています。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本商品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について


この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- (6) 本商品の対応OSは、Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premiumの各日本語版かつ32ビット(x86)版、WindowsXP/2000 Professional/Me/98/95/NT4.0(すべて日本語版、ただしWindows95/NT4.0はシリアルポート接続のみ)、MacOS 8.6J/9.0J/9.1J(すべて日本語版)です。ただし、対応OSでご使用される場合でも、お客様のパソコンの環境などによっては、すべての動作を保証するものではありません。また、対応OS以外で使用される場合は、動作の保証はいたしませんのであらかじめご了承ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm IT42 取扱説明書 第4版

AM1-000269-003
2007年6月

